

この問題に就いて考ふるに憲法の規定を合衆國の全領域と解すれば國會がポ
ートリコに關稅を課するは違憲なるも、若しこれを州のみと解すれば國會は州
以外の領土には絶對的權力を有するが故に適法なりと云はざるべからず。然る
に裁判の結果、高等法院は五對四の投票によりて第二の見解を採りしかば、メ
ンズ氏は遂に關稅を拂はざるべからざることとなり、ビッドウエルの勝訴となれ
り。されば若し將來合衆國が亞細亞又は阿弗利加の地を占領することありとせ
ば新領土は憲法の規定に依らずして全く國會の權限内にあると明かなり。
此判決によつて見れば、高等法院の判事は必ずしも常に議會に反對して憲法
を擁護するにあらざるを知るべし。統計表によるに、高等法院の判決中立立法部の
敗訴に歸せるもの二百件に至るも、而もその勝訴となれるものは更に之よりも
多し。高等法院は終始その保守的精神を以て、中央集權と地方分權との二傾向に
對し充分の正義公平を行へるを見るなり。而して高等法院は此調停的の態度を
以て能く困難なる論争を判決し、以て將來長く紛議の種を絶たしむるものにし
て、實に過去一世紀間に於けるその歴史は赫々たる光榮に充てるものと云ふべ

し。
高等法院にして若し超然政黨の外に卓立するにあらずむば、斯くの如く全國民
の心を支配すると能はざるべし。而して其判事任命の状態を見れば更に之を驚
かざるを得ざるなり。高等法院九人の判事中死亡又は退職する者あれば、補缺の
新判事は大統領之を任命し、元老院の承認を受くるなり。されば其任命は全く政
黨の關係に由つて定るものにて、實際民主黨の大統領は常に民主黨に屬する人
を任命し、共和黨の大統領は又常に共和黨員中より之を擧げたり。故に其結果と
して高等法院は二大政黨を代表し、前掲ポートリコ事件の如き政治問題に於て
は其判決が多少政黨の主義に由つて影響を被れるは疑を容るべからず。然れど
も唯だ其判事等が附屬政黨の主義に忠實なる、各自の確信が偶々其判決に影響
する所なきを得ざるのみ、されば高等法院の判事が自己の地位職權を濫用して
政治上の野心を充たし若くは其政黨に利する所あらんとするが如きことは決
して之あるを見ざるなり。斯かる結果は二大政黨共に國中第一流の法律家を以
て高等法院判事の顯職に置かんことを其名譽とするに依つて得らるゝなり。故

に之に任命せらるゝ人は専門に政治運動に關係するが如き人物にはあらずして、到る處に良判事の名を得たる人か若くは有名なる辯護士にして、一度ひ任命せらるれば終身裁判官の職にあるものなり。而して高等法院判事の地位は最も名譽ある地位にして、其俸給は他の總ての官吏と等しく甚だ薄けれども、之に任命せられて辭退せるが如き者は決してあらざるべし。即ち其額は僅々一萬弗に過ぎずして有名なる辯護士は其十倍の收入を得ること敢て難きにあらざるなり。現今高等法院に判事たる人々は、孰れも皆米國人民の良心を代表せる者のみにして、喧囂紛争を極むる元老代議兩院の間に介在して而もこれが爲めに亂されず泰然として其職を盡しつゝあるなり。

第六章 市及び州

以上述べたる憲法、大統領、内閣、元老院、代議院、及び高等法院は皆聯邦全體に屬す

るものなり。而して此等のものを以て米國人の政治的生活に最も大なる影響を及ぼす要素なりとせばこれ大に誤れるなり。米國人は其日常の生活に於ては先づ其州の一員なりと云ふべく、實際個々の人民が直接に利害關係を感ずるものは聯邦にあらずして寧ろ州なりとす。

米國の州の性質は獨逸人には比較的に解し易し。これ其狀態大に相類似する所あるを以てなり。然れども米國の州は獨逸帝國に於ける州よりは一層重要な位置に在りて、其獨立も主權も共に大なりとす。曩に述べたる米國の州が各自其法律を有し、又其終審裁判所を有する事は、州の獨立の多くの特徴中唯だ其二の例たるに過ぎず。米國の市が聯邦によりも寧ろ州に從屬する所の關係にあるを見れば猶明かに州の重要な性質を知るに足るべし。獨逸に於ては米國に於てよりも州は聯邦に對して隸屬的なれども、之に反して其市の州に對する關係は大に獨立的なり。之を要するに、米國に於ては一方には聯邦も亦他の一方には市も共に州を基礎として立つものなり。

右は管に十三州が共に連合して聯邦を組織したるも、尙中央政府に其權を委ぬ

ることを欲せざりし當時の歴史的遺物のみにはあらざるなり。米國獨立の當時には人口八千以上を有せる市は僅に六個に過ぎず、而して爾來州權には何等の變化なく、現今熱心に之を保護せんとするものは獨り民主黨のみにはあらざるなり。州は其領内にある市に對して壓迫を加ふること尠ならず、州權は却つて以前よりも一層増大せんとするの徴候さへ之なきにあらず。

聯邦の法律も各個人の地方的愛着心も共に州の獨立を贊助せんとする傾向あり。察すれば其風俗習慣理想氣質利害等が各州によつて大に差異あるべしと考ふる者あらむも事實は全く之に反せり。勿論各州互に異なる所あり、特に其面積の如きは然りとす。例へばテキサスとロードアイランドとは恰もプロシヤとロイスとの如く大小の差甚だしきものあり、人口密度も同じからず、人種も亦地方によりて異れり。品性の點より見るも南部人は農園生活に依つて養せられたる氣風あり、東北人は高尚なる智的趣味によつて涵養せられたる文化を示し、西部は農業地方及び鑛山業地方の二つに分れて其住民の性情も亦從つて自ら異なるものあり。然れども斯くの如きは數州を合したる大地方間の相異にして

州と州との間の差異にはあらず、加之州と州との差異よりも同一州内に於ける小地方間の差異却つて大なること尠ならず。畢竟州と州とは政治上の便宜に従ひて分ちたるもの多く、敢て劃然たる天然の境界あるにあらず。且つ同一域内に種々なる人種の雜居すると見るなり。又前世紀中には東部より西部に移住せる人多く爲めに西部諸州にありては土着者よりも移住者の數却つて多きを以てすれば、敢て其州の歴史傳説によつて州權を固執するにはあらざるなり。特に軌近電信を始め交通機關の發達、通商の頻繁、産業組織の完成に伴ひ、從來の地方的特色は愈益抹滅せらるゝ有様なり。加之一様なる流行の傳播、新聞雜誌の普及、大政黨の存立、外國に對する敵愾心等によつて、東はメーンより西はカリフォルニアに至る迄人皆外國人に對して自己の齊く米國人たるを自覺し、殆ど相互間の小異を忘却するに至れり。而もなほ各州の州權に固着せるは、これ前に個人の事に就いて論じたと同一の主義に由るものにて、乃ち人にては州にては互に類似すればする程却つて益、其自主の權を保護せんと欲するの決心を固ふるものなり。

州と州とが内部に於て互に相類似せるとは、各州皆自己の法例書を有し憲法擁護の高等裁判所を有するに拘らず、憲法其物が四十五州共殆ど相齊きによつて見るも亦明かなり。聯邦憲法は單に各州憲法の形式は共和政的なるを要すと規定するのみにて、各州は充分なる自由を有すれども、尙斯くの如く殆ど皆相類似せる憲法を設るなり。其内古き州の憲法は一部は母國の制度に則り一部は植民地時代の制度を襲用するものなるが、此等の州憲法を參酌して終に聯邦憲法を制定したる後新に起りたる州は、再び聯邦憲法を模範として其憲法を設けたり。されば新き州の憲法は固より多少其州の状況によつて異なる處なきにあらざれども、概して言へば單に古き州の憲法と聯邦憲法とに模して之を作りたるものに外ならず、勿論各州の憲法は外見上互に異なる點あり、且つ聯邦憲法に比すれば多少反動的、急進的、革新的の傾向なきにあらざると雖、その主義に於ては全く同一なりとす。乃ち各州、憲法は聯邦憲法を小にしたるものにて市憲法(City Charter)は獨り一層これを小にしたるものなりと云ふを得べし。尤も此に記すべきは理論上及び法律上より見れば州は市より大なれども、實際上より見れば、ニューヨーク

市はマサチューセッツ州より八十倍の人口を有するが如き、或はマサチューセッツ州の豫算は、その首府たるボストン市の豫算の僅に四分の一に足らざるがごときことこれあるなり。

斯く州及び市は恰も聯邦の如く憲法、行政部、二院の立法部、司法部等を有し、小規模ながら盡く聯邦機關に特有の形式を具備せるものなり。尤も市の憲法は其市民の起草せるものにあらずして其州會の制定せる處なるが故に、此點に於ては州憲法と大に趣きを異にせり。州の行政長官は知事にして恰も小大統領の如く、二ヶ年の任期を以て直接に州民の選舉する所なり。又市には市長ありて知事に相當し、同じく市民の選舉する處にして、大都會に於ては、同じく二ヶ年の任期なりとす。

市政府の下には多數の局長あり、概ね市長の選任による。ニューヨークの如きは財務、租税、法律、警察、慈善事業、衛生、監獄、水道、橋梁、消防、教育、公園、道路、營造物等の十八局を置けり。また州政府にて最も重要な官職は州尙書、州檢事總長及び出納長なりとす。知事の次に副知事ありて副統領が元老院議長たるに擬して、副知事は

州會の上院議長たり。州民兵の指揮權は知事の專權に屬す。知事は州會を召集し、其法案を承認し、又否認するの權あり。又犯罪人を赦免し、下級官吏を任命す。但し官吏の任命は州上院の承認を要す。州會は必ず二院制度にして、市會も亦概ね然りとす。且つ國會に於けると等しく州の上院議員は其數下院議員より少なく、從ふて之に選舉せらるゝとも亦困難なり。加之州會を開く處は必ずしも其州中の最大都會に限られざると恰もワシントン府が合衆國の最大都會にあらざると等しく、州にも亦特に政治上の都會なるものあるの觀あり。州議員の任期は大概二ヶ年を常規とし、且つ國會に於けると等しく委員會制度を採用せり。議案は必ず議員之を提出せざるべからず。且つ議案は直に委員會に附托せられ、委員會の手を経ざれば議會の議題となすこと能はざるは恰も國會に於けると同様なり。尤も州會の權能は聯邦憲法に依つて國會の享受するものよりも多少狭く或種の事件に關しては其專權を許さざるものあり。然れども亦一方に於て州會は町、村、郡、市等其治下にある行政區劃に對して種々なる權利を賦與するとを得。尤も此等の權利は實は州會の權利なるを以て假令一度與へたりとて何時にて

も自由に之を回收することを得べし。

州會は其州全般の政務に任ずるものにして、教育、租稅、造營、公債、監獄を始め會社、鐵道、工場、商業等の監視、其他民刑事の法例制定、聯邦憲法により全國共通の制度を規定するものを除き、公共團體及び私立會社に對する特權の許可、これ皆州議會の權内にあるものなり。勿論州と州又は外國との關係、或は關稅等の如き聯邦の權内に屬すべきものは、州會の與る處にあらざるなり。唯一の例外は移住者歸化の事にして、之が條件を決定するの權は州會に在り。

市の政府には大小種々あれども大都會にありては皆二院制度の議會を有す。尤も米國に於ては立法部と行政部とは嚴密に區別せらるゝが故に行政部の下に於る諸局長は決して立法の事に與らず。されば市の上下兩院は恰も國會の上下兩院と等しく、全く市の代議會にして、豫算案の如きも亦必ず先づ之を下院に提出せざるべからず。然るに市會は概して教育の事を取扱はず、人民の直接選舉による獨立の役員之を掌るを常とす。

概して言へば、市長の勢力は市會よりも大なれども、州知事は州會よりも劣れる

を常とす、知事の主なる職務は州會を通過せる法案中不可なりと認むるものを否認するにありて、全く消極的なれども、市長のそれは之に反して積極的にして其行動の範圍甚だ廣し、又知事及び市長が州會又は市會の多數黨に屬せざることを厭、あれども、これ敢て地方の選舉に政黨の争ひ無きが爲めにはあらずして唯だ選舉方法の異なるに依つてなり。

市及び州の外に尙一層小なる自治團體ありて、此等も全く州會の權下にあれども亦尠からざる獨立を享有せり、村落は州又は市に比すれば一層明かに歴史的の差異を示めずを常とす、然るに大都會は何れも、皆同一模形に依つて作られざるなし、蓋し其同一の要求は同一の生活状態を生じ、多數人民の集合は何處にても同一の經濟状態を生ずるを以てなり、然るに北部、南部及び西部の人口稠密ならざる地方に於ては、社會上及び經濟上の發展が其地方々々によりて各異なるは、寧ろ當然のことなるなり、今日村治機關に種々の差異あるは全く此理由に基くものとす。

植民地時代のニュー・イングランド諸州とヴァージニアとは此點に於て極端なる

對象を示すものなり、北海岸にある植民地は港灣、丘陵、大森林多くして人口の廣く散布するを許さず、住民は小地域の内に集中したり、且つピューリタン教徒等の慣習にては必らず教會の禮拜に出席せざるべからざりしを以て、益、此傾向を助長せり、されば其結果として、此處に小部落の地方政治起りたるは寧ろ當然の事なりと言はざるべからず、乃ち其部落内の人民は公共の事件例へば課税の方法、道路の開通、其他教會、學校、救貧等に關する事を論定するが爲め四方より集り來りしなり、然るにヴァージニア地方にありては到る處大農園開かれて小部落を成すに由なく、人口散在したるが故に公共の事件は、一部は教會區より選出せる者と一部は知事の任命せる者とより成れる特別の代表者に委任せざるを得ざりき、右の如くなるが故に北部にては政治團體の單位は町 (Town) なるも南部にては郡 (County) なりとす。

此差異は南北兩部が米國の歴史に全然異りて、然かも齊しく價值ある貢獻をなしたることを説明するに足るべし、獨立の戰爭にはニュー・イングランドとヴァージニアは勢力の二個の中心なりしが、建國の事業已に成りたる後は全く異りたる

方面に於て其勢力を發展せり乃ち前者が凡ての人民に自治の訓育を與へたるに反し後者は常に有名の首領を出すを以て顯著なりき而して此兩極の間にある所謂中央大西洋諸州は双方の影響を蒙り町と郡と混合の制度を採用するに至れり而して此三種の制度は十九世紀中移住者によりて西部地方に傳はりしを以て今日至區到る處に尙其存在するを見るなり現今に於て町(Town)の主なる職務は教育救貧道路開墾なり尤も宗教上の事は市州及び聯邦に於けると等しく全く政治機關の外にあり警察は市に於ては最も困難とする處なれど町村に於ては甚だ容易にして寧ろ無爲にして化するの趣きありこれ田舎の人民の道徳心の強き證據にして彼等は戸籍なくとも安眠し常に隣保の助力を信ぜり然るに人民の多く都會に集合するに至つて種々なる弊害起り爲めに其警察は漸く益困難に陥るのみ。

他を侵して己が權を擴張せんとするなり故に聯邦が其不齊一より生ずる弊害甚だ多きを見て州の或る立法權を奪はんと欲するが如きは寧ろ當然のことなり例へば離婚法の如きは特に之を劃一ならしむるの必要あり試に見よダコタ

州の法律によつて離婚し其後再婚したる男子は、ニューヨーク州の法律にては重婚罪に問はれ得るがごとき不都合あるなり其他商工業に關する法律に於ても州によりて其差異甚だしく特にトラストに反對する者は聯邦憲法に補修を加へ以て之を州の放漫なる管轄より奪ひ聯邦法律の制裁の下に置かんことを欲するに至れり又州が市に對して干渉することは一層容易なり若し聯邦が州に對して新に拘束を加へんと欲せば先づ聯邦憲法を改正せざるべからざるも市の權力は元來州會の與ふる處なるが故に州は市に對して直に之をなすを得べし現今州が大に市の權を制限せんとする傾向あるは顯著なる事實にして特に衛生工業監獄慈善等に關する州の監督權は漸に嚴密を加へんとするもの如し此等を始め多くの問題は之を町村の如き小團體の自由に放任せんよりは州の監督に委ねて齊一を計り且つ専門練熟の人をして取扱はしむるの利益あること勿論なるべし。

然るに一方に於て市町は又其下に勢力を併呑し以て自個の權力を増加しつつあり元來合衆國の經濟狀態をして今日の發達あらしめたるものは主として私

人的企業の結果なり。故に水道、街燈、市街鐵道の如きは全然私立會社の計營すべきものとなり居りしが、今や漸く之に變化を來し、斯かる事業は、獨り公道を使用するのみならず、其性質獨占的にして大に他の事業と異なるが故に、漸に之を私人の手より移して市營と爲さんとする傾向盛んなり。加之經濟上より言へば利益なき事をも自ら進んで之を爲すに至れり。例へば浴場洗濯所、運動場、體操學校、圖書館、博物館、音樂堂、職業周旋所等の如きものこれなり。

他方に於ては又求心的中央集權の傾向に反對する趨勢ありて、弱は強に對し、個人は市に對し、市は州に對し、州は聯邦に對して、各其權力を制限せんとせり。已に郡又は市が、租税を社會一般の目的以外に使用するの權なし。故に博物館、圖書館、浴場洗濯所等は之を慈善家又は私立團體の計營に任かすべく、決して勞働者の懷より出せる金錢を以て斯かる事をなすべしにあらざると論ずる者あり。市街鐵道や街燈の如き必要の設備も之を公共の計營とするよりも、却つて私立會社の手に任かす方費用少なしとは多數の人の一致する處なり。市營は概ね餘りに費用多く餘りに金利高く、私立會社に於けるが如く直接に利害を感ずる株主なく

老練なる經濟家に任せずして全く政黨運動屋の手に委することおぼし。されば故らに浪費をなさずとも、到底競争烈しき私立會社に企て及ばざるはむしろ當然なり。これ即ち米國人が、鐵道電信等を州に委するを欲せざる理由なりとす。電信會社は互に相競争して一般人民の需要に應ずる様直に全國に架線すべきも、若し之を州の計營となせば其事業の進捗至つて遅々たるべきは明かなり。若し私立會社が其特權を濫用するとあらば社會は之を監視する方法少なからず。又之に公道を貸與するにも其期限を定め、滿期後は、何時にても之を買收するの權利を留保し、或は其利潤の一部を收めしめ、且つ營業の報告を徴して監視を行ふがごときは寧ろ易々たるべし。而して現今かゝる傾向あることは顯著なる事實なりとす。

私人的企業が地方團體の併吞を免れんことを努むると齊しく、地方團體も亦州の爲めに併吞せられざらんを努め、村町郡等の未熟者よりも州の専門家に待つ方公務の善く擧るべきは誰も之を否定せずと雖、而も其地方々々の利害は其處の人最も能く熟知するを以て地方に委して之を施設せしむるを可とする者少

からず。乃ち小學校、道路等の如き皆其地方の要求に應じて之を行ふことこれ實に米國の根本主義なりとす。元來この主義は植民時代の特別なる狀況より生ぜしものにて爾來米國の發展に與つて大に力ありしを以て、人民は假令劃一制度を執る方甚だ利益ある場合にても之を棄つるに忍びざるなり。而してこれ却つて人民を公共の事件に訓練するの機會を與へしものなり。されば今若し彼等より其地方的自治權を沒收するが如きことあらば、米國の民主政治の依つて立てる自主獨立の精神は全く發達するを得ざるなり。

州と市との關係は多少之と趣きを異にするものあり。大都會の人民をして政治に熱心ならしめ以て其自主の精神を保護せんが爲めに、州會の制肘を除去せんとするものなきは遺憾なり。然れども此自主の精神は大都會に於て甚だ強盛を極め殆ど制すべからざるなり。智識の幼稚なる田舎議員の多數を占むる州會よりも文化の程度高き市があらゆる點に於て大に着眼點の高きは明かなる事實にして、此點よりすれば市が州の命令に反抗するは寧ろ當然の事と云はざるべからず。而も州の法律は尙州の市に對する干涉を是認せずんばならず。

今日に於ても州の憲法は尙依然として大都會の未だ成立を見ざりし時代の狀態を示せり。十九世紀の初めには人口八千人以上の市は全國僅に六なりしが、十九世紀の終りには五百四十五の多さに達せり。加之一八〇〇年に於ける右六市の人口は全國人口の百分の四にも足らざりしが、一九〇〇年の五百四十五市は百分の三十三以上となれり。されば全國民の僅か二十五分の一が都會に居住せる時代にありては地方人民の勢力大なるべきは當然なりと雖、今やその三分の一が都會に於て居住し、而も一般に地方の人民よりは智識、教育、富の度に於て高きに拘らず、尙市の獨立權を制肘するが如きは、大に文化の妨礙となれり。

州も亦聯邦に對して、恰も地方團體が州に對するが如き理由を以て其權を主張せり。而して尙之には其他にも多くの理由あり。乃ち歷史上米國の大進歩は中央政府よりも寧ろ各自の力によるものにて、其報酬に特權を賦與すべきのみならず、義務責任を與へて之を刺激せざるべからずと。故に各州互に相類似するに従ふて愈、他の干涉を嫌惡すべく、聯邦と相類似するに従ふて益、自己の個性を全ふせんと欲すべし。その他強盛なる自負心よりして州權を主張する州も亦少なか

らず、畢竟此反抗は中央集權に對する恐怖より生ずるものにして、これ實に民主黨の根本主義なることは已に前に述べたるが如し。

由此觀之に、聯邦、州、郡、市何れに於ても求心遠心の二大勢力常に相對抗せざるはなく、輿論も亦此二派に分れて争ふを常とす。然れども尙茲に別の對象あり、即ち主義と無主義とこれなり。法律の問題に於ては集權黨も分權黨も共に相一致すれども、到處又法律に従ふ者と之に反する者との二派の人民あるなり。議論には眞偽の差あれども争闘には正邪の別あり、争闘に對しては辯論の要なし。只だ抵抗あるのみ。公平に觀察すれば米國の政治には全く憲法の精神に反さず、殆ど犯罪に瀕する弊害あるを認めざるべからず。

斯かる政治上破壊的勢力の行はるゝは特に市政に於て甚たしく、州政之に次ぎ、聯邦政治に於て最も少きが如し。而して同一の誘惑行はるゝを見るなり。例へば委員會制度の如きは即ち其一にして、議案の運命は事實上秘密なる委員會に於て二三委員の手中にあるを以て敗徳不正の行爲甚だ行はれ易きこと明かなり。今市會の委員會に於ける法案の運命如何によつて、市街鐵道會社が或は數十萬

弗を利し又損するが如き場合には、其社長、理事自らは敢て之をなさずとも、運動員等は委員中、金錢に飢ゆる者を見出し之を買収して以て其決議を左右せんとするならん。假し委員中斯く金錢の誘惑に陥る人なしとするも、其親戚の會社に用ひられんとを望むか又は鐵道線路の我が家の近傍迄延長せられんことを欲する人は之を見出すと容易なるべし。州會の委員會に於ても亦賄賂の行はれ得ることは勿論なり。尤も州によつて大に其事情を異にし、例へば、マサチューセツツに於ては、慢りに拙劣の手段を以て賄賂を行ふは甚だ危険なれども、モンタナに於ては甚だ容易なるが如きこれなり。然れども國會には斯かる醜惡の事なきは前に述べたるが如し。

次に議案の提出者は必ず其議員なるを要するを以てこれ亦誘惑の原因となるなり。前期の國會には無量一萬七千の議案提出せられたりしが、州會市會に於ても亦數萬の提案あるを常とす。斯く過多なる議案の提出を見る所以のものは、委員會制度の爲め議員は議場に於て堂々演説をなすの機會なきにより、議案の提出は議員が選舉區民に對して眞實に其利害を代表しつゝあることを示めすべ

き唯一の道たるを以てなり故に元老院議員が國家全體の幸福を主眼として何事をも論ずるが如きは敢て望むべからず彼等は恰も其州の利害を代表せんが爲めに派遣せられたる大使たるの觀あり且つ所謂元老院議員の禮讓により同僚相互に利益の交換を爲し相互に提案を通過せしめ斯くの如くして立法院を恰も自己の人望を收むるに利益ある機械となすなり州會に於ても亦之に異ならず議員は先づ第一に自己選舉區の代表者にして其利益に關して他の干渉を受けず思ふ儘をなさんとす且つ州會議員も亦收賄をなすの機會少なからず全く自己の職權を利用して不正の富を得んと目的より政治家となる者は市會又は州會に於ては甚だ多けれども唯だ國會に於ては大に其趣きを異にするを見るなり。

國會議員の地位は第一流の人物にても欲する所にして此顯要なる地位に在れば自ら其職責の重大なるを感ぜざるを得ざるなり其居をワシントン府に移すとは多くの人をして躊躇せしむる處なれども尙憲法の精神に鼓吸せられ喜んで國家の爲めに議員たらんと欲する者少なからず然るに州會に於ては然らず

して其議員となるとは政治専門家にあらざる以上は有爲の人物には非常なる犠牲たるなり州會の開會地は多くは州の邊陲にあるを常とし數々凡同煩瑣なる數千の議案に就て或は争ひ或は妥協する外殆ど何事もなすにあらず故に州會議員となる人物は概ね次の三者に歸すべし即ち第一先づ州會議員となりて政黨機關を利用し之を踏臺として以て一層重要なる地位を求めんと欲する者第二州會議員となり少額の俸給を得て以て満足する者第三人民の代表者たる資格を得て満足し更に大望なき者は故に州會議員の人格が一般に甚だ低きは固より當然のみされば社會の高き地位にある人は州會議員たるを欲せず會勢力ある人が議員となることありとも全く爲めにせんとする所あるものにて決して忠實に其職務に盡し以て州會の革清を計らんとするが如き心を有するにあらず事態斯くの如くなるが故に州會は最も不健全なる敗徳政治家の集合所たるや毫も怪むに足らざるなり。

又米國に於ける小選舉區制は下等議會の標準を低ふするに與つて力あることを忘るべからず代議士は必らず其選舉區内に居住する人ならざるべからずと

せば其候補者たるを得べき人の數は之が爲め大に制限せられざるを得ず、殊に市會の選舉に於いては市内の各選舉區は如何なる貧民窟と雖、唯區内居住の者のみを選擧すべきにより此弊害最も甚だしきを見るなり。尤も斯くなすには道に乏しきにあらずと雖、多くの人は必らず斯かる議員と相伍するを快しとせざるべし。爾く高尚有爲の人物は其議員たるを避けんとするにより市會は敗徳劣惡の徒が獨り跋扈跳梁するはこれ洵に己むを得ざるなり。

市は其行政部に於て州及び聯邦のそれに比して劣る所更に甚だし、聯邦政府の各部の長官は唯一人にして、總ての責任を負へるに反し、市にては近年迄委員會を設けて之に各部の行政を委任せること尠ならず、これ多數決を以て最良の方法とせる舊來の米國思想によるものなり。然るに又之を唯一人に委任するものにありては、概ぬ市長と市會との共は選任する所にして、眞に熟練なる専門の士を用ふるとは甚だ尠なく、毎も全然政黨の關係により選舉毎に上級吏員の變動常なきが故に、有爲の人物をして一生其身を獻ぜしむるが如きは到底望むべからざるなり。

獨逸に於ては市の各部の長は専門熟練の士にあらざれば選任せらるるを得ずと雖、米國に於ては敢て此事なきを以て常に無數の候補者を出すを常とす。されば斯かる無責任なる委員等が動もすれば收賄の誘惑に陥り、其職權を濫用して不正を働くが如きは敢て之を怪むに足らず。尤も米國都市の消防部は成績甚だ好良なりとの評あれども、最も誘惑多き警察部の如きは腐敗を免れざるが如し。一方には其組織頗る整頓し犯罪の搜索善く行届くと共に、他方に於て警察吏の腐敗は實に甚だしきものあり、窃盜や殺人犯は嚴重に罰せらるゝも、警官が酒店料理屋等より莫大の金錢を強奪し以て其犯罪を看過するが如きは寧ろ普通のことたるなり。

尤も此に注意すべき二の點あり、第一、斯くの如き非難は其中の八九は過張の言にして信ずるに足らざるとなり、其罰甚だ重く、探索の方法甚だ嚴密なるのみならず、其反對黨及び新聞紙等も亦一般に之が監視を怠らざるなり。州又は市の下級吏員の敗徳は寧ろ例外たるに過ぎざるなり。收賄の嫌疑も嚴く之を調査すれば恰もこれ大山鳴動して一鼠出づるの類たると多く、實際檢事が收賄罪とし

て起訴するとは殆ど稀なり、假し其事ありとするも犯人は多くはアイルランド又は其他の歐洲諸國よりの移住者にして、眞のアングロサクソン人の血統を受けたる米國人は與る所なし、畢竟斯かる移住者が大都會に集合するは米國の市政を腐敗せしむる一大原因たるなり、第二市の有給職を政黨政治家に分配することは必らずしも之を權力の濫用なりと言ふべからず、例へば一の都會に於て共和黨敗れて民主黨の市長選ばるれば、其黨の勝利の爲めに盡力せる人々に市の要職を與ふると通例なり、然れども市長は充分に適材を擧ることに留意すべし、然らざれば彼は却つて自己の地位を危くするのみならず、引いて自黨の名譽を損ひ、將來再び勝利を得ること能はざるに至るべし、市長が自己の黨中より適材を選びて市の要職に置くことを得ば、假令選舉運動の功勞に對する報酬なるにもせよ、之を以て直に敗徳不正の行爲なりとは云ふべきにあらざるなり、要は唯其人選の如何にあるのみ。

其弊害は敢て唯行政立法の兩部にのみ止まらず、司法部に於ても亦之あるを免れず、陪審制度によれば、人民より選ばれたる十二人の陪審官が一人も殘らず皆

同意するを要す、これ法律の規定なり、乃ち此等十二人の陪審官は一室に會し其有罪無罪に就いて滿場一致の決議に達する迄議論に續くるなり、故に若し一人にても頑固に自説を主張して已まざれば、他の十一人の決議は空しく無効に歸すべし、されど滿場一致の決議をなす場合に於て、若し其決議が不公平なる偏頗心に出る時は一層甚だしき弊害を生ずべし、即ち南部諸州時には西部諸州に於ける陪審官の判決が識者をして慨嘆せしむること往々之あるが如きなり、而して斯かる不公平は被告を無罪とする場合に於て特に多しとす、又裁判の遅延と餘り形式に拘泥するとは共に大に遺憾とすべし、されど猶更遺憾とすべきは判事の任命が大に政黨に關係を有し、其多くは一定の任期を以て一般人民の選舉による事なり、尤も孰れの政黨にも多くの良辯護士あるが故に政黨に忠義を盡せし人が其報酬として判事に登用せらるればとて、敢て之を惡事なりと言はずとも、彼等は在職中昇進若くは再選を欲する心より政黨の爲めに力を盡すところを免れざるべし、これ眞の弊害なりとす、されど聯邦裁判所及び州の高等裁判所に於ては全く斯かる弊害なし。

検事も亦往々にして政黨の支配を脱すると能はず、元來検事は行政部に從屬する者なれば、即ち取りも直さず政黨に從屬する者にて、苟も政黨の利害に關係ある事には可成干渉を避けんとするの風あり、特に資本家と労働者との論争に於て、検事が資本家に對して餘りに寛大に過ぐるの嫌ひあることは吾人の屢耳にする處なり。

政黨機關の権力大なることも亦確に弊害を生ずる一大源泉なり、吾人は前に合衆國の政治に二大政黨の必要なる所以、政黨の組織完全にして始めて勝利の得らるべき所以、及び斯かる政黨を組織するには政治専門家の助力を要する所以を述べたり、而して斯かる政治専門家は立法部の内外に居り、爾く大勢力を有するは全く政黨機關に於て、彼等占むる處の地位なりとす、然るにこの勢力は何等法律によつて賦與せられたるものにあらざるを以て、動もすれば之を濫用せんとするの傾向あるなり、故に殆ど孰れの州會に於ても政治専門家は種々の奸策を弄し、議員中金錢に潔白なる人物までも遂に之が爲めに籠絡せらるゝこと決して珍しからず、斯くの如くにして米國政黨機關の組織が賄賂の機會を與ふる

事は得て疑ふべからざるなり、然れども翻つて考ふるに斯くして政黨の勝利を得たればとて選舉場裡に於ける勝利の利益よりは、却つて之が爲め政黨を損害すること一層甚だしきものなりと云はざるべからず、されば所謂政黨政治屋連の專權なるものは單に一時的表面的のものに過ぎずして、實際上より見れば米國には尙一層強大なる一大勢力の存するなり、他なし、即ち人民の輿論にして、管に政治屋連の專權よりも強大なるのみならず、大統領或は立法部よりも一層強大なる勢力を有し、あるゆる弊害、危険、罪惡、濫用等を監視し、防遏し、以て國運の進歩發展を助くるものなり。

第七章 輿論

吾人は大統領、國會、裁判所、州、特に政黨の諸制度中に米國人民の長處の表はれたることを論じれば、別に輿論を以て政治上の一大要素として論ずるは或は無

用の業たる如く見ゆべし。美術、文學、道德、社會等の如き政黨及び政治の制度に係なき問題に於て輿論の勢力の強大なることはこれを拒む者なしと雖、已に選舉の機關充分に具備し、無数の代表者及び官吏を選出し、且つ毎年數千の議案を討議して之を通過する立法部の組織完全なる國に於ては、政治問題に關しては別に輿論を容るゝの餘地を残さずと思惟する者あるべし。然れども事實は全く之に反して眞個國民の輿論なるものは以上の如きものとは多くの點に於て劃然たる區別あるなり。

獨逸人中には内閣が總て議會の多數黨に依るにあらずんば眞の民主政治とは稱すべからずと考ふる者少なからず。而も斯かる獨逸人が民主國たる米國に於ては國會が最高官吏の選任に關して何等の權力をも有せざるを見て一驚を喫すべし。實際大統領は其内閣を選任し内閣と共に全然國會に反對することを得べし。米國人民は大統領及び内閣の獨立を制限したればとて之が爲め別に輿論を代表し得べしとは信ぜず。此點に於ては英佛兩國國民と其思想を異にせり。蓋し米國の政黨政治と輿論とが全く一致せざる點ある所以は、憲法の規定其

物によるにあらずして、實は米國人民が之を實地に運用する方法によるものなり。例へば英國憲法は内閣に關して何等の規定なきも尙英國政治の中心たるべく米國の政治は全然憲法の規定を遵守して尙輿論の眞の反射たるべきが如し。而して事實上然らざるは畢竟米國政黨の狀態に由れるものなり。

二大政黨の對立は激烈なる競争を惹起し爲めに唯政黨の勝利其物を以て目的となし、政黨の支持者は政黨の主義綱領を閉却し、政黨を利用して以て個人的利益を收めんとす。假し斯かる利己心なしとするも畢竟政黨の策略を政黨の理想よりも重要視するなり。されど嚴密なる規律訓練なくむば其策略も亦施すに由なきを以て、政黨にして自己の利益を保護し以て反對黨を壓倒せんと欲せば、單に討論俱樂部を以て居るべからず、必らずや嚴重なる實際的組織たらざるべからず。此に於いてか政黨の管理統御の權力は政治専門家の援助に依つて其地位を保てる少數の政黨首領の手裏に歸するは固より當然なり。

試に大統領選舉の場合に就て見よ。數百萬の人民は恰も自己の考に出づるが如く、或は甲の候補者に或は乙の候補者に投票すれども、其裏面を覈査すれば其實

已に國民大會の數月前に數名の政黨の首領相集りて大統領候補者の豫選を爲し置けるなり。又何を以て政治上の大問題と爲すべきかを實際決定する者は政黨首領にして、これ彼等の最も重要な職務なり。勿論一部の人が抗辯を挿むことありとも、堅固なる政黨の組織は之に依て破るべからず。且つ首領が承認せざる問題を如何に論じたればとて、到底實効を收むること能はざるは吾人の已に述べたるが如し。されば一般投票者等は單に己が政黨の爲めに選挙場に行くのみにて、實際自ら何事をも決定するにあらず、亦自己の是とする候補者を選挙するにあらざるなり。且つ人民は如何に政府に對して不満を懐くとも、其在職期限の満了せざる間は亦之を奈何ともする能はず。獨逸に於いては新なる論争起れば政府は議會を解散するを得べく、英國に於ては内閣が其法案を否決せらるゝ時は辭職を爲すべし。然れども米國にては國會に於て過半数を占めたる政黨は其在職期間は何等願慮するの要なし。故に米國の政治は政黨を支配する勢力に依つて支配せられ、唯國民が黨派心を以て満さざる範圍に於て政府は國民の意志を反射するものなり。

元來輿論は其本質として自ら斷乎たる判定を下すものにあらず。直に可否の二字を以て之を斷定するは全く政黨首領の指導に依てのみ。若し然らざれば必ず公平に双方の利害を觀察して以て穩當なる判斷を下すを常とす。單に政黨の事のみを思ふ人は不正なる事にも不和雷同することあるべけれど、超然として政黨の外に立てる人は種々の問題が單純に可否の二字を以て判定すべからざるを知り、必らず其全軀の關係及び過去の由來等を考慮して之を決せんとするなり。されば其判定は眞を得て誤らず。かゝる判定には常に實在的精神活動し、敢て作爲の區別や政治上の策略を含むことなし。蓋し健全なる國民の道徳的感情は以て一切の問題を解決するに足れり。而して斯くの如き不偏不黨の道徳的感情の盛んなる未だ他に米國一般の人民に及ぶものなし。これ乃ち米國將來の運命に大勢力を及ぼすものにして、斯かる政治の眞の中心たり。眞の反射たるものは實に輿論なる哉。

前に述べたるが如く米國の立法部は凡て上下兩院に分れ、各自其手續きを異にし、又其權利を異にせり。されば吾人は之と類比して米國の政黨は國民の下院に

して輿論は國民の上院たるべく、二者相合して初めて國民の政治的活動を成し而して政黨は數量的に輿論は品質的に國民の意志を代表すと云ふを得べし、數量的代表を要する場合には、明かに賛成者を分つ爲め、其問題を劃然區別するを要す。而して各人賛否の價値は皆同一にして、政黨運動の激烈を極め一枚の投票にも非常なる競争あるは全く之が爲めなり。されば此下院たる政黨の大なる利益は早く討論を終結して採結するに在り。而して凡ての政治選舉は斯くの如き豫備的結果たるに過ぎず。然るに輿論は大に之と異り、單に數量によつて決定をなすにあらず、仔細に事實の真相如何を考慮し、敢て單に起立其他の數量的表示は重大視せざるなり。輿論に於ては黨派の相對立するなく、單に微妙なる差等あるのみ、敵味方として分るゝにあらず、單に眼界、智識、精力、至誠等によつて各人の差異を示すのみ。されば正しく智き一言は亂雜なる千萬言に優り、國民中最良の人々は何等の喧噪を須ひず、沈黙の裡に無限の勢力を以て輿論を作成して終にはあらゆる政黨を動かすを得るなり。蓋し輿論の目的は政治を釐革し、以て萬事國民の理想に適應せしめんとするにあり。

大統領が國會の決議を否認し、政黨の首領が忽然聲望を失し、候補者中より除名せらるゝ者あり、或は議會に於て黨派の分裂を來すが如き、これ皆輿論の力にあらざるはなく、政黨は輿論の強壓を受けて已むを得ず、其利益を國民の利益の爲めに擲棄せざるを得ざると尠からず。

斯くの如く國民の意志が二重に發現するとは、獨逸人には容易に解し得られざるべく、彼等は政黨と輿論との一なるを以て寧ろ當然の事となすべし。これ全く獨逸は米國と事情を異にするを以てなり。第一獨逸には十二三の政黨ありて、米國の如く唯二大政黨あるよりは、一層詳細に輿論を表現するを得るなり。且つ爾れ數多くの政黨に分れ居るが故に、全然國事の責任を負ふ政黨の爲めに必要なるが如き政黨機關を得て發達するを得ず。獨逸に於ける政黨中強ひて米國の二大政黨に類似せるものを求めば、總ての人民黨を合したるものと社會民主黨との對立ならんか。然れども獨逸政黨の發案權は甚だ小なるを以て眞に責任ある政黨の發達は得て望むべからず。獨逸にては人民の代表者は政府の提案を承認し、或は否認し、或は修正するの權あるも、發案權は政府の掌握する處にして責任

も亦政府にあり且つ獨逸政府は超然として政黨の上に起ち政府は人民より選舉せられたるものにあらず亦直接人民に依頼するものにもあらずして實に立法行政の源泉なりと云ふべし。されば總ての政黨を超越せる國民の道德的統一を代表するものは獨逸にては政府なれども米國にては輿論なり而して米國の政府は全然政黨によつて作られたるものなり。

合衆國の輿論を以て純善なるものと思ふべからず若し模範的米國人の總ての性質を表示せしむればこれ決して其の輿論を言ふを得ず然れども斯かる模範的人物を單に一般普通の人民に求めんとするは正當ならず何となれば多くの人は孰れも皆特別なる性癖を有し例へば過度に愛國心を有する人道德に嚴重なる人自負に過る人若くは餘りに樂觀的にして熱心を缺ける人等あるべし然れども吾人若し米國の社會を観察せば、ニューヨーク、ボストン、ワシントン等の大都會のみならず西部地方の小村落に於ても趣味性質の相類似する一團の人民等が食後卓上煙草を吹かしつゝ熱心に談話するを見出すべし而してこれ實に模範的米國人なるを知らん。彼等の談る處は學識の深遠なるにあらず修辭の巧

妙あるにあらずと雖吾人は彼等が事物の觀察に鋭く其德義心に充滿せる大に欣聽すべき者あるを感ずべし。彼等は公民として政治の集會に出席し政黨の爲めに資金を寄附し天氣さへ好ければ選舉の日には投票場に行くべしと雖特に政黨政治に興味を有するにあらず。彼等は現下の弊害を知悉すれども而も將來は萬事改善すべきを確信し米國が尙少壯勇健にして將來益々發展すべきを疑はざるなり。彼等は又單に實業の進歩奢侈及び富のみが眞の文化を構成するものにあらずるを了解せり。されば彼等は全力を盡し吝みなく或は圖書館に或は大學に寄附し多分また己が土地の諸學校にも盡力するならん。彼等は自己の甘さを欲して苦さを避くるの短處あるを坦白に自白し。彼等は常に嬉笑して悲觀せず何事に對しても吝嗇ならず。彼等は常に他人を扶助するに躊躇せず其反對者に對してすら常に正義を行ひ瑣々たる過失の如きは敢て之を問はざるなり。彼等は何事にも機智頓才を以て當り決して怒ることなし。然れども若し一度び敗徳汚行のあるを認めば忽ち憤然として怒るなり。此に於て模範的米國人の本性即ち見はれ來る。彼等は政黨又は社會の階級に就ては殆ど頓着する處なし。而も

自己の政黨に過失あれば、嚴く之を責め、自己の仲間に不公平の行爲あれば、烈く之を非難すべし。又彼等は眞に宗教心に富みて、遂に物質の外に超然たる高尚なる生涯を送るなり。

斯かる良民こそ即ちこれ有力なる輿論の提唱者にして、其智愚優劣の等差こそあれ、國民性の孰れかを著しく表示するものなり。而して彼等は常に米國の將來を樂觀し、確信し、政黨政治に無頓着なるも、而も愛國心強く、感情的なれども、而も保守的精神に富み、信仰を重んじ、熱心なるも、而も輕躁ならず、反對者に對してすら正義を以てするも、而も卑劣なる行爲目的に對しては、毫も假借せずして之を攻撃するなり。輿論の特色は、誤謬又は弱點に對しては、忍んで之を寛容するも、卑劣又は不徳に對しては、飽までも之を排斥するにあり。然るに黨派心は、全く之に反し、動もすれば、瑣々たる弊害に對して、喧噪し、却つて最も大なる罪惡を看過せんとする傾きあるなり。

概言すれば、輿論の一要素は、常に變らざる機智頓才にして、これ實に米國政治の弊害の防腐劑なり。故に輿論と政黨とは、全く相反對して、政黨の政略によれば、國

民の神聖なる名譽は、獨り自黨に存すとの思想を公衆に吹込むに在り。而して此くの如き事を人に信ぜしめんと欲せば、嚴格なる態度を以てせざれば、其効力少なかるべし。選舉者も亦公民として、其職を行ふには、非常に眞面目にして、且の候補者に對しても、嚴格なる態度を採らんことを要求す。然れども、此同一の選舉者が友人と其事を語るに當ては、全く政黨を離れて、輿論の發言者となり、直に機智迸發して、諧謔の語を用ゆ。斯くの如くなるが故に、一方に於て政黨の首領は、嚴然として人民の前に立つも、其實一般人民は、眞に諧謔によつて支配せらるゝなり。例へば家庭にては、酒を飲む人が公けの宴會にては、炭酸水を呼んで、禁酒家を粧ふが如し。かの一般人民は、沈鬱にして不活潑なれども、政黨の首領等は、機智頓才に富める英國流とは、全く正反對なりとす。米國にては、人民即ち主權者なるが故に、輿論は諧謔の權を有し、高き處より笑ふて、政黨を瞰下するを得べく、之に反して、政黨運動に狂奔する者は、慎重嚴肅の態度を取らざるべからず。故に機智頓才諧謔をなすものは、英國にては内閣にして、米國にては輿論なり。これ實に民主政治と貴族政治との差異を遺憾なく表示するものにあらずや。

今若し輿論を作るものは誰れぞやと問はゞ、先づ第一に選舉權を有せざる階級即ち婦人なりと云はざるべからず。米國の婦人は殆ど政黨政治に關係せず、然れども婦人が政黨に關係せざるは彼等が選舉權を有せざるが故なりとは云ふべからず。彼等にして若し政黨政治に興味を有せば或は選舉權を獲得すると難きにあらざりしならん。有識の士は婦人の政黨運動に加はらんことを希望する者なしと雖、これ必らずしも婦人が政事問題に關係せざらんを欲してにはあらざるなり。婦人は輿論に大なる感化を及ぼすものにして、勿論彼等は團體を作り喧嘩して運動をなさざるも、家庭に於ける感化及び正義の感情によつて沈黙の裡に非常なる大勢力を行ふなり。彼の道徳心に訴ふる改革運動の如きは常に婦人の社會的勢力によつて遂行せられ、多くの奸猾なる謀策は彼等の助力によつて打破せらるゝこと尠なからず。

輿論には男女の差別なし。況んや社會の階級をや。輿論は階級者間の反感によつて弱めらるべきものにあらざるなり。勿論職業の差異によりて利害自から異なるべく、土地の差異によりて輿論も亦多少異なるにあらざれば、例へば農業諸州の

問題は自から商工業諸州のそれと異り、南部諸州と北部諸州と鑛山業地方と其他の地方とは又各、其趣きを同うせざるべし。然れども此等は輿論の差異にあらずして、實は輿論をなす要素の一部の差異たるに過ぎざるなり。斯く輿論を成す分子には種々あり、従ふて多くの偏見あるも、既に一個の輿論となるや、事理明晰確乎として動かすべからず。これ輿論なるものは不注意、我利、偏執とは全く異にして、實に洞察、良心、友情の表現なればなり。資本と勞働、大學と小學、都會と田舎と云ふが如き特殊の利害も、輿論の前には其代表者を有せざるなり。唯、官吏及び政治専門家は政黨事務に忙しく爲めに輿論の清流に足を入るゝこと能はざるなり。輿論に直接の感化を與ふる者は二三の有名なる元老院議員若しくは州知事、大統領及び内閣の或る人々に過ぎざるべし。

輿論の源は教育ある人々より起り、往々初めには個人的特色を帯ぶるとあるも、諸流相合し漸く源より遠かるに及んで斯かる特色は全く消失し、思想の融合によりて銀行家も製造業者も學者も職工も農民も皆一團となりて所謂模範的米國思想の内に包括せらる。苟も良心、德義、愛國心、友情、進歩、秩序を重ずる人は唯だ

一の公平なる輿論に依りて、敢て特別なる政黨若くは社會の階級には依らざるなり。

然れども斯くの如き輿論も之を組織し之を支持するもの無かるべからず。而して此點に於て米國の新聞紙は其大同盟者なりと云はざるべからず。米國新聞紙は政府の政略又は黨派心に對してよりも、輿論に對して一層忠實なり。茲には新聞紙が輿論に與ふる影響如何のみを論じて、其文學上の影響は後篇に述ぶることとすべし。勿論米國人は新聞紙を以て政黨政治の目的を達するものとし、其勢力によらずむば政黨の生命を保持すること能はざるべしと思惟す。此點に於て獨逸人は米國新聞紙の効力を疑はざるを得ず。米國の新聞紙は歐洲諸國の新聞紙と全く其軀裁を異にし、第一面には論説もなく政治上の眞面目なる記事もなく、却つて大活字を以て種々の罪惡、放火、殺人、窃盜等の出來事を記載するを常とす。然れどもこれ唯だ社會の耳目を刺激衝動し、廣く一般俗人に新聞紙を讀ましめんとするが爲めにして、第一面にこそ論説又は眞面目なる政治問題を記せざれば第二面以下の目立たざる處に之を載するなり。されば一見然らざる如きも、米

國の新聞紙は輿論を表示するの機關たるなり。

多少高尚なる新聞紙に至ては、政黨の機關にもあらず、亦單に日々の新聞の報導のみを任とするものにもあらずして、實に輿論の代表者なり。勿論政黨の報告を長々しく記載せざるにあらずれども、其一部は直接輿論に關係を有するものなり。何となれば人民は皆政黨の狀態、或は政府、國會の所爲、或は當選したる候補者等に關して十分に知了せんことを欲すればなり。勿論此等良新聞紙中には、最良にはあらざるも、全く政黨の機關紙たるものなきにあらず。又之と齊しく、或る産業上の利益を代表して全然資本家の藥籠中ものたるものも尠からず。然れども米國の新聞購讀者は斯くの如きものを以て欺かるゝが如き無經驗者にはあらざるなり。且つ如何なる小都會に於ても三個或は四個の日刊新聞發行せらるゝを常とし、其競争甚だ激甚なるが故に新聞社は少にても此點に注意を怠れば直に讀者を失ふに至るべし。

米國の新聞紙は主として營利の目的なるを以て商業上の利害より餘り一方に偏する記事を掲ぐると能はざるはこれ事乃幸福といふべし。其收入の第一は廣

告料にして新聞代價の如きは唯第二たるのみ。然るに廣告屋は新聞の社説、其他の記事が共和主義なるも民主黨的なるも固より敢て關する處にあらずして、唯其發行紙數の多少如何を顧慮するのみ。而して發行紙數の多少は他と競争する紙面の巧拙如何によるなり。獨逸の新聞紙は其購讀者の範圍甚だ狭く且つ重に豫約者なるを常とするが故に、動もすれば政黨に偏し易きも、米國にては豫約者よりも日々の賣上高却つて多く、社會の各方面に涉れる記事を掲げ、公平なる輿論を載する新聞紙は是れ紙數を増加する方法なり。勿論之が爲めに其政治上の敵と味方とを有し、其記事の特色を有し、殊に特別なる利益を有するを妨げざるなり。然れども概して云へば米國の新聞紙は公共の問題に對しては不偏不黨なるが故に、選舉間際にあらざる以上、一般讀者は其新聞紙が共和主義なりや將た民主主義なりやに頓着せずして購讀するならん。米國の新聞紙は或る時は一方を貶し或る時は一方を駁す、假令ひ其孰れにか味方すると明かなる場合⁽⁶⁾に於ても、なほ反對黨の機關新聞の論説を拔萃するが故に、讀者は時爲の全体に通じ自ら輿論を作るに遺憾なきを得べし。

斯くの如く米國の新聞紙は殆ど政黨の束縛を免るゝが故に、輿論の説明者なりと云ふを得べし。換言すれば超然として政黨の策略や論争の外に立ち公平に事物の批評を爲さんと欲するなり。故に表面上は或政黨の機關紙なりと雖、尙自黨の人を非難し、反對黨の者を賞揚することあるべし。米國の新聞紙が諷刺畫に巧みなることは世人の熟知する處にして、其輿論に及ぼす影響は甚だ大なるものあり。而して假令政敵を非難したるものにては、諷刺畫は一般に黨派心よりも廣き考を以て之を爲すを常とす。其他紙上の記事も亦諧謔滑稽に富み、大に人の愛讀を促し以て輿論を養成するに力あるなり。

米國新聞紙の一特色なる訪問談及び紙面の最も重要なる部分に記載せらるゝ寄書の如き皆輿論の媒介となること明かなり。米國の新聞紙が事件の報導に機敏なることは實に驚嘆すべく、通信員等が其材料を蒐集せんが爲めに大膽熱心に盡力することは夙に世人の知る處なり。探訪記事の如きは零碎採るに足らざる風聞とも讀者に報導する傾きなりと雖、これ又一方より見れば民主國民として下級人民に新聞講讀の趣味を起さしめ、人民の希望を充たすべきものは疑な

し。又米國新聞紙の勢力の大なるは、孰れの新聞社も皆巍々として天空に聳ゆる壯麗なる大建築物なるを見て想像することを得べく、歐洲の新聞記者等が陋巷の小室に筆を握るに比すれば、雲泥の差ありと云ふべし。挿繪の巧妙なるも亦賞讃すべき價値あり。大新聞と稱せらるゝものゝ中にも感情に訴へて讀者を刺激するとを努むるものあるが、斯かる新聞紙の挿繪は實に巧妙なるものにて、例へば或事件の起れる數時間の後には直に其光景を寫し、之を記事中に挿入して讀者に分つが如き其機敏神速實に驚かざるを得ざるなり。

之を要するに米國の新聞紙は一方に於ては米國民の精力繁榮偉大を表示すると共に、他方に於ては其輕躁卑俗激烈なる愛國心、壓ゆべからざる滑稽等を以て大に平民の勢力を表示す。善き新聞紙程用心深く、發賣高多き新聞紙程向ふ見ずなるを見る。概言すれば西部諸州よりも東部諸州に良新聞多し。尤もニューヨークにも二三甚だ不良なる新聞なきにあらざれども米國中第一等の新聞紙と稱せらるゝものは、歐洲の最良新聞紙と雖、或る點に於ては企て及ばざるなり。

されど新聞紙をして墮落せしむる下等の動機あるは拒むべからず。就中新聞政

略と政黨運動との合併は其最たる者なり。輿論の爲めに總ての政黨を飽くまでも吟味し、自ら不偏不黨を標榜する新聞記者は却て之が爲めに自己の地位を濫用して私利を計らんとする誘惑多し。例へば表面には不偏不黨を標榜しながら暗々裡に一方の政黨を幫助し、萬一其政黨にして政權を稔得するに至らば、其報酬として俸給多き地位を得んとするが如きは珍からざるなり。されば之より更に一步を進めば或黨派又は企業家の欠點を探查し以て不當の利を食らんとするが如きも決してあり得べからざる事にあらず。或新聞が極力或會社若は銀行の利益を保護するを見ては大に嫌疑の念を生ぜざるを得ず。然れども直接賄賂の行はるゝことは甚だ稀にして特に政府又は外國が新聞記者に賄ひ以て其新聞を墮落せしむるが如きことは斷じてこれなし。眞に恐るべきは新聞社の持主が其虛榮心よりして或は利己的動機よりして民心を惑はさんとする時なり。然れどもこれ又人の想像する如く危険なるものにあらず。何となれば米國の新聞讀者は大概唯一種の新聞を讀まず、且つ紙面の記事を其儘に信ずるが如き馬鹿正直なる者は殆どあらざればなり。且つ記者が單に讀者の意を迎へんとして記

せるものも、讀者の方にては、自重心と批評的態度とを以て記事の眞價を判断せんとするが故に、以上の如き弊を避くるを得べし。故に若し新聞紙にして超然として政黨の外に立つとせば、新聞讀者は亦超然として新聞紙の外に立つといふべし。斯くの如くして新聞紙は實に有力なる輿論の援護者なるなり。

唯日刊新聞紙のみ輿論に關係あるにあらず。其外に週刊及び月刊の新聞雜誌あり。其文學上の價値はまた後篇に述べべきが、其最も重要な點は實に輿論に及ぼす勢力なりとす。週刊新聞は主として實際の利害に關し、宗教、社會、文學等の諸問題を掲ぐるも亦一種政治上の見地より眞面目なる評論をなし、以て間接に政治に影響を及ぼすものなり。然るに月刊雜誌は大に之と異り、霸氣勃々として政治を論ずると前者に比すれば大に直接なると見る。月刊誌上に於ては常に政治専門家のみならず、米國第一流の名士の筆に成れる名論卓説を掲ぐるを常とす而して其論旨概ね公平にして偏見に陥るものを見ず。例へば「北米評論」(North American Review)、「大西洋月報」(Atlantic Monthly)等の諸雜誌は其論説の公平にして、其發賣高の多さと歐洲の雜誌界に於ても多く其比を見ざる處なり。其他、マク

クリュー雑誌 (McClure's Magazine) が、數ヶ月に涉りてスタンダード石油會社の歴史を掲げ、その巧に法網を潜つて暴利を貪りつゝある事實を曝露し以て其五十余萬の讀者に報導したるが如きは、實に輿論喚起の爲めに力を盡すものと云はざるべからず。

新聞雜誌の輿論に與ふる勢力は爾く大なるが、一方に於て演説の力も亦敢て之に譲らざるものあり。元來米國人民就中其婦人が演説を聴く能力は實に驚くべきものあり。純然たる政黨の演説は政黨以外には餘り効力なきも、社會及び政治に關する演説は喜んで人に傾聴せらる。其他諸謔なる食卓上の演説も演者は少も忌憚する所なく充分に思ふ所を述ぶる故にこれまた輿論の源たるなり。

尙此外に無數の俱樂部や協會や、其他或特殊の目的の爲めに設けたる各種の團體ありて皆輿論を喚起するの具たらざるなし。米國人は概ね斯る會合に加入し、熱心に運動するを常とす。勿論此等の會合中には利己的なるもの、偏見なるもの、輕薄なるものなきは非ずと雖、亦健穩にして正きもの決して少からず。されば一として各人皆輿論の携帶者たることを確信せしめざるは莫し。恰も政黨が有權

者に對して其政黨の規律を無視し責務を怠るを責むるが如く、熱心なる世の改革者は必ず其後ろに在る人民が一致の歩調を取らざるを責むるならん。されど其後には雲霞の如き大軍あり、今や輿論は恰も政黨と等しく完全に組織せられ、國民の生活に品質的効力を及ぼすとは、敢て政黨の數量的効力に對して毫も譲る處なきや明かなり。

若し重要な問題起れば、必らず政黨と輿論との兩機關によつて論定せらるゝなり。大統領選舉の間際約二ヶ月間は、輿論の聲全く消へて、唯だ政黨の謀計策略社會を支配すれども、此短期間を除けば輿論は常に間斷なく民心を支配するものなり。加之輿論は二政黨に等しく勢力を及ぼし、以て其政治家を拘束し、其厭ふ法案を可決し、其好む法案を廢棄せしむ。而して此等の人に關せず、候補者の指名も政黨首領の選舉も皆社會公衆の心に従はざるを得ざらしむ。

第八章 人口問題

輿論と政黨政治とは米國人民の國民的意識に於ける二大要素にして、二者の全然相一致するは殆ど稀なるのみならず、氷炭相容れざるが如きこと屢なれども、而も畢竟二者の關係は恰も上下兩院と等しく、時事問題の解決の爲め共に協力するものなることは前章に於て述べたるが如し。元來時事問題を論ずるは吾人の目的にあらざれども、時事問題中特に重要なものに就て概説するはまた無用の事にあらざるべし。

歐洲諸國特に獨逸に於て重要問題とせらるゝものの多くは米國にては全く關係なきものあり、例へば政治問題としての教會問題の如き即ちこれなり。米國にては國家と教會とは全然分離せられ、人民亦之に満足するが故に、此點に於て變化を希ふ者は何處にもあらざるべし。教會の獨立は宗教の勢力發展上尤も必要なりとはこれ宗教家の皆齊く信ずる所、教會と政黨政治との間も其關係亦甚だ遠くして、曾て加持力教會に反對せる半政治的運動も今や既に過去の一夢となりぬ。米國にはゼスイト問題もなく、唯モルモン宗が國家の法律に反き一夫多婦

の制を執りし爲め、政治上の波瀾を惹起したるも、これすら同教會が服従したるを以て鎮定に歸したり。

次に米國にては行政府と人民との間に未だ曾て眞の衝突あらず。元來政府は短期間の任期を以て常に人民により選舉せられ、且つ國の元首と其内閣員とは立法に關係せず、行政府は單に多數黨の希望を實行するに止まるが故に、勿論衝突の起るべき餘地あらざるなり。尤も立法部と行政府との間には多少の小軋礫なきにあらず。又大統領は其四年の任期中徐々として己れを選舉したる政黨より遠かり、多少の隔離を生ずるとあるべきも、これとても唯其黨の政治専門家連との隔離たるに過ぎざるなり。何となれば從來の經驗に徴すれば、大統領若くは州知事が自黨との關係を斷つことを得るは、唯彼が自黨政治家の指圖に従はず、輿論の希望に従へる場合に限るなり。尤も斯かる場合には人民は大統領又は州知事の味方たるなり。されば歐洲に於ては政府と人民との衝突、即ち政府と政黨の代表者との衝突ありと云ふに對して、米國にては政府其物も亦政黨の代表者なれば寧ろ輿論と立法行政兩部との衝突ありと云ふべきなり。而して輿論は選舉

及び過半数の全制度に對して舊時の主權を失はざるなり。次に米國には國民の政治的統一を破却して行政上の困難を來さんとするが如き人民なし。詳言すれば米國にはアルサス・ローレンの如き、若くはデンマーク、ポロランド等の如き地方なし。勿論米國は現今人口問題の爲めに非常に困難を感じつゝありと雖、未だ本國より分離せんと欲する人民なく、且つ移民問題に於ても別に難問題あらざるなり。尤も社會民主主義特に萬國社會民主主義の萌芽を生じたれども、これを獨逸のそれに比すれば殆ど言ふに足らず。何となれば労働問題はありと雖、これは社會民主主義とは同一物にあらざればなり。労働問題は經濟界に於ける大動亂の一部にして必ず米國が之を解決し鎮定せざるべからざるものなりと雖、主として政治上の意味を有する社會民主主義の解決は本來米國人の曾て知らざる所なり。尤も此等の事に就いては後篇に於て説く處あるべし。以上の如く歐洲にては困難なる問題も米國にては何等關係なしと雖、一方に於ては歐洲になくして却て米國に於て大に困難を感じる所の問題あり。而して其中最も激烈なるものは經濟問題なるは畢竟現今の過度の時代に屬するを以てなり。例へば最近の

大統領選挙に際し、通貨問題に就て激烈なる論争あり、且つこれより先きには保護貿易と自由貿易とに聯關して争ひありしが、將來に於ても亦二大政黨は互に隊伍を整へ再び相戦ふに至るなるべし。

大トラストの勃興も亦忽ち大問題を生じたり、而して二大政黨が齊しくトラストに對しては放任主義を採るを見れば、吾人は此問題に於て政黨政治に對する輿論の眞の勢力如何を認むるを得べし、且之と同時に大同盟罷工特にペンシルヴァニアの炭礦地方に起りし大同盟罷工は明かに資本と勞働との衝突を國民的意識の上に反映し、一般人民の注意を此一點に集注せしめたり、或者は曰く、合衆國の最も重要なる經濟問題は西部地方に於ける荒蕪地の灌漑問題なり、此等の荒蕪地を合せば獨逸帝國以上の面積あるに拘らず、唯用水不足の爲に耕作し能はざるに非ずやと、然るに米國の技師等は思へらく、充分なる資本を投じて人工水利の法を講ぜば充分之に灌漑すべき見込みありと、或は又税法の改正を以て最も重要なる問題なりとなすものありて、單税法の有利なるを信ずる人は漸やく多きを加るが如し、其他國立銀行の改正、森林濫伐の禁止、或は州間通商關係の

規定等の如きは、敢て一人も之に不可を唱ふる者無し、猶或は新運河の開鑿を望み、或は米國の船舶に補助金の下附を主張する者あり、之を要するに今や米國の一般民心は種々の重大なる經濟的問題に充たされ、爲に單に政治上の問題は殆ど舞臺の蔭に匿れたるの觀あり、彼の米國の羈絆を脱せんとせる合衆國獨立問題、聯邦建設問題、降つては奴隸問題、南部諸州分離問題等の如き、一時國家の存亡に關したる政治上の大問題は幸ひにして過去四十年間は全く起らざりしなり、經濟問題の外に多くの社會問題あり、此等の問題は輿論の最も整へる方面より起りて、漸くに政治上に關係を及ぼすものにして、女子選舉權問題の如き、或は半ば經濟的半ば社會的なる貧富懸隔問題の如き、即ちこれなり、此貧富問題は、全く近頃起りたる問題なるが、東部歐洲より移住し來れる下等人民の集合して、以て米國惡評の燒點を爲せるニューヨーク及びシカゴの貧民窟は實に最近の産物にして、その悲惨なる生活状態は深く米國人民の良心を刺激せり、而してまた一方に於て富豪等は奢侈贅澤を極め、大に國民の勤儉蓄貯の觀念を毒しつゝあるな

米國の識者が物質的進歩と共に美術科學の發達を熱望するとも亦社會問題中に屬すべきものなり。米國の美術及び科學に關する諸問題が輿論の熱心なる援助によつて今日の隆盛を致せるは疑ふべからず。大學の發達、圖書館及諸學會の増加、博物館の創設、建築上の美術の發達の如き輿論の勢力によらずんば焉ぞ今日の如くなるを望むべけん。其他貧民救助、監獄改良、禁酒を始め所謂社會改良の諸運動は益、世人の注意を引きつゝあるなり。

以上諸問題の外純然たる政治問題も亦少なからず。第一、人口問題、特に移住民及び黒奴問題あり。第二、文官任用法の改正及び市政改革の如き内治問題あり。第三、外交問題にして帝國主義、モンロー主義の聲最も喧囂を極む。今順を追ふて之が概説を試むべし。

人口問題に於ける第一の論争は已に述ぶるが如く移住民の問題に關するものなり。一九〇三年七月の初めを以て終る會計年度に於ける移住民の數は、其以前に於て最も多數なりし一八八二年を以て終れる年よりも一割多かりしを以て此に大に輿論を喚起したるなり。事實の梗概を示せば左の如し。米國に來れる移

住民の總數は二千萬人にして、現今米國に住居する外國産れの者は一千萬人餘若し之に米國にて産れたるも其父母の外國人なる者を加ふれば二千六百萬人に達すべし。昨年一年間にても八十五萬七千人ありたり。而して此一千萬人の内二百六十六萬九千人は獨逸より、百六十一萬九千人は愛蘭より來れるものなり。抑も移住民の數の變動は、第一、合衆國の繁榮の度により、第二、歐洲に於ける經濟的及び政治的狀態の變動により支配せらるゝが如し。一八一〇年迄は毎年移住民の平均數は約六千人なりしが、其後數年間は英米兩國間の政治的紛争の爲め一時大に其數を減じたり。然るに一度び其事の落着し平和の確保せらるゝや、一八一七年には二萬人、一八四〇年には八萬四千人となれり。而して一八四二年には十萬を越へ、爾來漸く其數を増し、一八五四年には四十二萬七千人の多きに達せり。然るに其後再び忽然其數を減少せるはこれ全く、合衆國に於ける經濟界の沈滞に加ふるに奴隸問題、喧囂を極め將に内亂の起らんとする徵候ありしが爲めなり。移住民の最も少なりしは一八六一年にして僅に九萬一千人となりしが、二年の後再び増加し始め、一八七三年には始ど五十萬人に及びたり。然るに

其後又數年間經濟界の不振を來し、移住民も亦從つて減少したれども、程なく其回復と共に以前に優れる速力を以て増加し、一八八二年には七十五萬人以上に及びたり。一八八三年以後は平均四十五萬人なりしが、一八九三年の不景氣の爲め一時其半分に減じたれども、一八九七年以後は又漸次増加せり。

移住民の品質は其本國の社會狀態に依るものにて、頗る重要なる問題なるが故に右の如き統計は輿論の立場より見て最も緊要なる事實を示すものにあらず。一八六〇年より一八七〇年に至る十年間に歐洲より米國に移住せる者の總數は二百六萬四千人にして、内七十八萬七千人は獨逸人、五十六萬八千人は英國人、四十三萬五千人は愛蘭人、十萬九千人はスカンディナヴィヤ人、三萬八千人は蘇格蘭人、三萬五千人は佛蘭西人なり。又一八九〇年より一九〇〇年に至る十年間には其總數三百八十四萬四千人にして、其内獨逸人五十四萬三千人、愛蘭人四十萬三千人、瑞典及び諾威人合せて三十二萬五千人、英國人二十八萬二千人、蘇格蘭人六萬人、佛蘭西人三萬六千人なり。然るに一方に於て従前未だ多數の移住者を送らざりし伊太利、埃太利、匈牙利、及び露西亞の三國が、茲に初めて現はれ來りしこ

とは最も注意せざるべからざる事實なり。即ち一八六〇年より一八七〇年に至る十年間には僅に伊太利人一萬一千人、埃太利人七千人、露西亞人四千人なりしが、一八九〇年より一九〇〇年に至る十年間には露西亞より五十八萬八千人の移住民ありて、波蘭人及び猶太人最も多く、又埃太利、匈牙利人は五十九萬七千人、伊太利人は六十五萬五千人を下らず。而して爾來右三國よりの來住者は漸次に増加の一方なるのみ。一九〇三年に於て、僅に獨逸は四萬人、愛蘭は三萬五千人、英國は二萬六千人なるに對し、露西亞は十三萬六千人、埃太利、匈牙利は二十萬六千人、伊太利は二十三萬人の移住民を米國に送り、即ち問題の燒點は此處に在るなり。

歐洲より他へ移住せし者の全數中米國に來りし者の比例を見るに、一八七〇年以後の總數約二千萬人中約一千四百萬人即ち概略三分の二以上は合衆國に來る者にして、今之を國別すれば、獨逸は他へ移住せし者の八割五分乃至九割、スカンディナヴィヤは九割七分、英國は六割六分、伊太利は四割四分に當れり。且つ茲に注意すべきは移住民の數は非常に増加するに拘らず、外國生れの人口の割合は増

加せざることをこれなり。之を詳言すれば米國に於て生るゝ人口の増加は移住民の増加に對して優に匹敵するに足るなり。外國生れの人口は、一八五〇年には二百萬人餘、一八六〇年には四百萬人餘、一八七〇年には五百五十萬人、一八八〇年には六百五十萬人、一八九〇年には九百二十五萬人、一九〇〇年には一千〇七十五萬人にして、此等の外國人を合衆國の全人口に比例すれば、一八五〇年には一割一分なりしが、一八六〇年には一割五分となり、一八七〇年には又減じて一割四分四厘となり、一八八〇年には一割三分三厘、一八九〇年には一割四分八厘、一九〇〇年には一割三分六厘となれり。

ニューヨークは外國人の數最も多き州にして、過去五十年間に於ける其割合は二割一分より漸く増加して二割六分となれり。而してこれに次ぐはペンシルヴァニヤにして、イリノイは第三位にあり、尤も外國人の割合は小さき州に於て却て多し。例へば北ダコタにては三割五分、ロードアイランにては三割一分あり。而して南部諸州は外國人最も少なし、尤も其兩親又は片親が外國人なる者をも加算すれば此等の數字は大に變化せざるべからず、乃ち斯く計算する時は、北太平洋

沿岸諸州の外國人は五割一分となり、合衆國全部は三割四分となるべく、又ニューヨーク及びシカゴ兩市の人口の七割七分は外國人たるべし。

人口問題として合衆國の憂懼する處は移住民の數の増加には非ずして、實は其品質の漸次低落するの事實にあり。今より五十年前一の政黨 (Know-Nothings 又は American party) と云ふ起り、移民排斥を以て其主なる政綱となせり。其後はまた此問題に對し斯くの如き疎暴なる事を言ふ者はあらずと雖、移民の弊害に對する反對の聲は、爾來常に絶ゆることなく、之が監督及び制限を一層嚴密にせんが爲め種々の法律を設くるに至れり。元來かゝる排外思想は、一部は職業上の嫉妬より起れるものにて、其一例を擧ぐれば一八八五年に國會が保護主義に熱中し、契約労働の移民を禁止する法律を通過したるが如き即ちこれなり。此法案の目的は國內の労働者を保護し以て忌むべき競争を避けんとするにありき。然れども自由主義を執る人々が之に對して大に反對したるは理由なきにあらず。歐洲より契約労働者を輸入する時は、新なる産業を興すと共に在來の産業にも亦發達を促がし、労働者の需要増加するが故に、却つて米本土の労働者に利便を與ふる

ものなりと、右の法律は現今尙法律の條文としては存在するも、之を潜ること容易なるが故に實際上より云へば大に修正せられたるものゝ如し。其他經濟上よりも寧ろ社會上及び道德上の理由により重要なる法案起れり。統計表は救貧院及び監獄にある外國人の割合が、内國人に比して非常に多きを示せり。新來の外國人特に英語を話すこと能はざる者の生存競争場裏に於て不利の地位にあるとより考ふれば、統計表の事實は之を解するに難からず。然るに又他の統計表によれば、或種類の犯罪に就いて言へば、外國生れの者は米國民中の最良人民なりと云ふべき理由あり。文字を知らざる者に就てもまた同様にして、全く讀書し能はざる移住民の割合は文化の高き北部諸州に於ては甚だ多く思はるれども、南部諸州の黒奴に比すれば可なり。少なく思はるべしと、乃ち唯將來社會の厄介者となるべき人民の入國を禁ぜざるべからずとの意見は處論の一致する所となり、先づ最初に瘋癲、白痴、犯罪者、貧民の四は所謂厭ふべき階級として當然入國を禁ぜられしが、爾來漸次其意義の範圍を擴張せり。而して移民法により上陸を拒絶されたる移民は汽船會社の費用にて送還せざるを得ざるを

以て移民の選擇は實際上之を輸出する歐洲の諸港にてなさるゝなり。之が爲め汽船會社の周旋人等が最劣等の下民を使喚し既に其切符を買へば最早一厘を餘さざるが如き者を米國に送ることは漸次之なきに至れり。而も尙之に拘らず、一九〇三年には明かに自活の見込なき者五千八百十二人、犯罪の證據ある者五十一人、傳染病に罹れる者一千七百七十三人は上陸を拒絶せられて空しく其故國に送還せられたり。されど尙何れの大都會にも下等の外國人群集せざるはなく、最も忌むべき市政の腐敗も無政府主義者の亂暴も、無職遊惰浮浪の徒も、皆之等の外國人中より起るなり。かの統計表により人種の相異及び大都會に於ける貧民窟の人口調査に就て見ればこの論の愈々正確なるを證し、到處に伊太利人、露西亞人、猶太人、ガリシヤ人、ルーマニヤ人等の多きを見るなり。されば偏見を抱かざる米國人も、斯くの如き劣等なる移住民の續々來るに於ては、米國民の元氣を覆没することなきやを杞憂せざるを得ざるなり。米國民は獨立自主の精神に動かされつゝある間は常に自己の使命を全うせんことを勉むべく、而して斯かる天性はあらゆる

日耳曼民族が自由を愛するの精神より生ずるものなり。故に獨逸、瑞典、諾威よりの新來者は直に米國アングロサクソン民族の政治組織に適合するを得れども、佛蘭西よりの新來者は到底其外國人たるを脱すること能はず。然れども佛蘭西よりの移住者は其數甚だ多からずと雖、伊太利人、露西亞人、土耳其人の如き所謂非日耳曼民族が多く來りて、米國民の高尙なる獨立自主の精神を墮落せしめ、以て彼等の劣等なる理想に化せしむることは、米國民の最も懼るゝ處なり。既に多くの米國人は移住民に對して或は英語或は財産の資格を定め以て其濫入の弊を防ぎ、或は少なくとも東部歐洲人に對しては歸化條件を一層嚴にし、彼等が輕々しく世界の最大自由國に於て選舉權を得ると無さを欲する者あり。特に文盲者の來住を絶對的に禁止せんと欲するは有識者の齊く唱ふる處なりとす。然るに以上の如き制限に對し、充分なる確信を以て反對する人も亦頗る多し。此等の人々は寧ろ之を誇りとして米國には外國の青年を迅速に且つ充分に教化、薰陶して善良なる米國人民となすべき公立學校の設けある事を指示するならん。實際ニューヨークのある學校にては外國人の小兒のみよりなれる學級ありて、

此等の生徒は皆米國人としての名譽心と愛國心とを有し、熱心に自ら米國人なりと告白す。又之と同様に成年の外國人を教育する學校もあり、且つ歐洲に在りし時は養育として卑屈に甘んじたる老幼も、足一度米國の地を踏むや否や直に新聞紙の讀者となり、政治の集會に出席し、獨立の小事業を始め、尙數年の後には遂に大企業家となりて、獨立自主の精神を有するに至るべし。又米國に此等移住民の勞働の必要な點より其制限に反對する者あり。其説に曰く、若し歐洲の東部及び南部より賃銀の安き勞働者來らざれば、到底道路鐵道等多くの經營をなすこと能はざるべし。過去數十年間に於て斯くの如き勞働者は主として獨逸人、スカンデナヴィヤ人、愛蘭人なりしが、其當時彼等に對する反對の聲は恰も今日南部及び東部歐洲より來れる勞働者に對すると同様にして甚だ激烈なりき。然るに米國經濟上の發展の爲め、彼等が大に幸福を與へたるを見れば、露西亞及び波蘭の勞働者も亦同様に米國の利益なりと云はざるべからず。米國にはなほ實際廣漠なる無人の土地甚だ多く、數百萬の勞働者が其利益の爲めに勞力を加ふべき餘地充分あり。然るに平和にして勤勉なる勞働者を排斥せ

んとする如きは殆ど狂者の所爲なり。加之米國人は米國の地を以て壓制を蒙れる者の自由の天地、迫害せられたる者の避難所となし、之を以て米國民の神聖なる使命とし誇りとする處にあらずや。然るに今や國運隆々として繁榮を極むる時に當り、翩然として其神聖なる使命を擲ち、歐洲の壓制君主若くは收斂官吏の爲めに人權を奪はれたる人々が、唯米國に向つて屬する一片の希望を空ふせんとするやと、斯くの如く移民問題に就いて意見區々にして輿論未だ全く其決定をなすに至らざるなり。

移民問題中特に奇なるは支那人問題にして、太平洋沿岸に於て屢々議論の種となるものなり。元來支那人は米國の文明を享受せんが爲に來るにあらずして、單に唯暫く米國に止り、充分なる財産を作りて再び本國に歸り以て安逸に生活せんとするものなり。故に支那人は家族を伴ひ來らず、又決して米國化せんとを努めず。彼等は本國の衣服を着け、且つ比隣の白人と交際せず、貧素なる食物を喰ひ、不潔なる陋屋に住し、米國勞働者が到底生活し能はざる少許の賃銀中より節儉して以て貨殖をなすものなり。吾人若しサンフランシスコの支那人街を見れば思ひ

半ばに過ぐるものあらん。カリフォルニアを回遊して支那人の宿泊所を見れば必ずや最も不快嫌惡の印象を生ずべく、其建物の粗末にして汚穢を極むる殆ど言語に絶せりと云ふべし。而も大會社が益、此等の支那人足を輸入したるを以て、彼等の數は漸次に増加し、一八七〇年より一八八〇年迄の間に輸入せられたる支那人勞働者は、實に十二萬二千人の多きに達せり。此に於て一八七九年以來國會は種々の法律を設けて支那人の移住を禁止せんとしたるにより、今や其輸入は殆ど全く禁遏せらるゝに至り、最近の人口調査によれば合衆國に於ける支那人の總數は僅に八萬一千人に過ぎざるなり。

支那人問題よりも一層人の注意を惹くはインデヤン土蕃の問題なり。元來インデヤン人の生活状態は大に人の空想を促し、其奇妙なる蠻習は詩人の好材料を供ふるが故に、彼等の將來に就いては大に謬見を懷く者少なからざるが如し。米國人さへも其本土人たる彼等に對する處置は國家の大恥辱にして、之を絶滅せんとするが如きは之を殘忍酷薄の罪惡なりと信ずるなり。これ畢竟インデヤン人が以前數世紀の間殆ど米國の全土に充滿して加之主人たりしとの想像より

起るものなれども、今や科學的研究の結果として斯かる想像は全く根據なき誤認にして、未だ曾てインデヤン人が斯くの如く多數に生存し居たることなきを明かにせり。現今彼等の數は約二十七萬人なるが、往時に於ても之より以上に止りしとあるや否やは大なる疑問に屬す。勿論中央亞米利加と北極海との間には數百の異なるインデヤン語ありて、又其中には二三十の方語に分れ居るものも少からず。然れども斯くの如き方語を用ふる部落には、僅に二三百の人口あるのみにて、且つ部落と部落との間は非常に隔離し居れり。彼等は村落をなして生活するを常とし、唯だ或る季節の間のみ或は獵し或は漁し或は果實を集めんが爲めに國中を徘徊したるなり。

歐洲諸國が植民地を開くに及んでインデヤン人は植民地間に起れる戰爭に加擔せり。斯かる場合に於ては植民地の人民は彼等に武器を與へ、彼等を援兵として使用せり。茲に於てインデヤン人は歐洲人の新戰法を習ひ、爲めに從來の平和的生活を破壊するに至れり。乃ち彼等は自己の部族間の戰爭にも新武器を使用し、遂には却て白人に對して之を用ふるに至れり。而も亦一方に於て彼等と白人

との平和的交際は一層重要なる結果を生じたり。インデヤン人と雜婚したる白人は唯だ佛蘭西人及び西班牙人のみにして、現今カナダには佛蘭西人との雜種あり、又メキシコに於ける住民の大部分は西班牙人との雜種なりとす。然るに眞の米國人たるアングロサクソン人は主として平和的に自己の文化を弘むるに勉めたりしを以て或インデヤン人は之に化せられ或は農業に従事し或は産業を營むに至れり。

其後合衆國が大陸の過半を占有するに至り、米國のインデヤン政策は一定せり。勿論主に米國の利益より打算せられたるものなるも、亦一方に於ては狩獵を好める彼等の天性に充分なる考量を加へたることは云ふ迄もなし。乃ち多くの州に於て特に彼等の爲めに住居區域を定め、其生活に不自由なからしめ、且つ初等學校は勿論高等の學校をも設け、尙其會長等と條約を結びて種々重要な權利を彼等に賦與したり。尤も其政策は主として彼等を農業に従事せしむるにありき。これ歐洲より無數の移住者ある今日に當り、彼等が單に狩獵と野生の果實とのみに依つては到底其生活を保續せんこと不可能なるべきを以てなり。されば

新に條約を結ぶ毎に、インデヤン人の住居區域は漸次に狭まめられたり、然れど彼等は尙狩獵生活に戀々して之を不法の處置なりと思惟せり。彼等の性質は到底米國人民と同化するに難し。元來彼等は土地私有の觀念なく、凡ての物を以て之を其部族の所有とせり。況んや米國人が有する如き財産相續の觀念に於てをや。インデヤン人の小兒は其母の家族に屬し、母は決して父の部族に屬せざるなり。

斯くインデヤン人と白人との間には不和軌轢ありて、彼等は大に白人の爲に虐待せらるゝが如く思へども、米國人は未だ曾て彼等を絶滅せんとして壓迫を加へたるにあらず。されば彼等の部族中、米國の文化を受ると最も多き者は最もよく發達したり。昨年度に於ける彼等の死亡數は四千七百二十八なるに、其出産數は四千七百四十二なるを以て見れば、彼等が漸次其數を減じて絶滅に向ひつゝあるといふは事實にあらざるなり。

インデヤン人の最も多き地方は所謂インディヤンテリトリにして八萬六千人、次はアリゾナにして四萬二千人あり、而して彼等の住居地域全部を合すればその面積十一萬七千四百二十方哩に至る。

米國の人口問題中其重要なるは前者の比にあらず、最も困難を極むるものは黒奴問題これなり。インデヤン人は一定の小區域内に住居すれども、黒奴は到處米國人と比隣雜居し、米國の凡ての利害と密接の關係を有するを以て、黒奴問題は米國人の最も頭腦を悩ます種となれり。又インデヤン人と黒奴とは非常なる徑庭あり。前者は驕慢にして自負心強く、利己的にして復讐心あり、感情的にして勇氣あり、鋭敏にして機智に富めり。然るに黒奴は全く之れに反し、卑屈隷從に甘んじ、恰も小兒の如く無邪氣なり。彼等は懶惰にして肉慾に耽り、元氣なく、大望なく、外見上物を學んとするの心あるが如きも、而も發明心なく、獨立の智慧なし。而して數百萬の黒奴が皆同一種類の者なりと思へば、是れ大なる誤謬なり。例へばメキシコ灣附近に住する黒奴は殆ど全く其故郷なる阿弗利加の迷信に沈落し居れども、ハーヴァード大學に在る黒奴の一學生はカント、ヘーゲルに關する立派なる論文を草するを得るなり。斯くも相異なる黒奴の總數は約九百萬人なりと稱せらる。

米國の黒奴は白人の如くに急速の増加をなさずと雖、過去四十年間に於て約二倍となれり。奴隸解放前なる一八六〇年には黒奴の數は四百四十四萬一千人なりしが、一八七〇年には四百八十八萬、一八八〇年には六百五十八萬、一八九〇年には七百四十七萬、一九〇〇年には八百八十萬三千となれり。尤も白人は黒奴より一層急速の増加をなしつゝありと雖、黒奴の増加も亦以上の如く決して少からざるが故に、本問題は愈々重大視せらるゝに至れり。戰爭以前には兩人種間の雜婚屢行はれたれど、現今は全く之なきを以て體格の差異は決して減少し居らざるなり。米國黒奴の數が今日カナダの人口の二倍に達するは決して遠きにあらざるべし。黒奴の最も多く住する地方は戰爭以前に奴隸を使用したる南部諸州なりと雖、北部諸州に入り來れる者も亦決して少なからず。其大都會の貧民窟は黒奴の群集する所なり。然れども其全數の四分の三は尙南部諸州に住す。これ彼等は暖國に於て最もよく繁殖するが故に氣候の關係によるならむも亦大に經濟上の理由にもよれるものにて、將來に於ても黒奴が南部地方に最も多く住すべきは疑ひを容るべからず。

然れども黒奴問題は決して南部のみの問題にあらず。北部も亦關係を有し且つ其解決は大に北部の協力に俟たざるべからず。第一、黒奴を解放したるものは北部なるを以て北部は黒奴の現狀に對して責任を分擔すべく、且つ現下に切迫せる危殆を逃るゝの道を講ずるもまたこれ北部に在るなり。從來歐洲人は單に黒奴問題中の一面なる奴隸問題のみを知れり。歐洲人はストッフ夫人 (Mrs. Stowe) の小説 (Uncle Tom's Cabin) を讀み已に黒奴が束縛を脱して自由の權利を得たる上は此問題全く解決せられたりと思ひ、此解放によつて却て一層重大なる問題を生じ、黒奴の爲めに一層不幸の源を開きたることを氣付かざるなり。而して歐洲人は、黒白兩人種間の軋轢が今日の如く烈しきことは米國史上未だ曾て見ざる所なるを信ぜざるなり。而して過去數年間は相互の疾惡軋轢殆ど其極に達し、其前途に對し人をして大に愛懼せしむるものあり。これ實に罪惡の結果なる哉。抑も斯る罪惡の因て來る所何處にありや、之を人間の賣買を認許否奪る獎勵したる英國議會の責に歸すべきか、或は奴隸を無智の狀態に止めて之を教導するとを禁じたる南部諸州の責に歸すべきか、或は解放せられたる奴隸に政黨の政

略より直に公民権を興へたる北部諸州の責に歸すべきか、或は解放により自由を得たるが爲めに自ら怠惰に陥り無用の者となりたる黒奴其者の責に歸すべきか、これ大に研究を要すべき問題なり。

長き年月の間白人は黒奴を以て貨物と一般視し、彼等を阿弗利加の草原より拘致し來り、牛馬の如くに之を驅役し、専ら棉、稻及び煙草等の栽培に従事せしめたり。然るに一度び其解放せられて自由の民となるや、忽ち彼等は二千年來の文化を有する米國人民と平等の權利を享受するに至れり。而して此解放は果して數百萬の黒奴に對して如何なる影響を及ぼしたるか、其後約十年間は戦争の餘燼未だ消えずして、南部人は密に復讐を思ひ、秘密結社を組織して黒奴を嚇し、姦佞なる政治家は戦争の爲めに荒らされたる諸州を遍歴して妄説を放ち、其他流言蜚語紛々として、黒奴は爲めに殆ど適從する處を知らざりき。然るに其後黒奴は自己の政權を利用し、投票によつて自己の幸福を求めんと欲したるが、此希望は全然失敗に歸したり。此に於て彼等は學校と書籍とを以て向上の最良方法なりと信ずるに至りしも、これ又再び失望に終れり。畢竟彼等の要するものは智識に

あらずして權力なり、書籍にあらずして職業なり、されば彼等の方向は此に一變せり。而して彼等は決して其勇氣を沮喪せず、且つ或意味より云へば、白人も亦黒奴に對して決して好意を欠けるにあらざるとを一言せるさべからず。然かも解放以來四十年の今日に於て、其結果は實に遺憾とすべきもの多し。

單に表面上より見れば、黒奴は已に華々しき成功を遂げたるが如し。現今合衆國の黒奴は四百五十の新聞紙と四の雜誌とを發行し、黒奴の著はせる書籍は三百五十卷に達し、其小供の約半数は就學して正式の教育を受け、黒人の教師は三萬人、校舍の價格は一千萬弗以上に及び、四十一個の教師養成所を有し、教會堂の價格は二千五百萬弗以上に至る。又一萬人の音楽者、數百の辯護士あり、又大銀行四農場十三萬、住宅十五萬を有し、且つ價格六億五千萬弗の財産に對する租税を拂ふ。されば過去四十年間に於て、黒奴は或進歩をなせるなり。然れども深く其真相を探れば、此等の數字が決して實際の事實を示すものにあらざるを認めざるを得ず。黒奴の大半は今尙貧困無識、墮落退歩の狀態に在つて、中等の米國人と比肩するに足る者は殆ど罕なるの有様なり。彼等の教師、辯護士、牧師と雖亦殆ど普通の

略より直に公民権を與へたる北部諸州の責に歸すべきか、或は解放により自由を得たるが爲めに自ら怠惰に陥り無用の者となりたる黒奴其者の責に歸すべきか、これ大に研究を要すべき問題なり。

長き年月の間白人は黒奴を以て貨物と一般視し、彼等を阿弗利加の草原より拘致し來り、牛馬の如くに之を驅役し、専ら棉稻及び煙草等の栽培に従事せしめたり。然るに一度び其解放せられて自由の民となるや、忽ち彼等は二千年來の文化を有する米國人民と平等の權利を享受するに至れり、而して此解放は果して數百萬の黒奴に對して如何なる影響を及ぼしたるか、其後約十年間は戦争の餘燼未だ消えずして、南部人は密に復讐を思ひ、秘密結社を組織して黒奴を嚇し、姦佞なる政治家は戦争の爲めに荒らされたる諸州を遍歴して妄説を放ち、其他流言蜚語紛々として、黒奴は爲めに殆ど適從する處を知らざりき。然るに其後黒奴は自己の政權を利用し、投票によつて自己の幸福を求めんと欲したるが、此希望は全然失敗に歸したり。此に於て彼等は學校と書籍とを以て向上の最良方法なりと信ずるに至りしも、これ又再び失望に終れり。畢竟彼等の要するものは智識に

あらずして權力なり。書籍にあらずして職業なり。されば彼等の方向は此に一變せり。而して彼等は決して其勇氣を沮喪せず、且つ或意味より云へば、白人も亦黒奴に對して決して好意を欠けるにあらざるとを一言せるさべからず、然かも解放以來四十年の今日に於て、其結果は實に遺憾とすべきもの多し。

單に表面上より見れば、黒奴は已に華々しき成功を遂げたるが如し、現今合衆國の黒奴は四百五十の新聞紙と四の雜誌とを發行し、黒奴の著はせる書籍は三百五十卷に達し、其小供の約半數は就學して正式の教育を受け、黒人の教師は三萬人、校舎の價格は一千萬弗以上に及び、四十一個の教師養成所を有し、教會堂の價格は二千五百萬弗以上に至る。又一萬人の音樂者、數百の辯護士あり、又大銀行四農場十三萬、住宅十五萬を有し、且つ價格六億五千萬弗の財産に對する租税を拂ふ。されば過去四十年間に於て、黒奴は或進歩をなせるなり。然れども深く其真相を探れば、此等の數字が決して實際の事實を示すものにあらざるを認めざるを得ず。黒奴の大半は今尙貧困、無識、墮落、退歩の状態に在つて、中等の米國人と比肩するに足る者は殆ど罕なるの有様なり。彼等の教師、辯師、牧師と雖亦殆ど普通の

平民と何等異なる處なく、中には財産家ありと雖、彼等はよく之を使用するの能力あるや否や、彼等の掌中にある一弗と白人の掌中にある一弗とは同一の價値を有するや否や、これ尙一の疑問たるなり。

一部分の黒奴は、確に進歩したりと雖、其過半は解放以前よりも眞に墮落し居るなり。若し唯だ彼等が享受する快樂の分量のみより見れば、彼等は奴隸の時に於て却つて今よりも幸福なりしなり。雇主たる白人よりも黒奴自身の氣質却つて黒奴を毒し、勿論現今に於ても南部諸州の綿は黒奴の作る所なれども、彼等が四代の間に奴隸として養成し得たる勞役に堪ゆる能力は自由の四十年間に於て殆ど全く之を失へり。元來黒色人種が白人種の數千年を費して始めて達したる此完全なる文明に達し得べきや否やの問題は、人類學の範圍に屬し、敢て吾人の臆論すべき處にあらずと雖、唯吾人は阿弗利加の黒奴は未だ白人の如く數千年間の致養なきが故に、假令彼等が理論上高等なる文化を享受するの能力を有するとも、實際上には尙未だ之が責務に對して準備なき者なり。其解放以前にありては、黒奴は嚴格なる規律の下に懶惰の本能に打克ち、主人の欲する所に従ひて

農商業の道を學び、以て社會有用の一員となりしが、而も其他一切の事には何の心配もなく、其持主は彼等に衣食住を給し、病の時には醫藥を與へ、貴重なる一の財産として之を保護したりき。

然るに解放令と共に形勢は俄然として一變し、最早誰も黒奴に勞働を強ゆる者なく、又彼等が肉慾に耽り懶惰に流るゝも之を罰する者なきに至れり。斯く黒奴は全く自由を享受したるも、而も亦一方に於ては彼等を保護する者なく、彼等は俄に生存競争場裡に投入られ、而も勞働の訓練を強むらるゝこと少なきに連れ、益、劣敗者となり、此に於て貧困の極に達せる黒奴の數は日に月に愈増加し、惡事犯罪を敢てするもの益、多きに至り、特に遺憾なるは白黒人間の反感、疾惡の情、舊時に百倍せることこれなり、而して黒奴中の最も善き人々は其數多き同族の怠惰、淫逸、不正の爲めに大に苦まざるを得ざりしなり。

眞に悲むべきは最下等の者にあらずして、自ら向上の志を抱き、己が同族なる多數黒奴の謬語と、反對者なる白人の不法とを感じ、高尚なる其國の文化を同化せんと欲するも、嚴密なる意味より言へば己れは未だ斯かる文化に屬せざるとを

知了せる人々の状態なり何となれば下等なる黒奴は全く無頓着にして唯野鄙なる快樂に耽り西瓜を喰ひ躍り且つ歌ふを以て満足するも多少心ある黒奴は獨り之が爲めに苦痛を感じ終世己が生涯の矛盾して到底解くべからざるを感じ己れ自ら生存するにあらず常に他人の眼を以て己れを見ざるべからざるが故に言はゞ一身にて二重の生存を爲す者なるを思へり其一人の言に曰く己れらは常に一の問題たるを感ずと。

元來彼等は自ら好んで阿弗利加より來りしにあらず又好んで奴隸となれるにもあらず且つ又自己の力を以て奴隸の羈絆を脱したるにもあらず彼等は常に自己の運命に對して受動的なりしなり然るに此等の多少心ある黒奴等は今は全心全力を盡して其不幸なる運命に打勝たんと欲すと雖米國の文明に對しては全く其準備を欠き之に達せんとは到底彼等が力の及ばざる處なり彼等は自ら米國文明の作者にあらずして歴史上全く異なりたる文明の系統に屬するが故に畢竟之が模倣者以上に出づること能はざるなり故に彼等が白人の文明を模倣して白人に似れば似る程自己の本來進むべき方針とは益遠かる斯くして

此不平等の感情は終に一變して不快不慚の念となりて忌々しさに堪へざるに至る。

然るに一般の黒奴等が白人を嫌惡するは彼等が到底生存競争に堪ゆる能力なきを自覺する必然の結果なり而して黒奴の怠惰と訓練の缺乏とは白人をして益彼等を拘束せしむるが故に彼等が白人を惡むの情は亦益強さを加ふるなり南部の學者等は斯くの如く黒奴が白人を嫌惡するとは解放以來初めて見る所なりとせり戦争以前南部諸州に於ては奴隸は所謂家長制度の下にありて忠實に主人の命に従ひ主人も亦奴隸を保護したり彼等は勞働を嫌ひたれど白人を嫌ひしにはあらず己が奴隸の境遇を以て寧ろ當然の事なりと思惟し居たり按ふに斯く急遽に兵力を用ひてまで奴隸を解放するの必要ありしや否やは實際大に疑を容るべき餘地なきにあらず若し北部諸州が黒奴問題を自然の成行きに委し機熟して後徐々之を解決したらんには恐らく如上の弊害を免れ奴隸は漸次或一種の家長制的關係となりたるやも未だ知るべからざるなり然るに不幸にも終に戦争となり戦争は北部の勝利に歸したれども平和克復後

の實際の成果より見る時は、南部人の見解の正當なりしを拒むべからず、之を充分に了解するには、單に黒奴が今日如何に感ずるかを知るを以て足れりとせず、猶特に米國人が今日如何に考ふるかを講求するを必要なりとす。

現今白黒人間の關係如何、南北大に其狀を異にすれども共に同一なるは、米國人が白黒兩人種間の垂難が未だ曾て今日の如く甚だしきと無きを感ずるこれなり、北部諸州に就て言へば、この問題に對するの政見は殆ど變化なく特に道徳心の高尙なるニューイングランド諸州は今も尙黒奴を以て當然人權を要求する權利ある者となし、彼等に對して同情す。然れどもこれ唯理論上黒人を信ずるに過ぎずして、實際彼等と接觸するを厭ふ、美的反感とも稱すべき黒奴に對する個人的嫌惡の情は、南部よりも却つて北部に於て甚だし、例へばワシントン以南にては人皆黒奴の理髮店に行けども、フィラデルフィヤ以北に於ては之に行くことを欲せざるなり、南部人は其家に黒人の嫁母を雇ふとすら厭はざれど、斯くの如き事は北部に於ては思ひも寄らざる所なり、而も主義といふ點よりすれば、黒奴は北部に於ては大に好遇せられ、或は下級の官職にも就き、或は演説をもなし、或は政

黨にも入り、或は老兵の行列にも加はり、加之大學に入るものすら尠からず、然れども兩人種間には眞の社交的交際は全く無く、白人は俱樂部に於ても私邸に於ても凡て私の場合には決して黒奴と席を同ふせざるなり、尙特に記憶すべきは黒奴の男女中には、其血を交ゆると洵に僅にして其の皮膚の色殆ど米人と異ることなき者敢て稀ならざることこれなり。

北部人は黒奴に對して慈善家の地位に立ち、彼等の爲に學校を設け、教會堂を建て、且つ自助の精神を鼓吹して、經濟上の自由を得せしめんと努むるも、而も近年に至つて、北部人は新に解放せられたる黒奴を全く白人と同一條件の下に受けしは餘に輕忽、無謀なりしを感じ、其事の根本的に誤れるを曉り、漸に不快の念を増すに至れり、さればこそ若し黒奴にして北部に行くことを欲せば何時にても群を爲して移ることを得べけれど、實際北部に於ける黒奴の増加甚だ遅々たるを見ば、其事の敢て偶然にあらざるを知るべきなり、黒奴も亦南部の白人よりは一層元氣ある、北部の白人と競争するとの一層困難なるを感じ、且つ北部人は冷靜なる理論的見地よりは、黒奴を寛容すれども、個人的反感を有するが故に、彼等に

取りては南部人の嫌惡心を忍ぶ方却つて優れること尠からず。然るに南部に於ては全く其事情を異にし、黒奴に對する所謂美的反感なるものは、殆ど數代の間黒白人同接し、家庭の僕婢は皆黒奴を使役し、白人の小兒は黒人の小兒を友として成長したるが故に、黒奴に對する美的反感は殆ど之あるを見ず。南部の白人は黒奴の従順なる性質に於て同情を認め、黒奴の忠義に對しては眞個の愛情を以て報ひたり。是れ固より宛も良犬良馬を愛撫するに異ならず。雖決して北部人の如き外貌上の厭忌は尠もこれあらず。而して斯くの如き思想は今日と雖敢て變る處なし。勿論今日とても最も貧困なる白人も最も立派なる黒人の女子と結婚するを欲せざるは事實なれども、奴隸解放以前にありてすら已に白人が黒奴の女子に通じたるを見れば、これ決して本能よりする人種的反感によるにあらずして、其原因は寧ろ社會的考慮に出るものなるを知るべし。されば其反對は政治上及び社會上の二様あり。而して過去四十年間、南部諸州の政治は全く黒奴問題の爲めに支配せられたり。今之を左の四期に分つて論ずべし。

第一期は、奴隸戦争の終より一八七五年に至り、即ち黒奴が初めて選舉權を獲得して政治上の要素となりし時代にして、南部に取りては最も暗澹たる時代なりとす。此時南部は經濟上破滅に瀕し、唯卑劣なる目的の爲め無知の黒奴有權者を益々惑はるとより外に他思なき無責任なる政治家に依て蹂躪せられたり。而して北部の優勝黨は其運動員を派して黒奴を籠絡し、投票の多數によつて南部の白人を壓倒せんと試みたり。南部の一歴史家曰く、南部諸州は双方の勇士が互に戰場に於て戦ひたる戦争の時代を回顧するも別に忌々しとの感情を起さざれど、戦雲已に散じて平和の克復したる後勝利者たる北部諸州が、誤れる博愛心と粗忽と冷澹と、又多少の惡意とより、無謀にも未だ殆ど阿弗利加の盤況を脱せざる黒人種に政權を與へんとしたる時代の事を思へば、實に憤慨の至りに堪へざるものなり。米國史中奴隸戦争前十年間に於ける南部人の生活の如く詩的趣味に富み、美的生活に充てる時代はこれあらざると共に、其後の十年間の如く誤謬不安、罪惡に滿てる時代も亦未だ會つてこれあらざるなり。斯くの如くにして舊南部文化を建設したる男女は實に失望落膽せざるを得ざりしなりと。

第二期は、反動の時代にして即ち一八七五年より一八九五年に至る二十年間なり。南部人は此時代に於て選挙投票函に不正の手段を行ふに至れり。勿論南部人と雖選挙報告書の偽造の悪事たるを認めざるにはあらざりしが、彼等は無學文盲なる劣等の人種に政治を委ねることは國家の爲め猶之よりも一層悪事なりと思惟したるなり。斯くの如くにして黒奴の政權は挫かれたりしが、この手段屢行はるゝに従ひ、南部の輿論は遂に之を是認し、投票函を瞞着したる者と雖法律は敢て之を罰せざるに至れり。尙之よりも重要なものは、白人間の黨争は徐々に全く消滅し去りて、黒奴問題のみ唯一の政治問題となりしことこれなり。勿論南部にも自由貿易論者あり、保護貿易論者あり。又其他政黨の主義綱領を代表する者なきにあらざりしも、一度白人對黒人の投票競争となれば従來政黨の區別は忽ち消失して吳越も亦共に握手するに至れり。況んや其他の瑣々たる區別に於てをや。而して黒奴は必らず恩誼ある共和黨に投票したるを以て南部の白人は盡く皆民主黨となれり。斯かる政治上の合同によりて黒奴の政權は又もや大に制限せられたりき。然るに漸次人民は黒奴問題の如き唯一の定りたる觀念にのみ

固着する時は、政治上の元氣消耗すべきを信じ、再び國家の利害に關係し政黨を中心とする大問題に參與するとの必要を感ずるに至れり。南部人は曾て己が地方より大政治家の輩出したる時代を追想して再び斯かる時代の來らんことを望み、且つ一たび輿論が投票函の不正を認許すればあらゆる悪事醜行は續々踵を接して流行するに至るべきを曉知せり。試に思へ若し一度黒奴の多數投票を無効に歸せんが爲め選挙報告書を偽造せんか、其次ぎには必らず商業上の隱謀の爲めに之を偽造するに至るべく、斯くして弊害續出殆ど底止する處なかるべし。これ即ち南部人の大に憂慮する處なりき。

第三期に於ては、従來の如く不法の行爲によつて黒奴の選挙權を無効とする代りに、正當なる方法によつて之を制限せんとしたり。憲法の規定には唯何人も其皮膚の色の爲めに投票權を剝奪せらるゝとなしとあるのみにて、之を賦與する條件は全く各州の任意なり。故に其資格として或は財産の制限を設け或は教育の程度を定むるは一にこれ各州の欲するが儘なり。但し斯かる條件は普く之を州の全住民に適用するを要す。例へば四十五州中女子に選挙權を與ふるは唯僅

に四州にして凡て其他の州は全く之を與へざるが如きなり。南部諸州は今や大に此州の特権を利用せんと試みたり。尤も北部諸州が加へし憲法補則第十五條は今之を政廢するの望なきが故に、南部諸州は唯其黒奴たりと云ふの故を以て黒奴の選舉權を排斥すること能はず。然れども黒奴の教育上の状態大に白人に劣り、文育者の數非常に多きを以て、若し或州が憲法を讀み且つ理解し能はざる者には選舉權を與へずと決するに於ては、黒奴の選舉權は爲めに大なる打撃を蒙むるに至るべし。而して斯かる教育程度の檢定は全く白人が自由の判斷によること勿論なりとす。

最近數年間に於て此新運動は大なる成功を奏し、黒奴の政權は非常に制限縮小せられ、最早從前の如く不法の行爲によれる制限は必要なきに至れり。而して此新方法が直接文明の爲に二の利益ありしは拒むべからず。第一、黒奴は唯教育によつて選舉權を得るが故に、彼等をして其子弟の教育に盡さしむべく。第二、南部諸州の政治を無法なる人種問題より脱せしめ、再び眞の政黨問題を白人間に盛ならしむるに至るべし。されば今日は以前の如き政治上の對抗は多少其勢を殺

きたる如し。然れどもこれ寧ろ一時の中止たるに過ぎざらんか。何となればワシントンに於ける北部の勢力が斯かる黒奴の選舉權制限を再び廢止することなしとは言ふべからず。而して南部の白人間に眞に政黨の競争ある時、再び黒奴の投票が其大勢を左右するに至ることなしとも亦言ふべからざればなり。而して若し北部が其主義に拘泥して此教育試験制度を以て憲法違反なりとなし、之を廢するが如きことあらんか、政治的平和の大運動は忽ち頓挫するに至るべし。兎に角南部黒奴の選舉權を斯くの如く正當なる方法によつて制限したるとは確に一の進歩なりと云はざるべからず。

然るに此政治問題よりも一層重要なるは社會問題にして、漸に益々盛んならんとするの傾向あり。前に述べたる如く南部人は黒奴に對して本能的に之を嫌忌するの心なく、且彼等が黒奴と結婚せずして所謂人種の純潔を保たんと欲するは、單に一個の理論にして敢て其本能にはあらず。而して斯かる理論は彼等の父祖が全く夢想だにせざりし所の者なり。按ふに現今南部の白人が黒人を嫌ふは全く往時の奴隸所有者より遺傳し來れる本能なりとなすと最も眞に近きが如し。

南部人には、黒奴は保護を要する憐れむべき臣僕なりとの感情常に働けり。故に彼等は黒奴を保護し、之に深切を盡さんと欲するも、決して其自己獨立の考を許さざるなり。白人が黒奴に對して絶對的服従を求むるは、恰も彼の鴉片を喫する者と一般、一種の習慣となりて之を止むるの苦痛に堪へざるのみ。されば白人は人種の純潔てよとを唯一の托辭として、飽までも黒人の社會的同等に反對するなり。例へば南部人は旅館の食堂に唯一人にて黒奴の女子の居るを見れば、決して之に入らざるべし。されどこれ敢て北部人の如く單に同席するを不快なりと感ずるにはあらずして、若し同席すれば白人の小兒座せる時は、此黒奴は召使ひ能はざるが故なり。然れども若し其傍に白人の小兒座せる時は、此黒奴は召使ひにして其身分の下等なると一目瞭然なるが故に之と同席するも敢て不快を感ぜざるなり。南部人が黒奴の社會的同等に反對し、激烈亂暴なる手段を用ふると共に、黒奴の反感は漸次益々強さを加ふるなり。南部にて白人の旅館料理店劇場は勿論、汽車の寢臺車までも決して黒奴の之に入ること許さざるは北部に於ても實際亦全く之と同様なり。然るに其區別は皆に之に止まらずして、普通の汽車、

市街鐵道の如きにすら及べるは益々其反感を甚だしからしむ。

斯く南部人は飽までも黒奴の社會的地位を低ふせんとし、少しにても之に反する者あれば之を嚴罰して毫も假借せざるなり。曾て黒人の大學長が北部の旅館に宿泊したる時、其下婢が室の世話を拒みて解備せられたるに、南部人は大に之に同情し多額の寄附金を募集して贈りたることあり。又大統領ルーズヴェルト氏が黒人の名士ブーカーク・ワシントン氏 (Booker Washington) を招待して養應したるに、南部人は之が爲め非常に激昂したり。然るに歴史家バセット教授 (Misses) は其人心激昂の時に於て述べて曰く、將軍ライ(Ree)を除けばブーカーク・ワシントン氏は過去一百年間南部に生れたる最大偉人なりと、然れども黒白人社會的不平等主義の將に打破せられんとする危機に當つて、誰か唯一人の人物如何を顧みる者あらんや。若しルーズヴェルト氏が自己の事務室に於てならば、假令數ヶ月間ワシントン氏と卓を同ふして執務したりとて、別に世人は之を非難せざりしならむも、彼が公然饗宴にワシントン氏を招待したるの一事は決して之を看過せられざりしなり。而して有識深慮の士等も亦大統領が白人の社會的優位に對す

る侮辱は不幸にも却て黒白人間の反感を激烈ならしむるものなりとして之を悲めり。

尙こゝに往時の奴隸所有者より遺傳せる感情を強うする事情あり。元來黒奴は天性自ら肉慾を制すること能はず、屢、白人の女子に侮辱を與へて爲めに益、不幸を招くことあり。その煽動家等が南部にては其妻、或は姉妹、或は娘の、黒奴の爲めに辱しめられざる者は一人も無しと聲言するは誇大の言たる勿論なりと雖、斯かる罪惡の行はるゝことは敢て尠からざるなり。農場内の住家は主に寂寥たる淋しき處にあるを以て斯かる危険多きが爲め、大に其發達を妨ぐることは實に看過すべからざる事なりとす。所謂殘忍酷薄なる私刑 (lynching) の起れるは其結果にして、近年其數の非常に増加せるを見れば如何に白人が黒奴を嫌惡することの深きやを知るに足らん。然れども斯かる殘忍酷薄なる事は非常なる害毒を社會に流し、南部諸州の人民をして墮落せしむ。

黒奴はなほ其他にも種々の罪惡を犯す性向を有し、それと共に白人も亦益、黒奴に對して無法なる行爲を敢てするなり。南部の監獄には黒奴の囚人甚だ多し、尤

も黒奴は玆、細なる犯罪にても直に處刑されるれど、白人は大概免さるゝことも其原因なるべし。實際南部にては陪審官が白人の黒奴に對して行へる犯罪に對して有罪の宣告を與へたること殆どなし。斯く裁判に二様の標準を用ひ、勝手次第の振舞ひをなすは、往時奴隸所有者の本性を見はすものにあらずして何ぞや。加之再び奴隸使用の舊態に復せんとする隠謀すら行はれたると明かにして、黒奴は瑣々たる輕罪にても非常に重き罰金に處せられ、之を償はんが爲めに止むを得ず白人の雇主と勞働の契約を結び、實際全く往時の奴隸と同様の境遇に陥る者あるなり。蓋し白黒人間の社會的不平等存する限りは、何時までも白人は法網を潜りて黒奴を虐待するを止めざるべし。

さらば何を以て斯かる弊害を除去すべきや。黒奴中には再び其故國なる亞弗利加に歸らんことを欲する者あり。又近來彼等を強制的にヒッピーン島に送らば黒奴問題は自から全く解決すべしと想像する者も少からず。然れどもこれ無用の空想のみ。九百萬の黒奴を他に送るといふが如きは到底不可能のことなり。又假令送り得べしとするも、九百萬の黒奴が全く異種のヒッピーン人民と和合せんこ

とは得て望むべからず。殊に黒奴を他に移さば南部はその勞働者を失ひ、産業萎微して戦争後よりも尙甚しき悲況に陥るは明かなれば、南部は極力之に反對を表すべし。又黒奴を南部の一、二州にのみ隔離して群居せしめんとの説もあれど、これ亦上述の理由と同一にして實行すべきものにあらず。故に世の經世家は皆黒奴は白人が始終之と觸接して之を助くれば進歩向上するも、彼等の爲すが儘に放置し置く時は退歩墮落する者なるを疑はざるなり。

黒奴の改良策に就いて、黒奴の先覺者間に二個の意見あり。一は、デボイス氏 (Debois) 其代表者にして、一はブーカワントン氏 (Booker T. Washington) 氏が代表者たり。デボイス氏及び氏と説を同じうする教育ある黒人等は、黒人種を以て特殊の使命を有するものとなせり。その説に曰く、黒人は米國人として社會上劣等の地位にあるを要せず、又劣等の位地にあるべき者にもあらず、合衆國は神の攝理によつて爾かく相異なるも共に提携協働すべき白黒二大人種を發達すべき使命を有するなり。故に黒人は單に白人の文化を模倣するのみを以て能事終れりと爲すべからず、須らく黒人種本來の特質に適合せる獨特の文化を發達せしむるを要す。故に黒人

種中の偉人天材は黒人一般の徐々たる向上よりも寧ろ黒人種の名譽と其將來に於ける期望との爲めに爲すべきを信ずと。此説にては黒奴が音樂、宗教、及び諧謔の方面に於て特に個人的特色を發揮したることを重視し、且つ四十年前には奴隸の状態に在りしものが、今や僅々の年月の間に、而も其境遇の最も不可なりしに係らず、有名なる演説家、政治家、著述家を出すに至れることを重視するが故に、先づ黒奴中最も卓越せる指導者をして、新黒人文明を世界に示し、以て彼等が米國に於て獨立の存在を保持すべき權利あるとを證せざるべからずと説けり。然るにブーカワントン氏及び其友人等の説は前者よりも穩當にして、有力なる白人は皆之に賛成せざるなし。即ち其黒奴救済策は二三例外の華々しき天才偉人を出すよりも、一般黒奴を漸次開化せしむるに在り、而して眞に黒奴の指導者たる者は敢て個人として大事業を成す者にあらず、一般黒奴をして漸次向上せしむる爲めに全力を盡す人物ならざるべからずと云ふにあり。且つ此説にては現今黒奴中文明上眞の獨立の大事業を成せる者なく、且つ近き將來に於ても到底これを期待すべきにあらずと爲せり。乃ち黒奴が米國文明を模倣すべき

異常の材能を有するや否やの問題たるなり。
 假し黒奴中には天才偉才なく、ブーカール・ワシントン氏其人と雖、眞の獨立的の大人物にあらずとするも、怠惰兇惡なる最下級の黒人を標準として其全體を論ずる如きは、これ一層甚しき僻論なり。元來黒奴の大半は無教育にして且つ職業の訓練なしと雖、その性正直温順なるを以て唯之に訓育を施さば米國の爲めに有用の人民となると敢て疑ふべからず、されば先づ奴隸時代に於けると等しく、再び職業を學び手工又は農作に従事し、決して新文明を創建せんとするが如き野心を起さず、専ら眞實、赤誠、勤勉、從順を旨として勞働し、以て白人と相提携するを要す。今日黒人種に必要な人物は大著述家にあらず、亦高遠なる文明の創始者にもあらずして、唯だ善良なる大工、學校教員、及び職業教育の普及者なり。故に先づ職業學校を起し、又其教員を養成することを以て目下の急務と信ずるなり。
 アラバマ州タスケギー (Tuskegee) に設立せられたるブーカール・ワシントン氏の學校は即ち此目的を以て起りしものにて、南北人の區別なく世の人士は皆齊く之を養成して一臂の力を假せり。彼等は以爲らく、若し黒奴が手藝者、熟練なる職工

又は農夫となり、以て産業上一層有益なる人民となるに至らば、白黒人間の嫌惡反感は漸次消滅し、社會的地位の争ひも亦從つて漸次消失するを得んと。元來社會的平等てふ言は、其實は數百萬の人と他の數百萬の人との關係に用ひらるべき文句に外ならずして、白人のみの間に於ても眞の社會的平等は決して行はるるにあらず。白人の大地主は黒奴を其食卓に招待せざると共に亦白人の勞働者をも招待せざるべし。然るに其黒奴に對する偏見を攻撃せらるゝ時、南部人は嘲笑的に、然らば汝は汝の妹を黒奴に嫁せしむるやと反問すべけれども、斯く云ふ白人も己が妹を其仲間なる白人の十人中九人までに嫁せしむるを欲せざるべし。

右の如くなるが故に、今日に於ては黒人勞働者の職業教育發展の結果として、漸く白黒人間の平和を來しつゝありと云ふを得べし。然れども黒奴自身及び黒奴に同情する北部の所謂博愛主義者等は尙大に之と異なる見解を有することを忘るべからず。南部の白人は政治上に於ては黒奴の選舉權制限せられ、社會上には彼等が勞働者又は職工の階級に入りつゝある現況を以て満足すと雖、黒奴は

之を以て單に向上の一階段に過ぎずとし、將來尙大に發展する所あらんとの希望を抱けり。勿論黒奴等は今日最早選舉に虚偽なく適法の手段を用ふるに至れるを喜ぶと雖、尙速に現在の境遇を脱し、白人と全く同様の權利を得んことを望めり。

社會上に於ても亦之と等しく、黒奴等は手工教育、農業勞働等によつて得たる有利の地位に對して今は満足し居ると雖、勞働者の階級より進んで全然社會的平等の地位を獲得するまでは將來常に努力して止まざらんとするが故に、南部諸州の白人が現状を以て恒久のものなりとなすに反し、黒奴は現状を現状として單に一時の事と見做すに過ぎざるなり。故に白黒人間の敵視今や休止せりと雖、未だ以て本問題の眞解決に達せりと云ふべからず。自由の權利を制限せられたる數百萬の人民が、全く自由を享有する人民と共に同一の社會に於て平和に同接するとの不可能なるは歴史の明に證明する處なり。壓抑不法の行爲は權利の制限よりして斷えず起るべく之に對して復讐及び罪惡は亦之より生ずべし。米國人民が黒奴一千萬の權利を制限せるとは、これ或は將來に於ける大紛争の

種を播きたるものなるやも亦未だ知るべからず。斯くの如く眞に黒奴問題は米國民の爲め地平線上に於ける唯一の暗雲なりと言ふべきなり。

第九章 内政問題

癡に米國政府の組織を論じたる際、内政の諸問題に就ては、大概既に論及したるを以て、爰には唯だ簡單に之を陳述すべし。無政府主義は外國の刺客が狂暴なる行爲に依り、忽ち世の視聽を驚かしたる時に限り、米國政治問題の一となり、議論喧囂、只管無政府主義の根絶に勉むれど、これたゞ一時の事にして、暫くの後は又其聲を聞くとなきに至る。是に由て觀れば、政治上言論の自由を壓抑するが、如何に米國民主政治の根本主義に戻れるかを知るに足るべし。されど無政府主義の根本思想が、米國人の保守的觀念に影響を及ぼすが如きは到底不可能の事なるを以て、敢て深く之を恐るゝに足らざるなり。故に米國に於て斯くの如き問題

ありとせば、それは唯だ移住民問題と關聯する場合にのみ限れり。今日に至るまで米國政府は明白なる無政府主義者の入國を禁じ來れりと雖、此中には個人的信念に對し頗る非米國的なる干涉を包含するを以て、此制禁は今後長く忍容せられざるならん。然れども眞の米國人は、如何なる場合に於ても常に國家の法令に遵ひ、其政府の機關を愛するものなり。

この政府の機關には種々の部門ありて、それらに問題を生じ大に議論せらる。近年大統領ルーズヴェルト氏によりて新に加へられたるものある内、最も重要なものは商務労働省の増設にして、同省は一萬餘の官吏を有し、且つトラストに關する統計の蒐集及び其勢力の制限の爲め、省中に會社局を置けり。又陸軍參謀本部の新設も同氏在職中の一事業にして、米國の陸軍が之が爲め大に改善せられたることは、輿論の一致する處なり。其他陸軍の組織に於て大に歐洲風を採ること少からず。或は新に兵學校を起し、又大演習を行ふの制を始めたり。米國陸軍の弱點は年功進級法を執り、古參者を進級せしむるの制にして、斯くの如き機械的の進級法は甚だ不利益なると明かなりと雖、米國人民は若し此制度を廢して、援擡

進級法を用ふるに至らば、必ず政活上及び社會上種々なる惡弊續出すべきを恐るゝなり。然れどもこれ頗る難問題にして、今日の如くんば青年士官をして特別に奮發勉勵せしむべき一の刺激あらざるなり。

海軍に就ても亦政府は種々の施設計畫をなせり。按ふに海軍にも陸軍と等しき參謀本部の設置を要すると明かなり。米國人民は強大なる艦隊を有せずんば、米國今日の政策を遂行するに能はざるを知るが故に、海軍の神速なる發展は敢て疑ふべからず。眞に艦隊と稱するに足るべきものは、一八八二年以來の事なるが、米西戦争の時マニラ及びサンチアゴの海戦に於て大勝利を得たるを以て當時大に帝國主義に傾きたる社會公衆の心に投じ、今や海軍の擴張に反對する者とは一人もなし。又海軍の大演習も屢、舉行せらるゝに至れり。唯眞に困難なるは、海軍々人の缺乏にして、將校及び水兵を得ると愈、困難となり、従うて此事にさへ黒奴問題の起るを見るなり。

外交官及び領事に就ても亦種々の問題あり。領事は其數甚だ多く、而して其人々の意氣に關しては敢て異論を唱ふるものなきも、其訓練機智、人品等に就ては、尙

未だ充分ならざるもの尠からず。外交官の人物に於ては尙一層その不同甚し。從來合衆國は重要なる大使の任命に就きては最も卓越せる人物を選拔せんことを務めたり。尤も米國の國際關係未だ微々たりし頃には、往々有名なる著者及び詩人を大使に任命し、その知識と修養とに依つて米國を代表せしめ、大に米國の光榮に貢獻する所ありたり。然れども、斯かることは最早今日に於てはあるべき事にあらず。尤も學者なるホワイト氏(Andrew D. White)政治家なるヘー氏(John Hay)法律家なるチート氏(Chilton)の如き異常の人物を外交官に任じて、大に好果を得たること尠からずと雖、單に富有なる人又は一時元老院議員たりし人が、たゞ社會上の名譽の爲めに外交官たらんを欲するが如き弊害、今尙存するを以て、外交官を一の専門官職となし、一定の階級を経て漸次昇進せしめざるべからずとの説を爲す者漸く多きを加ふるに至れり。

郵便の事に就て現下主要の問題は、田舎地方に於ける無料配達の問題是なり。最初には國土の尨大にして人口の稀薄なりし爲め、農夫等は近傍の村落に在る郵便局まで行きて自己の郵便物を受取ることを當然の事と考へたり。されば今も

尙田舎の小さき町や村には郵便配達人なく、各自郵便局に行きて、書狀又は新聞紙等を受取らざるべからず。

然るに今日合衆國も他の國々と同じく、田舎の人民が頻に都會に流入するの弊を防がんと欲し、種々の方法を廻しつゝあるが、殊に米國にては田舎生活の單調寂寥を破らんが爲めに其施設をなし、先づ交通の便を開き、僻遠の地の農家を世間と近接せしむると最も必要なり。乃ち農民等が新聞雜誌及び書狀を迅速に且つ容易に受取ることを得るに従ひ、彼等はその土地を去らんとする念を起さざるに至るべし。この理由により、近來田舎地方に於ける郵便物の無料配達大に擴張せられ、一九〇三年に於ては之が爲め新に約九千人の任命を見るに至れり。又郵便局と關聯する一の問題は、印刷物の郵税低廉に過ぎて、收支相償はず、且つ之が爲めに諸種の目錄及び廣告等の郵便物愈々其數を増加するの一方なること是なり。此ごろ或る製藥所にて廣告用の小冊子を差出したる時、その數非常に多くして、八臺の大貨車に積載し、鐵道によつて最近の郵便局に運搬したりと云ふの一事を以て知らるべし。尤も斯かる困難の一流因は、鐵道私有により、鐵道會社が

政府と郵便物運送の契約を爲すに當り、決して其株主の損失とならざる様力むるを以てなり。

其他凡ての省に於ても皆同様に大小種々の問題を有す。而して其中最も重要なものは後に經濟問題を論ずる時を俟て之を説くこととすべし。されど爰に各省に共通して内政上最も重要な一問題あり。即ち文官任用改正の問題にして、今日は幾許か以前よりも静かになりたれども、なほ依然として常に種々新しき形體を以て見はれ、政黨政府、殊に輿論を苦め居る問題たるなり。

今市及び州の官吏を除き、單に聯邦政府の官吏のみに就て見るも、十萬人以上の多きに達す。之に就き起れる問題は、是等有給の官職は政府黨が自然の爲めに盡力したる政黨員等に報酬として與ふべきか、或は全く政黨に拘泥せず、唯だ適材と認むべき人物を任命すべきかと云ふにあるなり。此問題は、一見甚だ明瞭にして、全く政黨に拘泥せず、唯だ最良最適の者を任命すべきと勿論なる如きも、其實決して斯く單純なる問題にはあらざるなり。

第一行政各部最高の官職は、これ實に信用の地位にして、其職に在る者は行政府

の首長と、その思想目的を一にせざるべからず。特に二個の政黨を以て成れる民主國に於て然りとす。過半数の人民が乙黨に反對して甲黨の所信を遂行せん爲め、或る大統領を撰ぶ場合に、若し高等の官吏が甲黨と同一の主義思想を有せざらんには、人民の意志は全く行はれずして無効に歸すべし。共和黨の大統領は己が行政上の効程を犠牲に供せずして、民主黨の國務卿と共に在職すること能はざるべく、而して斯くの如き因循姑息の讓歩は實に二大政黨存立の意義を没却するものと云はざるべからず。共和黨の國務卿にして苟くも軋轢を避け、事務の圓滑を得んことを欲せば、政治上同一の意見を有する國務次官を置くこと肝要なり。以下皆然らざるはなし。

然れども今若し最下級官吏の方面より之を見る時は、大に其趣を異にするものあり。例へば内閣の簿記掛り、大藏省の小使、又は郵便局の書記等は、己が個人的確信を實行する機會を有する者にあらず。たゞ一定の職務を行ふのみに足り、國家の政策が共和主義なりや、或は民主主義なりや、又は帝國主義なりや、或は非帝國主義なりやは、敢て其關する處にあらざるなり。若し然りとせば自己の確信が政

府の政見と相合せざるべからざる高級官職と、之に全く關係なき下級官職との境界線は何處に之を劃すべきや。これ意見の區々相分るゝ處にして、此境界線を非常に低き點に置かんとする人は、元來米國人は皆その政治上の訓練により、全然政黨の機械たるが故に、上下の區別なく凡ての官職を悉く政府黨員に與へて此に初めて政治上眞の調和を得るに至るべしとせり。勿論この説には反對すべき充分の理由なきにあらずと雖、亦必ずしも之を以て不合理不正直の説なりとは云ふべからず。現今獨逸に於て、人民黨が社會民主黨に官職を與へざらんとするが如きも、亦決して不當の事にあらざるが如し。加之、米國の二大政黨は孰れも其黨中に政府の要職を充たすに足るべき多くの適材を有するが故に、政黨員に官職を與へたればとて、直ちに之を見て非難すべき謂はれあらざるなり。

斯く言へばとて吾人は敢て文官任用法の改正に反對せんとするにあらず。唯此問題が如何に複雑にして議論の相岐るゝかを示したるに過ぎざるなり。實際政黨に拘泥せずして官吏を任命すべしとの説にも亦充分の理由あり。元來政黨員を任命すといふは、其實政黨首領等の推薦と希望とに隨つて任命するものにし

て例へば或る州より選出せられたる元老院議員は、大統領に對して其州の主要なる郵便局長には某々を任命すべしと勸告するが如きなり。故に斯く推薦せらるゝ人の材能及び適否如何は充分に試験されたりと言ふべからず。然れども輿論の監視常に嚴なるを以て、政治家は輿論の反對を受くるが如き推薦を敢てし、自己の信用を毀損し、將來の發展を妨ぐるが如きとは決して之を爲さざるべし。且つ近來は政黨も亦人物を精選し、適任者を出すこと巧となり、加之米國人民獨得の適應性は、如何なる官職に就くも直に之に適合し、充分に善く其任務を遂ぐるに至ることも亦明かなり。

然れども又斯くの如くして、動もすれば暗中物を探ぐるが如き憾なきにあらずるを以て、實際試験制度に由り、多くの候補者中より最適の人を精撰するの優れるに若かざるなり。殊に斯くの如く政治上の勢力を基礎として任命をなす時は、其友人の懇請、名士の推薦狀、その他運動家の策畧謀計等主となりて、個人的責任の感情は大に減殺せらるゝを常とす。即ち其長官は地方の代表者に依らざるべからずして、而も是等の政治家は亦自ら實際其任命をなすにあらざるを知るが

故に候補者は少しも自己の勞を須ひず、殆ど受動的に官職に任ぜらるゝなり。斯くの如くんば多くの不適當なる人物が官吏となるべきは決して否むべからず。政黨の候補者が勝利を得て當選したる曉には、必ず官職を以て其勞に報ひん事を黨員に前約し、以て何等の適材にあらざる者をも官職に就かしむることあり。斯かる人物にして就職する時は、唯其職責を全うせざるのみならず、或は官金を費消し、或は詐偽の契約を結んで自己の懐を肥し、或は自己の親戚友人を部下の官吏に用ひ、或は新に不必要なる官職を設けて政友の勞に報ふるが如き事あるべし。加之議會は斯かる任命の競争の爲めに、非常なる時間と努力とを消耗せざるべからざるなり。然るに政黨を基礎として官吏の任命をなす以上は、斯かる弊害は決して止む事なく、却て愈、其度を強くするに至るべきは、何人と雖皆之を認めざるなし。勿論斯かる弊害は寧ろ例外に屬して、正直に最良の候補者を撰拔する事、其人々が誠實に職責を全うする事とは、これ通則ならんも、而も米國の安寧幸福を希ふ者は、其例外のものも全然之を容るゝの餘地なきに至らんことを欲せざるを得ず。

なほ此外政黨の内部に及ぼす所の弊害あり。政治家の推薦によりて官吏となりし者は、意志の鞏固なる人物にあらざる限り、其恩人の利益の爲めに働き、行ふべからざる處にも政黨政治を行ひ、且つ舊慣に従ひ、俸給の一部を政黨の運動費として捧ぐる事を辭せざるべし。然る時は成るべく多額の寄附金を政黨に貢がんが爲め、其俸給は益、増額せられ、斯くして次回の選舉にも其政黨が勝利を得べき方法定まり、而して官吏も亦將來に於て従前の如き、否恐らくは従前にも優りたる地位を失ふ事なかるべし。斯かる悪習は市政に於ても之を見るべく、市吏員が政黨より賦課せらるゝ金額は甚だ尠しとせざるなり。されば長く輿論の之が改正を促し、唯政治家の手腕を要する信用の地位を除きては全く政黨に拘泥せず、専ら其人の適否如何を標準として任用せざるべからずと主張するは洵に其理由なきにあらざるなり。

斯くの如き問題は建國以來四十年間は殆ど起らずして、官吏は全く事務的の法に依て任命せられ、苟くも其職責を盡せる間は、決して免職せらるゝことなく、假令他の政黨の人が高級の官職を占むるとも、下級官吏にまで變動を及ぼす事

あらず。自己の與黨に私する爲め適任の官吏を免職するが如きは、一種の暴虐なりと思惟せられたり。統計の示す處によれば、當時一年間平均僅に四十二人の官吏の變動ありしに過ぎず。然るに之に反する任命法は、初め都會に於て特にニューヨーク市に於て行はれしが、それよりニューヨーク州に及び、一八一八年、ヴァン・ビューン氏 (Van Buren) は、ニューヨーク州の官職を盡く政黨員に與へたり。然るにジャクソン氏大統領となるに至つて遂に之を聯邦政府に採用し、一八三〇年の頃に至つては、此方法は一種の不文法となり、官吏の地位は當然選舉に勝利を得たる政黨の捕獲物たるに至れり。其黨員を獎勵して熱心に勉勵せしむる方法としては、斯くの如く勝利の曉には彼等に其報酬として官職を與ふるの約束より有効なるものはあらざるによれり。然るに十九世紀の中葉、英國に於て同一の運動起りたる後、直ちに引續きて米國にても亦其反對起りたり。

英國議會の勢力漸く盛なるに及び、下院議員等は官職の分配を要求し、厭ふべき官職賣買の惡風流行し、前世紀の中葉の少しく以前に至つて、其弊害愈甚しかりしかば、遂に反動起り、不適任者削除の爲めに、文官任用試験制度を設くるに至れり。

り。尤もなほ政治家の推薦任命なきにあざりしが故に眞の競争とは云ふべからざりしも、之が爲め官吏の候補者たる者が多少其準備をなすに至りし事は疑ふべからず。而して一八五〇年代米國國會も亦英國の例に倣ひ、或る種類の下級官職は、試験によるにあざれば、任命せざることとなせり。然るに其後英國が益々試験制度を勵行するに至り、米國も亦之に倣ひ、官吏たらんとする者は一般に試験を要することとなりて、爲めに最良最適の者の登用せらるるに至れり。大統領グラント氏は文官任用委員 (The Civil-Service Commission) なるものを設けたるが、其後三十年の間漸く其効果を見はし、大に舊制を厭倒したり。然るに一方に於ては、己が選舉の爲めに働きたる人々に官職を與へんことを欲する政治家等は、此改革の爲めに其權を奪はるゝ事を欲せずして、漸く新制に妨害を試み、多少の成功をなしたる。而して一八七五年、國會が文官任用委員の俸給を削除するに至る競争試験制度は遂に廢止せられ、之に代ふるに政黨の有力者が推薦したる候補者に對して唯試験を行ふこととせり。然るに此事に關して、輿論の力は黨派心よりも強く、ヘンリ・ブライデル、ブライ

諸氏の在職中競争試験制度の一部再び恢復せられ、試験合格者のみ任用せらるべき地位の増加するに随ひ、官吏に政黨費を賦課するが如き惡弊は、遂に痕を絶つに至れり。然れども尙或る種の官職は依然として政黨によつて左右せられ、且つ斯くの如き地位にある官吏には、自黨の主義政見甚だ重要にして、若し政權が他黨の手に落つる時は、幾許か之に變動を來すべきは已むを得ざる處なり。故に官吏中に二個の區別を生じたり。即ち一は大統領が元老院と共に任命する政務官にして、一は一般試験制度により與へらるべき事務官 (Inspected Offices) と云ふ是なり。輿論及び熱心なる文官任用改正論者 (ルーズヴェルト氏の如きも亦その一人なり) は絶えず競争試験採用の官職を増加し、以て政黨關係の官職を減少するに力め居れり。

然るに又一方に於て、公然此改正運動に反對するもの少からずして、共和民主兩黨中にも熱心なる反對者あり。加之論理上充分に其正當なるを認むる者にして、實際反對論者に投じ以て一身の私利を貪らんと欲する薄志弱行の徒も亦之なきにあらざるなり。斯くの如くなりしかば、過去十年間に於て反對論者も亦多少

の成功を收め、種々なる口實の下に多くの重要なる地位の試験任用を廢めて、再び元老院協同任命に復したり。

今之を事實に徴するに、競争試験任用の官職十二萬一千、其俸給總額八千五百萬弗にして、試験制度によらざる官職十一萬四千、其俸給總額四千五百萬弗なり。而して後者に屬する者の内、七萬七千餘は郵便局長の職にして、其他は外交官、領事、諸種の高等官吏、及び多數の勞働者なり。又前者に屬する者の内、一萬七千はワシントン市の中央政府にある者にして、内約五千は大藏省に屬す。而して文官任用委員は約四百種類の試験を行はざるべからず。一九〇三年の受験者總數は四萬七千〇七十五人にして、之を區別すれば二萬一千人は中央政府、三千人は税關、二萬一千人は郵便の受験者なり。其他昇級及び轉官の試験を受けし者一千餘人、フィリピン島の官吏たるべき試験を受けし者亦四百三十九人ありき。而して以上の受験者中、及第者三萬三千七百三十九人にして、内一萬一千七百六十四人は、大統領の改選あるも全く變動なき終身官の職に就きたり。斯くの如く終身官の職を與ふる事は、其人をして職任に忠實に、事務に勤勉ならしむべき最良の刺激物たる

こと勿論なり。試験任用と否との利害得失は、之を事實に徴すれば自から明かなり。曩は逋信省にて器物を購求せる時、省内の官吏又は親戚等が其間に立入り、不正の利を貪りて巧に罪跡を晦ましたる事あり、非常に嚴密なる調査の末、辛く其罪跡を暴露し得たるが、之に關係したる者は何れも皆推薦任命の官吏にて、試験任用の官吏は忠實に職責を盡しつゝありしを發見せり。尤も所謂信用の地位には斯かる瀆職は甚だ罕なりとするも、其誘惑は一層多きと明かなり。乃ち敢て適材と云ふにあらざるも、政治上に萬事重寶なりとの故を以て官職を與へられたる者の如きは、次回の選舉には其任期終了し、必ず免職せらるべきを知るが故に、國家の爲めよりは寧ろ政黨の爲め、政黨の爲めよりは寧ろ自己一身の爲めに懐を肥さんど欲じ、職權を濫用して不正を働くこと尠からざるなり。此等之類は、其の爲めは、文官任用改正法の益、擴張せられ、決して退歩することなからんを欲せば、輿論は常に政黨政治家と戰はざるべからず。然れども改正反對論者を以て悉く腐敗漢たるかの如く吹聴する如きは、これ國家に對する侮辱なりと云ふべし。本問題の

困難なるは其實雙方とも主に眞面目なる動機より出てゐるものなるが爲めに、して反對論も亦大に道理あるなり。政黨員に官職を與ふる事は、これ彼等をして喜んで政黨の爲めに盡力せしむる所以にして、而も政黨制度は米國の政治に於ては、必要缺くべからざるものなり。而して其存在の爲めには、是非斯くの如く非常の勞力を要すべし。されば米國にて官職を與ふことは、毫も君主國に於て爵位勳章を與ふると異なる所あるを見ず。政黨政治家は屢、官吏を變更するを以て其理想となすに至り、大統領と雖二回以上の就職を許さざるが如く、官吏が長く同一の職に止まるは、米國の主義に戻りて頗る危険なるの事なりと思惟す。此問題は州及び市に於ても亦齊しく重要なる問題にして、全く政黨に關係なく任命せらるゝ試験任用官吏と、知事及び州會若くは市長及び市會が其責任を負ふ政黨關係の所謂信任官吏との二つあり。特に市の官職に於ては、其弊害濫用最も甚しくして、今や市廳は弊害濫用の隠匿所を以て目せらるゝに至り、近年大に世人の注意を引けり。市街鐵道、瓦斯電燈、電話等の諸會社に有利の獨占權を與ふる事の如き、或は詐偽的契約の如き、或は公有建築物の敷地及び用材購入の如き、

或は新道路の開通の如き諸問題は、大都會の發展に伴うて必ず起るべき問題にして、腐敗醜行の機會を與ふること非常に多く、且つ檢事の眼を暗ますこと甚だ容易なるが故に、姦佞なる政治屋連は群をなして、市政に侵入せり。而も彼等は確乎たる主義政見を有するにあらずして、單に自黨の勝利を得たる曉には報酬として有給の職を得、且つは不正の手段を弄して自己の懷中を暖めんと欲するのみ。勿論市吏員の多くは相當の俸給に満足し、自己の地位に甘んずる謙讓なる人物なりと雖、往々不正の行爲をなす者あるの事實は蔽ふべからず。故に若し全く政黨に關係せずして市吏員の任命をなさば、大に其効程を増すべしとは、これ輿論の一致する處なり。

共和民主の兩黨互に其責を反對黨に歸せざるなしと雖、若し甲黨腐敗せば乙黨も亦腐敗せりと云はざるべからず。或る意味より云へば、共和黨は民主黨よりも一層貪慾なる心を起し、易き傾きなりと云ふを得べし。乃ち共和黨は中央集權主義を執るが故に、國家は萬事を競争に放任し置くと能はず。自ら手を下して之を整調せざるべからずとし、此主義よりして社會公衆の利益を犠牲に供して、少數

者の爲めに保護を與ふるは決して不當の事にあらずと信ぜり。されば完全なる平等の主義は、共和黨の認めざる處なるを以て、一度斯かる思想の政黨間に蔓延するに至らば、忽ち自己の爲めに公共の金を使用し、或は大會社が不當の手段を以て獨占權を得るが如き形勢をなすに至るべし。然るに民主黨は之に反して全然平等の權利を主張し、經濟上自由競争を希望し、地方分權及び個人主義の傾向を歓迎するものなり。然れども民主黨の主張する如く、國家が何等の束縛をも整調をもなさざる時は、廉恥なく道德なき人民は必ず己が自由の權利を濫用して種々の腐敗を來すに至るべし。故に共和黨は上より腐敗を起し、民主黨は下より之を生ずと云へるは、實に知言と言はざるべからず。試に見よ、若し一の大都會に於て共和黨が勢力を占むる時は、一般市民の共敵は、大資本を有し、空株を増發する會社なるべく、民主黨の優勢なる時には、酒店、料理屋、賭博者等なるべし。前者にありては、市會が會社と結托して其名譽を毀損すべく、後者にありては、酒店、料理屋が規定の時間外に營業せんことを欲して、巡查に少許の賄賂を收むべし。其狀況は全く異れども、社會に害毒を流すの點に於ては、兩者相同じきなり。

然れども公平に之を觀察すれば以上述べたるが如き弊害は其實たゞ例外の事に過ぎずして決して之を以て通則なりと考ふべからず且つ斯かる犯罪者は大概皆檢舉せられて刑科に處せらるゝが故に眞に敗徳汚行の人は決して想像するが如く多からざるなり特に輿論は常に政黨政治の弊害を監視し以て社會の汚點を淨めつゝあるが故に斯くの如き弊害は容易に之を矯正し得べきこと明かなり曾てフランクリン氏は英國に遊びて其官吏の腐敗せる狀を見大に驚きたりしが當時米國に於ては未だ官吏の腐敗あらざりしなり然るに英國は既に久しき以前に於て此弊害を除去し得たれば政治上の腐敗に陥ると英國よりも五十年を後れたる米國は亦久からずして之より脱却する事を得べし實際年と共に改良進歩の跡歴々として見るべきものあるを認む學者單だ外貌の爲めに欺かれて悲觀せざらんことを要す。

第十章 外政問題

國際關係に於ける米國の態度は殆ど一定の思想よりするものにあらざるが如き觀あり米國にては凡ての事に於て全く相反する思潮の並流するを認めざるはなしこれ恐らくは米國が舊世界の高等なる文明を以て基礎となし全然新なる一文明を作出せるによるならんそれ米國民は建國以來歲月尙淺き若き國民にして而も已に成熟したる國民なり他の成熟したる國民に比すれば生氣に富み活潑なるが他の若き國民に比すれば思慮深く成熟した國民なり斯くの如く外交上に於ける米國民の態度は平和を愛すると共に亦戰爭を愛すと云ふべく實に不思議なる對照にして一見相矛盾せるが如きも此矛盾は實に米國人の氣質の歴史的特色なり而して此矛盾を以て米國人民中の異分子の異説に歸し例へば或る一部の人は好戰的にして他の一部の人は平和的なりとなすべからず又思慮深き首領株の人は平和を愛すれども感情的なる一般人民は動もすれば戰爭を起す事を好むとも云ふべからず又或は之に反して一般人民は平和的にして勤勉なるに却つて其指導者たるべき者が彼等を戰爭に誘ふなりとも云ふべからず勿論その人々によりて意見の相違ありと雖畢竟近來領土擴張の狂熱

が斯くの如く激烈なる賛成者と反対者とを生じたるなり。最も強く戦争を感ずる者は、又最も熱心に平和の進歩を思ふ人なると、これ實に米國民の外交上の一大特色なりとす。大統領ルーズヴェルト氏の如きは、此二大傾向を最もよく調和せる代表的人物なり。

米國は戦争の慘禍を避けんとする凡ゆる國際平和運動に對して常に熱心なる賛成者たり。今若し或る二國が干戈を交ふる事あらんか、米國は其理否善惡の如何に關せず、常に必ず弱者に同情す。乃ち米國人の眼には對戰兩國中の強者が不正なるものと映ずるなり。元來米國の強盛は平和の産業によるものにて、其最良の人民は歐洲の軍事的の負擔を免れんとて大西洋を横つて米國に來れるものなり。而して聯邦建設者が干戈止む時なき歐洲諸國と凡ゆる關係を絶ち、超然として其外に卓立するの政策は爾來常に其國是たりき。合衆國は其開國以來仲裁裁判を以て四十九の國際的紛争を解決せしが、中には頗る重大なる事件あり。而して近年仲裁裁判にて決定せられたるもの、半數以上、米國は其關係當事者なりき。米國はヘーグに於ける平和裁判所の創設に對して大に力を盡し、最初歐洲

強國中之に反對するものありて、其成立甚だ覺束なかりし時、大に其間に斡旋し、遂に平和の爲めに勝利を得たるなり。

歐洲諸國の民は常備軍の重荷に苦み、宗教又は王位繼承の爲めに起れる戦争によりて疲弊し居るに反して、幸福なる米國は毫も斯かる事を知らず、その誇とする處は、實に其人民の自由權利にして、戦争と云へば唯選舉投票の競争あるに過ぎず。境土の東西には唯大洋あるのみにて、南北には交親なる友邦横はるが故に、米國民の任とする處は、乃ち憲法の保護の下に新世界に於て壯麗なる平和の家庭を作るにあるのみ。今や平和を助長する世界唯一の強國と云へば即ち米國なるを以て、今日の如くは是非の判決を武力に訴ふるが如き不徳の方法を廢し、終に平和の觀念をして其勢力を全世界に得しむるに至るべきや否やは、一に米國民將來の發展如何によると云ふべし。而してこれ敢て米國一部の人民若くは或る政黨の意見にあらずして、實に全米國人民の信仰なり。而も此の信仰は米國人一般の意識に深く印象して、崇高なる道徳の感情となれり。されば農夫も、職工も、商人も、大統領も、皆この信仰を以て各、その職に従事するなり。且つ此信仰は一種

の傳染性を有し、全歐洲の人民も亦米國を以て最も信頼するに足る平和の友邦なりと考ふるに至れり。合衆國は過去に於ても平和の友なりしが、現在に於ても亦然り。否將來に於ても亦必ず常に然るべし。然れども茲に難問の存するあり。合衆國は戦争に依つて生れ、戦争に依つて最も重大なる問題を解決し、屢、戦争を起し、殆ど宣戦を以て遊戯の如くに思ひ、現に今日も戦ひつゝあり、將來も亦再び戦ふことあるべきを思へば、如何にして斯かる國が平和の友なりと云はるゝを得べきやと。

米西戦争は歐洲人に唯楯の半面のみを見はし、彼等は米國人民が平和を愛すと誇言するは徹頭徹尾偽善にして、少くともマッキンレー氏の在職の下には、新世界は忽ち新精神の爲めに侵されたるものなりと結論するに至れり。然れどもマッキンレー氏の逝きて後既に數年なるも、なほ氏が始めたる戦争は繼續しつゝあり。勿論フィリピン島に於ては公式に宣戦せざりしと雖、彼地に於ける形狀は事實上眞の戦争にあらずして何ぞや。

抑、フィリピン問題は純然たる政治問題にして、米國が平和の爲めに盡すべきは明

かにして、之に異論を唱ふるものあらず。多數の米國人はキューバに於ける西班牙の失政を止めんことを熱心に希望したれども、フィリピンの戦争は大にその事情を異にせり。されば今や之に對して一般人民は殆ど關知せざるものゝ如く、狂熱論者も亦全く其聲を止むるに至れり。然るに獨り政治家等は、今なほ之に就きて議論を戦はしつゝあり。元來此問題は動機の問題にして、今日之を拋棄するを得ず。又將來に於ても何時再び政治論の中心點となすべきやも知れざるが故に、充分に之を講求するは敢て無用のことにあらざるべし。

帝國主義者は曰く、太平洋に於ける事件は、全く米國の國是に従へるものにて、領土の擴張は米國民の天性なり。されば領土の増加は已に建國の初より其端を開けるを見る。即ち先づルイジアナを買ひ、フロリダ、テキサスを併せ、後メキシコとの戦争によりてテキサスとカリフォルニアとの間の土地を得、次でアラスカを加へたり。斯くの如く僅に一世紀の間に叢薈たる十三州は、一躍して堂々たる世界の一大強國となれり。而して今日其太平洋上に膨脹し、亞細亞方面に向つて米國國旗を進めんとするは、唯此建國以來の國是に従ふものにあらずして何ぞやと。

然るに非帝國主義者は之に答へて曰く、合衆國は今や神聖にして名譽ある歴史を蹂躪しつあるものなり。元來合衆國は如何なる場合に遭遇するも、必ず人民自治の權利を尊重せざる事なし。合衆國は假令尺寸の地と雖、その住民の同意を得ずして、之を交換若くは獲得したること未だ曾つて之あらざるなり。故に未だ自治の一國民として成立せざる地方を併すには、別に國民としての同意を得るの要なかるべし。即ちルイジアナ然り、カリフォルニア然り、アラスカも亦然り。而してテキサスの如きは自らメキシコより分離したるものなり。然れどもフィリピンに至つては事情全く異り、既に確乎たる國民の意思と特色とを有し、一千萬の住民ある大國なり。されば合衆國は、其歴史に於て今日初めて己が勢力を濫用し、他の弱國民を壓服しつゝあるなりと。

帝國主義者の之に答ふると左の如し。吾人は敢て米國民が依つて以て今日の大をなせる自治の權を是非せんと欲する者に非ず。然れども粗暴野蠻の人民が自治の能力ありて、之を濫用するの權利を有する如く思惟するは、不合理も亦甚しと云はざるべからず。自治の權利は當然之を享有するに足るべき文明國民の所

有すべきものにして、米國人民は祖先より數十代間の勞力と訓練とによつて、初めて此權を得たるなり。さればフィリピン人は之と同一の程度に達するまで教育せられざるべからずと。

非帝國主義者は之を駁して曰く、自由を欲するフィリピン人を恰も逆賊の如くに征服して、尙之をしも教育すと云ふか、己が主權を遂行せんが爲めに軍隊を派遣して、なほ之をしもフィリピン人民を扶助すと云ふかと。

帝國主義者は之に答へて曰く、キューバの事に於て、吾人が弱國民に對して如何に誠實に吾人の義務を盡したるかを見よ。初め合衆國が兵力を以てキューバに於ける西班牙の主權を廢し、之を全く其手に收むるや、歐洲諸國の人民は、吾人が恒久に之を捨つることなく、終に併呑の實を示すならんと信じたりき。然るに全く彼等の豫想に反し、吾人は徒に呑噬の慾を逞うせんが爲めに戦へるにあらずして、唯正義の爲めに戦へるものなる事を天下に示したり。戰敗國たる西班牙に對して一文の償金をも要求せざりし一事を以て、全くキューバの爲めに犠牲となりしこと明かなり。且つ戦後吾人は専らその國の教育衛生に力を盡し、商工業を盛に

し、西班牙政府の苛政によりて荒廢せる土地に新生命を興へ、再びその人民に自由と自治の權を恢復せり。吾人はフィリッピンの人民に對しても亦之と同様の義務を負ふことを自覺するものにして、決して其領土を併さんが爲めに戦へるにあらず。然れども今若し再び之を西班牙政府の虐政に委し、或は野蠻殘酷なる島民の隨意に任かすが如き事あらば、フィリッピンは無政府の状態に陥り、折角その端緒を開きたる進歩文化も、忽ちにして全く廢絶に歸すべし。故に其順民を保護し、且つ秩序と安寧とを確立するは、吾人の已むを得ざる義務にあらずやと。

非帝國主義者曰く、若し米國にして眞に無慾なりしならんには、キューバに對すると等しく亦フィリッピンに對しても盡す所なかるべからず。即ちかのアギナルド (Aguinaldo) と戦はずして之と力を協せ、軍隊の代りに文官を派遣せざるべからず。尤も米國はフィリッピンに民政を布きたりと揚言するも、これ單に表面上の名目に過ぎずして、實は軍政を布けるものなり。奈何ぞ世界を欺くを得んや。フィリッピンに對する米國の政策は、徹頭徹尾合衆國の爲めになせるものにして、決してフィリッピン島民の立脚地より其利益を計れるにあらざるなりと。

帝國主義者又之に答へて曰く、祖國の爲めに忠義なるは、決して不名譽のことにあらず。吾人が一時フィリッピン島を占領し、一度樹てたる勝利の旗を取り去ることなきは、國家の威嚴として實に已むを得ざる所なり。僅少なる不順の人民あるが爲めに吾人は同島の主權を放棄すると能はざるなりと。

非帝國主義者の之に對する左の如し。帝國主義者は米國の名譽を保護せるにあらずして、却つて之を汚せるなり。米國の名譽は其軍隊の道德に存し、從來軍隊は敵に對しても尊敬を拂ひ、漫りに無用の殘害を加へたることなきは、米國が常に誇とする處なり。然るにフィリッピン人に對しては全く之と異り、濫りに住み慣れたる國人が、熱帯の地に行き、殘忍にして復讐心に富める野蠻人と戦ひたるが爲め、米國軍隊は從來の高尙なる道德心を喪失し、殘虐苛酷を擅にし、詐偽奸策を弄して蠻民に勝たんとし、所謂暴を以て暴に易ふに至れるは、これ米國の不名譽にあらずして何ぞやと。

帝國主義者又曰く、元來フィリッピン問題は同島を征討したる米國軍隊の問題にあらずして、同島に對して新なる義務責任を負ひたる米國人民全體の問題なり。今

や米國は、幼年期を過ぎて既に成年期に達せり。斯く成長するに伴うて、新且つ危険なる責任を生ずるは、寧ろ當然のことにして之を怪むに足らずと。

非帝國主義者曰く、道徳を主義とせる國民にして、道徳を放棄す。之をしも成長發達と云ふを得べきや。國民の自由を信ずる國民にして、征服の戰爭を敢てするが如きあらば、これ即ち凡ての道徳的發達を放棄するものにして、斯かる國民は發達するにあらずして、實は滅亡に近づけるなりと。

帝國主義者答へて曰く、否、そは不合理なり。我國民は少くとも外部に於て漸次に發達しつゝあり。外國に對する我國の名譽は、我軍事的發達と共に増加しつゝあり。我國は今や世界列強の一となり、我海軍の力は地球上如何なる地をも征服するに足るべく、將來米國が列國の間に重きをなすべきは、そのフィリピン政策に見れば明かなりと。

非帝國主義者曰く、米國民がモンロー主義を遵守して、米大陸に一步と雖歐洲列強の干涉を容れしめず、且つ自治の權利を以て、その國際政策の基礎となせる間は、吾人の地位は實に鞏固なりしなり。然るに吾人が其侵略的政策を採り、強大な

る軍隊の力を有するを以て弱國民を征服するの權利を握るに及んで、モンロー主義は忽ち一片の空文と化し去れり。今や吾人は自ら其備を作れり。吾人は他國が我に倣うて事をなすを阻止するの權利なし。嗚呼、吾人は我鞏固なる地位を棄てたり。之より戰爭は絶ゆる事なからん。而して戰爭の結果は常に不定なることを知らざるべからずと。

帝國主義者曰く、フィリピン島を我領とせば、我國の貿易に貢獻する虞甚だ大なるにあらずや。同島の領有は太平洋の商權を商人の手に握らしむべき商業政策の端緒を開くものにあらずや。一八〇三年、米國國會が佛國より廣大なるルイジアナの地を買はんとするや、偏狹なる人々は之に反對し、即ち當時の非帝國主義者はこれ慢に莫大の金錢を棄つるに止まり、廣大の地は遂に空しく荒廢無人の境として委棄せらるゝに至るべしとすら極論したり。然るに一百年後の今日に至り、ルイジアナの地が如何に大なる發達を遂げ、其富と文化とにより如何に米國の利益となれるかは、世人の明かに之を認むる所にあらずや。今やルイジアナ購入百年期の紀念として、セント・ルイに於て世界大博覽會を開催せんとするの準

備中なれるを見れば、事態自から明かなるべし。元來米國は太平洋の主人者たるべき使命を有するものにして、一度パナマの地峽にして開鑿せられんか、フィリピン島が米國に取りて經濟上非常に重要なるべきは明かなる事實なりと。然るに非帝國主義者は右の説を否定して曰く、西班牙との戦争の爲め米國が今日までに費したる軍事費は無慮六億弗にして、且つ一萬の壯丁は戦争の犠牲として葬られたり。而して未だ何等の見るべきものなきにあらずやと。帝國主義者乃ち答へて曰く、然り、幾多の金錢と生命とは之を失へり。然れどもなほ他の利益なり。戦争は一の訓練なり。米國民が麻ち得る所の最良のものは富にあらずして力なり。米國の繁榮發達の絶頂に於て奢侈贅澤の人を毒すること實に恐るべきものあり。然るに戦争によつて米國民は訓練せられ、以て其精神を練り、以て其筋骨を鍛うを得べしと。

反對者の之に答ふる左の如し。米國の文明の爲めには戰場に於けるものよりも寧ろ其他に於ける百般の勇敢なる行爲を必要とするなり。現代の戦争は畢竟費用と科學との問題たるに過ぎざるを以て、米國人民の道徳的勇氣を鼓舞作興す

べき最良の方法は戦争にあらずして古來の平和主義なるなり。吾人の要するものは、共和的國民としての眞面目なる道徳なり。然るに之に反して侵略的軍國主義の精神は米國の民主主義を打破して、以て專制主義を誘ふものと云はざるべからず。戦争は首領の專制的感情を強うし、以て個人の獨立心及び責任の感情を滅却せんとするものにして、これ實に米國民の道徳思想及び政治思想を打破するものなり。吾人が學ばざるべからざる眞の愛國心は侵略主義に存せずして、實に吾人の祖先が布告せる「獨立宣言書」に忠實なることに存するを知らざるべからずと。

斯くの如く帝國主義者と非帝國主義者とは互に鎬を削りて論難駁撃して殆ど盡くる處を知らず。然れども吾人が茲に再び反覆して云はんと欲する處のものは、現今國民の多數を占むる帝國主義者等は、一方帝國主義を主張すると共に、又國際的平和運動に左祖し、仲裁裁判の方法によつて平和に國際的紛争を解決せんことを熱心に贊助する人々なることは是なり。特にそのキープに對する處置の如きは帝國主義者の賞讃すべき平和的傾向を證明せるに足るものなり。元來同

島は悪病の常に流行する地なるが故に、先づその衛生上の改良を行ひ、次で教育を起し、司法制度を完成し、而も遂に獨立國たるを承認し、且つ特別條約によりて其島民に關稅率を減じたるが如きは、米國史中最も名譽ある頁を飾るものと云はざるべからず。而して如上の事は皆その對フィリピン政策が元老院に於てナポレオンの稱を得たる人々の提議によれるなり。斯くの如くなるが故に、米國人民の性質は正義と貪慾、良心と冷澆、平和と好戰と云ふが如き全く相反對せる分子の混合よりなれるものと云ふべし。

最近に於ける米國の膨脹は南方に向て進めり。米國は既にパナマを其掌中に握れり。元來パナマはコロムビア共和國の所領にして、コロムビア政府は運河開鑿の權利を合衆國に與ふべき條約に調印せんとするに先だち、同國より不當の金額を得んことを試み、且つ最初には全然この條約の訂結を拒絶せんとしたり。然るに其地に革命起り、パナマはコロムビアより分離して獨立を宣言したるを以て、合衆國は之を承認し、新に新興のパナマ政府と運河開鑿條約を締結したり。これ實に合衆國の帝國主義的運動の一部なり。勿論合衆國政府は公然パナマの獨

立を懲慝したるにはあらざるべきも、若し合衆國政府がコロムビアに壓迫を加へ、自己を助くとの信念徹つせば、僅少なる其人民にして焉ぞ斯くの如く容易に其獨立を遂行することを得ん。

從來合衆國は如何なる國に於ても、其舊政府がなほ存立せる場合に於て、謀叛者の獨立を承認したることあらず。然るにパナマ問題に於ては全く之に反して、コロムビア政府を度外視し、勝手にパナマの獨立を承認し、之より運河開鑿の權を得たるは、フィリピン島の征服と共に米國が帝國主義の新生面を開けるものなりと言はざるべからず。然れども唯その新政策なりとの故を以て、直ちに之を不可なりとは云ふべからず。過去の歴史は米國の勢力發展を必要とせり。假令その形狀は時代になりて異るとも、米國の膨脹は永久に繼續せざるべからず。單に獨立宣言書中の文言若くは建國當時の區々たる傳説に拘泥し、以て合衆國の膨脹其物を阻止せんとするが如きは到底不可能のことなり。勿論已にフィリピンに於てその弊を認めし如く、勢力を欲するの餘り、膨脹の爲めに却つて米國人民の高尙なる道義心と清潔なる感情とを喪失せんとするに對する攻撃としては、非帝國

主義者の論も亦正當なりと云はざるべからず。然れども膨脹其物に對して反對するが如きは、合衆國の進歩發達を全く妨止するものにして、實に謂はれなきことと云ふべきなり。

次に合衆國の北方に向つて膨脹せんとするは明かなる事にして敢て識者を俟つて而して後に知らざるなり。バナマ問題の既に其事の起れる半年以前より明かなりし如く、今より久しからずしてカナダの北西部に於て、米國國旗の飄るを見るならんとは、殆ど疑を存するの餘地なきなり。

ポストン一新聞紙は、毎日其欄頭に而も大活字を以て、カナダを合併する事は吾人の第一義務なりと記述するに反し、又一方に於ては、カナダの如き廣大にして人口稀薄なる地方は、全く之を贈物として貰ふも、合衆國の爲め之に越えたる不幸あらずと論ずるものあり。カナダの人民中にも亦合衆國に合併するを可とするものと然らざるものとの二つあり。即ち不可となすものは、カナダ人民が合衆國人民の如く市政政黨首領の専制、黒奴問題、フィリピン問題等の如き諸種の困難

なる問題を有せざるは、實に無上の幸福にして英國王に對するカナダ人民の忠義心は、瞬時と雖變ることなしと稱せり。然るに一方に於て之を可とするものは、カナダと合衆國との合併はカナダの爲め自然の數にして、他に擇ぶべき道なしとせり。元來カナダは東西全く其事情を異にし、東部は歴史上の關係よりして英本國に對して飽くまで忠實なるべきも、西部地方は經濟上多少之と趣を同うせざる點あり、且つ其歴史も全く異りて、英國に對するよりは却つて合衆國と密接の關係あり、恐らく久しからずして政治上の結合を見るに至らんか。合衆國よりカナダの北西部に移住するもの非常に多きを以て、或は近き將來に於て太平洋沿岸の長狹の地を除き、其他の西部カナダは合衆國と合併するに至るやも知るべからざるなり。果して然らば西部カナダの小麥の產地約二億五千萬エーカーの地は新に合衆國の所領となるべし。

元來カナダ問題は近來初めて起れるものにあらず。同地に起れる最初の植民地は佛蘭西植民地にして、一六〇四年に始まり、一六〇八年、佛蘭西人はクエベックの都市を建て、漸次その植民地はセント・ローレンス河の流域に於て發達したりし

が、一七五九年英將ウォルン(Wolfe)を陥れ、翌年カナダ全土は全く英國の手に歸せり。爾來英蘇兩國よりの來住者は年々に増加し、彼等は上部カナダに植民せり。一七九一年、カナダの地は二分せしが、即ち後に至りてオンタリオ及びクエベックと稱するものなり。一八六七年、英國議會の決議によりて、オンタリオ、クエベック、ニューブリズウィック、ノヴァスコチアの四地方を合して一國となせり。その後又ハドソン灣會社(Hudson Bay Company)の所有地及び西方の廣地マニトバ(Manitoba)を收め、一八七一年英領コロムビアを加へたり。その間種々の困難なる問題起り、印度人との戦争、或は境界の紛争等ありき。然れどもカナダと合衆國との間に公然戦争をなせるが如きことは絶えてなく、若し論争起る時は協商をなし、條約によつて平和の解決を結ぶを常としたり。例へば數年前兩國政府は年來紛争の種となる境界問題を解決せんが爲めに、ロンドンに於て仲裁裁判所を開きたるが如き即ち是なり。この境界問題は、西北の海岸地方にして、經濟上非常に重要な處なり。而して仲裁裁判の結果、合衆國の勝に歸したり。尤も之より先、兩國政府はこの仲裁裁判の判事には最も達識の法律家を任命すべきを約し、英國は能くこの

約を履みしも、合衆國は偏見なる政治家を任命したるが爲め、カナダ人民は此判決の結果を甚だ快からず感じ、兩國間の友情を損ふに至れるは甚だ遺憾なりと云ふべし。

合衆國がカナダを英國より奪ふには、獨立戦争の時こそ最も好機會なりしなるべし。植民地人民等は獨立戦争以前に於てすら、カナダ地方を自己の列に加はらしめんと試みたり。新なる聯邦の愈、成れるに至るや、米大陸に住せる英國人等の皆之に投ずべきは最も自然のことなりしが如し。從來英國は合衆國歴代の敵にして、合衆國小學校にては其歴史教科書に於て英國を惡み英國に復讐すべきを兒童に教へたり。然れども近年に至り、英國が米西戦争中同情を表し、其他機に觸れ時に臨み、寛大なる態度を示したるを以て、兩國の關係は全く一變し、已に特別仲裁裁判の制を設けて、兩國間の凡ての紛争を解決せんとする計畫さへあり。加之米國人に於ても可成的英國に對して其惡感情を生ぜしむるが如き態度を避けんと欲するに至れり。されば米國の政治家等も、カナダを合併せん事は非常に躊躇する處にして、畢竟カナダ問題が共和民主兩政黨の問題とならざるも亦

之が爲めなり。尤もカナダ問題が政黨問題とならざるは、一は愈、カナダが合衆國領となりたる曉に、兩黨中の孰れが利益を受くべきか、換言すればカナダ西部の人民等は、共和黨たらんと欲するか、將た民主黨たらんと欲するか、これ殆ど豫想すべからざる事なるにも、因するなるべし。斯くカナダ問題は政黨間の論争問題にはあらざれども、而も輿論の問題としては日に益、重視せらるゝ傾向あり。故に假令國會が英國との戦争を避けんことを勉むるも、西北カナダにある合衆國の農民又は金鑛の坑夫等が、一度カナダを合衆國領となすべしとて騒ぎ立てなば、合衆國人民の意嚮は急に一變し、英國に對する友誼的關係大に薄弱となるや必せり。

抑、合衆國とカナダとは相互に最上の得意先なるも、而も互に先方の輸入品に對して關稅を課せり。茲に於て米國の産業者は關稅を免れんが爲めにカナダに分工場を設け、之に約一億弗の資本を投じたり。又カナダの石炭を無稅にて大西洋岸に輸入せしめたらんには、ニュー・イングランド地方の産業界は、非常に利益を受くること疑ふべからず。然れども概して言へば、現今に於てはカナダの方一層不

利益の地に立てり。一八五四年、兩國の間に一の條約を結び、總てカナダの天産物は無稅にて合衆國の市場に輸入するを得ることとなしたるが故に、その有効期間たる其後の十二年にカナダの輸出額は四倍の増加をなしたり。然るに合衆國は保護關稅を採用するに至りしかば、其結果として、例へば一八六六年、合衆國に輸出せるカナダの農産物の價格は約二千五百萬弗なりしものが、二十世紀の初めには減じて僅に七百三十六萬七千弗となれり。且つ貨幣及び貴金屬を除き、カナダより合衆國に輸出せるもの、全體に於て見るも、右の期間に於て僅に五分の増加をなせるに過ぎず。これ兩國の經濟界が此間に於て非常の發達を遂げたるに比すれば、殆ど意外とする處なり。然るにカナダは之に反し、低率の關稅を課するに止まりしかば、合衆國よりカナダに輸出せる額は、一八六六年に二千八百萬弗なりしものが、一九〇〇年には、實に一億千七百萬弗に増加したり。斯く合衆國が輸入品防遏策を採れる結果として、カナダと英本國との經濟關係は一層親密となり、カナダより英國に輸出する額は漸次増加しつつあり。故に現今漸く議論の盛なる所謂全英帝國關稅同盟にして一度行はるゝに至らば、特にカナダの

産業界は非常なる利益を受くるに至るべし。此に於て合衆國にても亦將來の方策如何に就きて漸く議論を生ずるに至れり。尤もカナダと新に通商條約を結ばんととの議論は、自由貿易論者よりは却つて最も守舊的なる保護貿易論者の唱道する處にして、其議論漸く盛なるが如し。而も一方に於て、カナダ人民は全英帝國互惠通商同盟の説に對して、全然賛同するものゝみにはあらざるなり。元來カナダは、經濟上商工業を主とする東部と、農業に依れる西部とは全く其事情を異にし、西部は非常に互惠通商同盟を必要とするが故に、漸次合衆國に合併して其問題の解決を得んことを欲しつゝありと雖、カナダ政府は之に對し鐵道政策によつて西部人民の不滿を未然に防がんことを計畫しつゝあり。

西部カナダは非常に富源豊にして、優に一億の人口を養ふに足れり。材木は合衆國よりも多く、金鑛に富み、石炭及び鐵は無盡藏にして、白銅の如きは世界第一と稱せらる。魚類も亦合衆國に二倍し、耕作地は合衆國及び歐洲の全人口に供給するにも足れり。故に充分に資本を投じ、全力を盡してこの大富源を開き、恰も合衆國の西北部地方と同じからしめんことは、西部カナダ人民の非常に希望する處

にして、唯だ一の境界線を變更して合衆國と聯合せば、直ちにその希望を達し得べしとは、西部カナダ人民の考ふる處なり。

然れども此大富源を開かんには、特に企業心、勤勉獨立心を必要とすべし。然るに附屬植民地の住民が斯かる精神を有せんことは、到底得て望むべき所にあらず。假令カナダの如き植民地が、其行政上幾許の獨立を得ればとて、これ尙外形にのみ止まりて眞の自治とは言ふべからざるなり。第一、カナダ人民の智的生活が英本國又は合衆國のそれに比して乾燥無味なることは、吾人の夙に知る處にして、其植民的氣質は自發の精神を破却す。彼等は唯本國政府の政治に順從するに止まり、自ら大膽なる企畫をなす能はざるものなり。此從順なる精神は、其凡ての行爲に於て見ることを得べく、之に依りて西部カナダの富源を發達せんことは、到底得て望むべからざるなり。然るに西部カナダの地には蘇格蘭人、獨逸人、瑞典人、特に合衆國人多く移住し來り、現今合衆國の西部地方の農民の如きは、少許の財産を賣拂ひ、彼地に移住して廣大なる土地を買はんことを欲するの有様なり。而して是等の移住者こそは必ず西部カナダの發達を指導すべき者たること疑

ふべからず。且つ彼等はカナダの歴史傳説に何等の同情を有せず、又之に對して愛國心を有せざるなり。彼等の確信は合衆國に依つて提供せらるゝ政治上の自由に向へり。英國の關稅計畫がカナダの爲めに或る利便を復することを得るや否やは、これ全く未來の問題にして、今日之を斷言すること能はず。按ふに合衆國の勢力は已に熱帶地方のフィリッピン島に及びたるを以て、今やカナダの北西部に向て更に膨脹するは寧ろ自然の數と言ふべきなり。

合衆國とキューバ、フィリッピン、パナマ、カナダとの關係は、合衆國の眼前の必要によりて處理せられたるものにて、敢て一定の主義原則の特に之を指導したるにあらざるなり。乃ち經濟上の利害と普通の道徳とを以て之をなすに足りたるなり。而して、獨立宣言書の根本主義は唯多少之を認むるを得たるのみ。然るに現今南米に對する合衆國の政策は、全く之と其の趣を異にし、經濟上の利害又は道徳の指導に依るにあらざりして、却つて實に道徳の侮蔑及び米國産業の大損害なりと云はざるべからず。而してこの政策の起原は抽象的の政論にして、昔時にありては

經濟上道徳上必要なりしと雖、今日に於ては全く何等の價値を有せざるものなり。即ち有名なるモンロー主義是なり。然るに合衆國の一般人民等が、今日に於ても尙此主義に賛同し、亦且つ有名なる政治家も敢て之に反對して、以て國家の利益を増進せんことを計らざるを見れば、如何に米國人民が盲目的に時代後れの政治主義を固執するかを知るに足らん。往時モンロー主義が米國の利益名譽の爲めに大に力ありしことは事實なりと雖、今や已に其有害無益のものとなれるに拘らず、尙米國人民は奮つて之を放棄せんとするの勇氣を有せざるなり。

斯くの如く米國人民が已に朽廢せるモンロー主義を今尙熱心固執するの恐よりも尙一層驚くべきは、極力此主義に反對する歐洲人民の狂氣染みたる態度なりとす。歐洲人はモンロー主義を以て前代未聞の驕慢不遜なる宣言なりとなし、元來米國人は斯かる事を主張すべき權利を有せず、今日は實に之に對して異議を挾むべきの時なりと稱すと雖、歴史上より見れば、これ實に短見且つ危険なる反對説なりと云はざるべからず。何となれば曾て合衆國の存立上モンロー主義の必要なりし時代ありしは明かなる事實なるが故に、米國が之を主張すべき權

利を有せし事も亦明かなりと云はざるべからず、且つ此主義は已に百年の間沈黙の間に尊敬せられたるが故に、歐洲人が今俄に之に對して反對するは、時已に後れたりと云ふべし。加之歐洲諸國はモンロー主義に對して異議を挟むべき眞の有力なる理由を有せざるが故に、慢に之に反對するは實に愚の極なりとす。而して米國人民の多數がこの主義を以て神聖にして犯すべからざるものなりと思惟する間は、若し歐洲人が此主義を蹂躪するが如きことあらんか、或は大戦争を惹起するに至るやも未だ知るべからざるなり。勿論モンロー主義は早晚棄却せられざるべからずと雖、これ米國人民の確信によつて初めて行はるべきものにして、決して歐洲諸國の爲めに威嚇強迫せられて之を棄つるが如き事はあらざるべし。モンロー主義を固執するの非なるは今や漸く米國人民の間に普く知られんとする徴候あり。既に演説に於て、論文に於て、之に反對するもの續々として輩出し來れり。されば早晚社會の輿論を代表する新聞紙は皆反對論者に賛成するに至るべく、斯くして一般人民を覺醒し其蒙を啓かば、米國人民自ら進んで之を棄つるに至るべし。されば米國人民がモンロー主義を棄つるや否やは、唯米

國人民が長く此主義を把持し來れる惰力に打勝ち得るや否やの問題たるに外ならざるなり。米國人民は自國の利害を長く忘却するものにあらざるが故に、モンロー主義に對しても亦覺醒せんこと決して遠きにあらざるべし。元來モンロー主義の精神は、モンロー氏の以前より既に廣く米國人民間に普及し居たり。已に建國の初めに於て、合衆國は歐洲と總ての政治的紛争を避け、歐洲人民と行動運命を共にするが如きことなく、且つ歐洲人民が米大陸に手を伸ばさざらんことを欲したり。一七九六年、ワシントンは大統領の職を退かんとするに臨み、氏は歐洲との通商關係の發展を希望したりしも、政治上の問題に於ては合衆國は超然として歐洲の外に立つべきを主張したり。されば米國が歐洲の政治と何等の關係なきこと、及び歐洲國民が米國に手を伸ばすことを許さざることを、この二個の感情は其後漸次米國人民間に傳播するに至れり。抑斯かる國民的信念は二個の動機より起れるものなり。第一、米國人民は若し米國が歐洲の政治的紛争の渦中に投ぜられんか、歐洲列強は小弱にして漸く發達の途にある米國に干渉するに至るべく、特に彼等が合衆國の隣保の地を占領するが如きこ

とあらば、其危険殊に甚しかるべしと。第二、合衆國人民は一の道徳的使命を遂行すべき義務あることを感じたり。歐洲諸國の人民は專制政治の爲めに呻吟しつゝあるも、合衆國人民は英國の羈絆を脱して、新大陸をして全く歐洲に於けるが如き虐政より免れしむべきことを宣言したり。されば米國をして完全なる民主政治の模範たらしめんが爲めには、歐洲の專制君主をして、一步と雖新大陸の地を踏ましむべからず、合衆國民の自治の權利は牢として抜くべからず、新大陸に於ける共和國は皆全く自主獨立ならざるべからずと云ふにありき。

斯くの如く自衛の希望と專制主義に反對する道徳的感情とより、合衆國は超然として歐洲の外に立つべく、且つ歐洲諸國をして新大陸に手を伸ばさしむべからずと、爾來之を以て米國政治の根本主義となすに至れるなり。一八二二年以來、米國は埃露普三國の神聖同盟を以て西班牙の爲めに爾來大陸に於ける其植民地を恢復せんとするものなりと信じたり。當時英國は合衆國と同盟せんことを欲したるも、合衆國は尙巧に之を避け、超然として自立し、己が取るべき進路を誤まらざりき。一八二二年、合衆國は中央亞米利加諸共和國の獨立を承認し、翌年に

至りて大統領モンローは時の國務卿ジョン・クインシー・アダムズ(John Quincy Adams)の起草に係ると稱せらるゝ所謂モンロー主義を教書として國會に送付したり。之より先モンローは前大統領ゼン・アイソンの意見を求めたるに、氏曰く、我合衆國の根本主義は第一、歐洲の紛争渦中に投ぜられざるにあり。第二、歐洲諸國をして西半球の事件に容喙せしめざるにあり。これ南北亞米利加は歐洲と全く利害關係を異にすればなりと。茲に於てかモンローは、愈、この主義を宣言するに至れるなり。その要に曰く、西半球に於て、歐洲列強がその勢力を擴張せんとするが如きことあらば、吾人は之を以て吾國の平和と安全とに危険なる行動を敢てするものなりと云ふを憚らざるなり。……西半球に於て合衆國が認めて以て獨立國となしたる政府に向つて、擅に威壓を加へ、又は其版圖を侵害せんとするものあらば、吾人は斯かる歐洲強國を以て、合衆國に敵意を挾めるものと認めざるべからずと。

斯くの如くにして此有名なるモンロー主義は世界に向つて宣言せられ、國際政策に有力なる要素となれり。ナポレオン三世の對メキシコ政策も之が爲めに妨

げられ降つて近年に至つても米國がヴェネツエラ國の失政を保護したるが如き、亦皆この主義によらざるなし。尤もヴェネツエラ問題の起りたる際、モンロー主義は多少の變化を來し、大統領クリゲランド氏は其教書に於て、歐洲列強は永久の占領權を要求せざる限りは、兵力に訴へて自個の權利を主張するの權あることを認めたりと雖、然れども其議論は遂に歐洲列強は、南米の或る國より負債の返済の約束を得るを以て満足し、之に對する擔保を受くべからずとの極端なる要求を以て終り、合衆國は亦之に對して保證を與へざりしなり。

然るに今や天下の形勢全く一變したるに拘らず、八十年を経たる今日に於ても、尙モンロー主義は其宣言の當時と同様に、米國人の主張する處なり。今二三の例を擧げて古今事情の變化を示し、モンロー主義が今日の時勢に適せざる所以を明かにすべし。

第一、曩に述べたる處の此主義を發生せしめたる二大動機なるものは、業既に其存立の理由を失へり。即ち歐洲を以て虐政の地となし、西半球を以て民主的自由の國と認むるが如きは、已に其根據なし。例へば西部歐洲諸國は今や皆一般人民

の代議政體を採用したるに、南米に於けるラテン民族の樹立せる共和國は、チリ、及びアルゼンチンの二共和國を除けば、他は皆自由民主國とは單に表面上の名のみにして、その實は全く之に反するなり。例へばヴェネツエラ、コロムビア等の共和國に就て見ば、思ひ半に過ぐるものあるべし。是等の共和國にありては、人口の十分の一は文化の度高き西班牙人にして、而も政治に與からず、無法なる惡政の下に苦み居り、十分の八は西班牙人及び亞米利加印度人の子孫よりなる蒙昧無智の賤民にして、これ亦政治に與からず、卑屈隷從唯だ權力の下に壓制を甘受するものなり。而して残り十分の二は、西班牙人と、亞米利加印度人と、黒奴との血を交へたる雜種にして、所謂共和政府の政權を掌握し、掠奪收歛詐僞等凡ゆる奸策を弄し、朋黨を作つて國民を騒がし、以て私腹を肥やさんとするものなり。

合衆國に於ても、亦建國當時に比すれば、大に事情を異にするものあり。尤も黒奴問題の如き、論争問題の爲めに人民の覺醒を促し、再び獨立宣言書の主意を喚起して、以て自由民主の説をなすもの往々なきにあらずと雖、これ亦漸くその効力を失ふに至れり。特にフィリピン島の領有以來、米國人民は、政府即ち治者は必ず被

治者の同意を得て存立せざるべからずと云へる舊來の主義を最早保持するの權利なきものなりと云はざるべからず。加之合衆國人民は、自治の權利は必ず困難なる勞力の報酬として之を受け初めて其價值あること、及び未だ秩序的、平和的發達を遂げざる國民は小兒と等しく必ず先づ教育訓練せられざるべからざることを知るに至れり。されば腐敗せる南米共和國の無知蒙昧の人民を以て、英佛獨等の人民よりも一層自由の權利を享有するものとなすが如きは、寧ろ滑稽に屬すべく、絶対に歐洲政府の干渉を退けて、無政府に齊しき南米諸國を擁護するが如きは、今や確に之を合衆國の道德的義務なりとは云ふべからず。合衆國に行はれたる民主主義の思想は南米諸國に於けるよりは却つて歐洲諸國に於て大に行はるゝに至れり。南米諸國は其憲法の條文にこそ高尚にして深遠なる道德的文字を列ねたれ、實は之を遵奉する者一人だに之あらざる有様なり。

第二の動機即ちモンロー主義にして合衆國の平和を保障すべしとの事は、今や全く其根據を失ひ、單に一種の迷信たるに過ぎず。モンロー主義は最早合衆國の平和を保障するに足らざるのみならず、却て或は之を危うするやも未だ知るべ

からざるなり。勿論斯く云ふは南亞米利加に之を適用したる場合に就て云ふものにして、中央亞米利加に於ては大に其趣を異にするものあり。例へばキューバを西班牙人の手より移して、他の歐洲國民の所有に歸せしむるが如きは、合衆國の忍ぶ能はざる處なるべく、實際中央亞米利加の如何なる地にても、新に歐洲の植民地となるが如きことあらば、到底戰爭は避くべからざるなり。且つパナマ運河の開鑿はこれ中米及びアンチール諸島(Antilles)に於ける合衆國の道德的及び政治的優越權を保障するものと云ふべし。然れども南米に於ける事情全く異れり。元來米國人は歐洲と合衆國との距離が、歐洲とアルゼンチン共和國との距離より遙に近く、且つニューヨークよりアルゼンチン共和国に行くべき最捷徑が歐洲を經由するにあることを往、閉却するが如し。加之合衆國はラテン民族の建立せる南米共和國と殆ど全く經濟上の關係も同情もあらざるなり。曾つて其大敵たりし英國が太平洋より大西洋まで數千里に亘りて境を接すれども、之が爲めに未だ曾て合衆國の平和を害したることなし。然るに合衆國民は伊太利、英國、若くは和蘭の諸國が、或は負債の代償として、又は虐遇されたる移住民の安全の爲め

に遠遠に在る南米一片の地を占領するが如きことあらば、由々しき大事なりとして噪ぐなり。勿論往時合衆國が未だ小弱なりし時代に於ては、斯かる疑懼恐怖の念に襲はるゝも亦已むを得ざるなり。然れども合衆國は強大なる一等國となり、且つ新舊兩大陸の相違も已に消滅し、合衆國は南米諸國とよりも寧ろ歐洲諸國と相類似するに至れる今日に於て、慢に惧疑の念を抱きてモンロー主義を固執するが如きは、全く杞憂なりと云はざるべからず。今や海底電線縦横に布敷せられ、地理上の距離は全く消滅し去れり。ワシントン府とフィリピン島との距離は、歐洲と南米の孰れの國との距離よりも遙に遠しと雖、而も米國人はフィリピン島を門前にあるが如く考へ居るにあらずや。合衆國は既に國際間の一強國となれるが故に南米には何等の關係なき事件に就て、何時歐洲列強と紛争を惹起する機會あるやも知るべからず。又歐洲諸國が亞弗利加に於ける如く、南米大陸に植民地を建てたればとて、合衆國の爲めに利害痛痒の關係なきは、毫も亞弗利加に於ける植民地に異ならず。露佛伊等の南米植民地が眞の利害の衝突より合衆國と紛争を惹起することは萬なかるべきも、唯合衆國が已に有害無益となれるモン

ロー主義を固執して、歐洲諸國の南米植民を禁ぜんとすれば、紛議は之に依りて生起すべし。故に若しモンロー主義を唯中米のみに適用して、南米を除外せんか、合衆國と歐洲との紛争の種は非常に減少すべし。初めには平和保障すべきものとして宣言せられたるモンロー主義も、今や時勢の變遷と共に却つて戦争を刺激すべき大なる危機物となれるなり。

斯くの如くなるが故に、合衆國がモンロー主義を抛棄するは、實に自國の利益たることを思はざるべからず。既にマッキンレー氏の時代に於て、合衆國が屢、此主義を棄て、國利を増進したることは明かなる事實なり。米國は支那と戦はんが爲めに歐洲列強と連合し、或は亞細亞方面に領土を擴張し、或は政治上の目的を以て軍艦を濠洲に派遣し、以て年來世界に其政治的勢力を擴張しつゝあることは、世人の熟知する處なり。加之南米に關する米國の眞の利益は、其地の充分なる發達を遂げ、其富源は大に開發せられたる時に於て初めて生ずるものにして、南米大陸に於ける商業上の繁榮は、乃ち合衆國の利益となるなり。而して之が繁榮を計るには、その無政府の状態を改善し、秩序ある政治組織を樹立するの外ならず。

而も合衆國が徒に無用のモンロー主義を固執する間は、到底南米の改善は得て望むべからず。歐洲より新に健全なる進取的の氣象に富みたる人民が其他に移住し來るにあらずんば、到底南米諸國の發達は期待すべからざるなり。然れども茲に困難なる問題は、假令英獨諸國を始め他の歐洲人が南米の地に移住植民せんとするも、其無政府の状態に在りて收斂壓抑の爲めに苦めらるべき恐れあることとなり。歐洲の資本家が南米の發達の爲めに投資せんことを欲するも、其無政府に齊しき政治に對して之を保護するに由なきは、畢竟現今南米諸國に於て政權を執れる奸黨等が、モンロー主義の嚴然として存在する間は、如何なる不正不法の行爲を敢てするとも、壓迫を蒙る恐れなきを曉知すればなり。これ實に歐洲の善良なる人民が南米に移住せず、其地の全く怠惰なる住民の手に放任せらるゝ所以なりとす。若しそれ歐洲よりの移住者其數を増して、是等の移住者政府の要地を占むることを得ば、南米の經濟状態は大に健全なる發達を致すや必せり。

若し又合衆國がモンロー主義の結果として南米諸國の政治、負債及び罪惡等に

對して全責任を負ひ、事實上之を合併するに至らば、事態亦從うて變化すべしと雖、これ合衆國の敢てせざる處にして、曩日ヴェネツエラ事件に於て合衆國がその責任を負ふを拒絶したるが如きは、明かに之を證するものなり。故に合衆國が南米に對して責任を負はず、而も尙モンロー主義を固執するとせば、合衆國は無政府を幫助し、世界中最も富源多き而も未開なる南米の發展を故意に阻害し、以て自國商業の利益をも害するものなりと非難せらるゝとも、敢て辯解の辭なかるべし。歐洲人が南米に勢力を得ば、産業も益々繁昌すべく、特に忍耐心と進取の氣象とに富める獨逸人が大に南米に發展せば、南米の發達は期せずして待つべきなり。現今合衆國及び南米間の貿易額は實に瑣々たりと雖、若し一度モンロー主義にして撤去せられんには、非常なる發達を致すべきや必せり。米國從來の政策は南米諸共和國の人民をして米國に心服依頼せしむるものにあらず、却つてモロイ主義は彼等の最も恐怖する處のものなり。何となれば南米人等は合衆國人が現今に於ては新世界の纒に一部分を領有するに過ぎざれども、遂には其全部を支配せんとするに至るべきを感ずるが故に、其結果として南米の小弱國等が皆

合衆國に對して疑懼の念を懐くは寧ろ當然なり。合衆國が如何に西半球全部の同情を得んことを企つるとも、苟くもモンロー主義を棄てざる限りは、唯南米人をして疑懼の念を起さしむるに過ぎざるべし。

然れども米國自ら充分にモンロー主義の不可なる所以を曉りて、奮ひ進んで之を拋棄するにあらずんば、決して其効なかるべし。歐洲諸國が徒に之を破却せん事を力むるが如きは、彼等の爲め害ありて益なかるべし。蓋し米國人民の多數が此妄想に固着する間は、之に對する反對はたゞ米國の惡感を強うするに過ぎざるべし。然るに近年米國人民も漸く悟る處あり。此に新時期は開始せられんとす。乃ち地方的モンロー主義は最早世界の一強國たる合衆國には適せざること明白となれり。合衆國の領地が西部カナダを横ぎりてアラスカに及び、中央亞米利加之全部を併せて領土となすと共に、一方南米に於けるラテン共和國は英伊獨佛等の植民地となり、秩序整ひ、法令行はれ、社會進歩し、經濟發達するに至らんと決して遠きにあらざるべし。

斯くの如くして世界列強の一たる合衆國の權勢は、漸次に發展すべく、其優勢な

る陸軍殊に海軍は大に之が發展を扶くべし。勿論之が爲めに弊害も危險も亦生ぜざるにあらず。その強大なる海軍の力を利用して、吞噬を逞うせんとするが如き不當の慾望起るべし。然れども合衆國に於ては、國際上の問題は歐洲諸國に於けると大にその趣を異にし、輿論公議の問題となること極めて少く、米國人民は始終専ら内治問題にのみ焦慮し、外交に關しては餘り頓着せざるなり。されば一般人民の注意の燒點にして變化せざる限りは、實際不當の膨脹政策を行ふが如き危險はあらざるべし。

米國人民は本來軍國主義を惡むものなり。米國人民は民主主義に反對し、專制主義を補助するが如き事を本能的に嫌ふ人民なり。勿論合衆國と他の列強との關係日に益々繁きを加へ、爲めに大統領及び元老院の權勢は豫期以上に増加し、寡頭政治的傾向を呈するに至れることは疑ふべからず。然れども大統領或は内閣が少しにても事件の真相を隱蔽するが如きは、一般人民の感情を損ふものにして、これ乃ち米國人民の品性の深き底より出づるものなるを以て、將來と雖決して變化することあらざるべし。且つ米國人民は合衆國が世界に雄飛するは決して

暴力によるにあらずして、實に自由、勉勵、秩序の力によらざるべからずとの道德的信念を有するものなり。故に吾人若し此信念の源を洞察せば、米國人民が往々權力を食り、或は帝國主義を採り、その他感情に馳せて常規を逸せるが如き事を行ふは皆これ單に一時の狂熱に過ぎざることを知るに足らん。蓋し米國の本體眞質は平和と道德的理想とを以て立てる國家なること明かなり。

第二篇 經濟

第一章 自發の精神

今若し合衆國の經濟發達の主因何ぞと問はゞ、或は米國人民の品性行爲なりと云ふものあらん、或は米國の無盡藏の天産物なりと云ふものあらん、或は單に最近の經濟界に於ける現象のみに着目して、米國經濟發達の主因はトラストなりと云ふものあらん。合衆國が非常なる富の發達を遂げたる所以の真相を明かにせんと欲せば、吾人は單に合衆國の金銀、石炭、其他の鐵山、石油坑、小麥耕作地、棉作地、大森林、水利の便等に就てのみ考ふべからず、南米の如き、支那の如きも亦其天産物に富めることは殆ど合衆國と同一なりと雖、而も其經濟的發達は、殆ど比較すべくもあらざるなり。又合衆國に於ける特殊の産業機關例へばトラストの如きは、これ單に經濟發達の徴候を示すに止まり、之を以て眞の原因とはなすべ

からざるなり。

米國産業の非常なる發達及び之に伴うて生ぜる大なる弊害危険は、必ず之を米國人民の品性より説明せざるべからず。吾人は米國の政治的活動を米國人民の自主の精神より論じたるが如く、米國の經濟的活動を米國人民の自發の精神より説かざるべからず。尤も米國の産業發達の主因は、外界にあらずして、米國人民の心に存すと言ふ時は、或は多少誤解に陥るものあるべし。實際所謂舊世界の文化に浴し、其感化を受けたる普通の歐洲人等は、米國の經濟的發達を以て單に米國人の飽くことなき貪慾心の結果なりと信ぜり。斯かる歐洲人は以爲らく、米國人は専心貨殖にのみ熱中するが爲め、却つて高尚優美なる功名心を破壊せしめたり。元來米國人は高尚なる文明を享受せんと欲する慾望なきが故に、専ら貨殖の爲めのみ狂奔することを得るなり。されば米國人が經濟上の競争に他の國民よりも一層有利の地位にあるは、畢竟其野蠻的貪慾心に因するものにして、他の國民は貨殖の欲望と共に亦人道的同情心を有するが故に、米國人に比すれば大に不利の地位に立つものなりと。

吾人若し米國の經濟發達の歴史を見れば、以上の如き説は全く牽強附會の曲説なることを知るに足るべし。而して歐洲人にして、米國人民の經濟的勢力を誤解する事なくんば、自己の將來に就て大に其心を安んずることを得べし。

他國人民が單に米國人民のなす所を摸倣したればとて、終に何等利益する處あらざるべく、米國人民の心的特質より流れ出づる所のものは、苟くも之と同一の特質を得るにあらざれば、他國人が如何に之を採用したりとも、決して有効なる結果を見ると能はざるべし。他國人が米國人と同様の工場又はトラストを組織したればとて、斯かる工場又はトラストを自ら組織したる人々を總ての點に於て摸倣するにあらざれば、何等の利益もあらざるべし。米國の如き偉大なる經濟的活動は、決して不道德なる動機より發生するものにあらず。大なる商工業が單に破廉恥、詐僞廣告等の手段によつて建設せらるべしとなすが如きは、餘りに幼稚なる考なり。況や米國の經濟的優勢が法律又は正義を無視し、單に不正の競争と野蠻なる物質的野心とによつて得られたるものなりとするが如きは、一層幼稚なる考なりと云はざるべからず。之を喩ふれば、ニューヨークのブロードウエイ街

にある二十層の大建築物を見て、單に敷石の上に樹てるが如く思ひ、その敷石より下に深く堅固なる地盤あることに氣付かざるが如きなり。之と等しく米國産業發達の基礎が國民の確乎たる信念の上に樹てる所以の理を洞察するにあらざれば、決して其真相を明かにすること能はざるなり。

此に吾人は先づ米國人の富に對する慾望に就て見るべし。元來米國人は自ら勞働して得たる財産にあらざれば尊重せず。之に就ては種々の例證あり。その中でも面白きは、米國には結婚持參金なきこと是なり。獨逸又は佛蘭西等にては、男子は富裕なる女子と結婚するを以て、収入を増す唯一の良法なりと考へ、自己の十分なる俸給を相續若くは結婚によつて得たる財産によつて補充せんとし、結婚を以て殆ど一種の商買の如く思惟するものあり。これ實に米國人の頗る奇怪とする處にして、米國にては斯かることは殆どなく、假令新婦の兩親が富裕なる時とても、新郎新婦は新郎の收入より以上の生計をなすが如きは甚だ稀なり。米國にては富家の女が餘り豊かならざる家に嫁ぐこと尠からずして、而も夫が富裕なる男に依頼するが如きは、不名譽の甚しきものと思惟せらる。畢竟新婦の兩

親が存命中に持參金を受取るが如きは、米國にては實際見ざる處なり。尙此外に米國人が勞力の結果によらざる富を蔑視する實例は、全く歐洲の風に異りて、其富籤を排斥する事なり。米國に於ては富籤は常に法律の之を禁ずるのみならず、輿論も亦全然勝負事を排斥せり。嘗てハーヴァード大學總長は公開演説に於て、米國人民の道徳的態度の一變せることを述べて曰く、六七十年前にはボストンの市民は火災に罹れる一大學の再建費として富籤を行ひたるが、今日に於ては斯かる事は思ひも及ばざることにして、假令學校の爲めと云ふが如き善良なる動機に基くものと雖、不道徳なる富籤によつて金錢を集むることは米國人民飽くまでも反對する處なりと。かの歐洲に於て寺院の建築費を富籤によつて募集する事の如きは、米國人民の殆ど之を解せざる所なり。眞の米國人は勞働によらずして金錢を得たる人を輕蔑す。されば米國人は金錢其物を尊ぶにあらざして、金錢を得る方法を尊ぶものと云ふべく、米國人が金錢を尊ぶは、其金錢を得たる人の才能の表現なりとして之を尊ぶものなり。

尤も米國人を以て賭博を嫌ふ者となすは、一見事實に反するが如く、歐洲人は米

國に於て投機熱の流行盛なるを指摘するに躊躇せざるべし。加之株式市場の米國人自身すらも米國人が賭博好きの人民なるを承認すべし。然れども米國人は賭博に對して一種の信念を有することを知らざるべからず。元來米國にては凡ゆる階級の人々が皆投機業に投資し、取者も、旅館の給仕も、相場に手を出し、學校教員も、商店の番頭も、新礦山又はその他産業會社の株を購入することあり。然れども斯く少許の資本を投機に投ずる人々は、自ら賭博者なりと考ふるにあらざし。己れは能く市場の動靜を察知し得るものなりと考ふるなり。故に單に僥倖を自的とするにあらざりて、日々よく相場に注意し、自己の判断が命中することを確認するまで相場を試むるに過ぎず。故に全く偶然的の勝負事と考へなば、決して投資せざるべし。然るに損失するも尙相場をなすは、これ次回には一層正確に市場の動靜を計量し得べしと信ずればなり。

アングロサクソン人が常に賭博をなすは、即ち此理由に外ならず。畢竟彼等は激動を愛するを以てなり。賭博が單に偶然的の問題なる時は、彼等に取りては、それは眞の賭博にはあらざるなり。敵味方共充分に計量考察を費して勝敗を豫測する

が故に勝者は自己の勝利を以て炯眼洞察の結果なりと思惟す。故に米國人は普通一般偶然的の勝負事に對しては興味を有せざるなり。又米國にては僕婢等に心附けを與ふる事を嫌ふが如きも、亦或る意味よりすれば、同一の理由に基くが如し。心附けを受くるは卑劣なりと感ずる處の自重心を損するは勿論なれども、亦嚴密の意味に於ける自己の勞力によらざる金錢を受くることを嫌ふに由ること明なり。

以上は米國人の富に對する消極的の特質なるが、之に伴うて又積極的の特質あり。若し米國人にして眞に吝嗇ならんには、其財産を斯く寛大に散することなかるべし。抑米國人は金錢を儲くる爲めには狂激すれども、單に金錢を貯蓄する事は、左程米國人の興味を刺激せざる所なり。故に富豪が唯財産の一小部分のみを其子に相続せしめんと種々心を勞すること稀ならず。これ自ら勞して得たる富にあらざれば、眞に幸福を與ふるものにあらずと思惟すればなり。されば米國人が公共事業の爲めに吝みなく寄附するは、斯かる動機より生ずるものなるを知るべし。

元來公共心の有無は統計表によつて計量し得べきものにあらざるが、米國に於て特に然りとす。乃ち多くの寄附金は秘密に行はるゝを常とし、且つ人の知らざる小口の寄附金の總額は、大口の寄附金の總額よりも却つて多し。然れども公共の爲めにせる大口の寄附金のみによつて之を見るも、尙米國人民の公共心の有様は相當に知らるべし。乃ち一九〇三年に於て、公共事業の爲めにせる一千弗以上の寄附金總額は七千六百九十三萬五千弗に上れるが、一千弗以下の寄附金總額も亦殆ど之と同額に達せること疑なし。而して此慈善金の内、四千〇七十萬弗は教育の爲めに寄附せられたるものにして、例へば同年、ハーヴァード大學は五百萬弗、コロムビア大學は三百萬弗、シカゴ大學は一千萬弗、エール大學及びタスキギの黒奴學校は各六十萬弗、ジンス・ホプキンス大學及びペンシルヴェニア大學は各五十萬弗を受取り、其他病院、施療院等に寄附せられたるもの、二千百七十二萬六弗、公立圖書館に七百五十八萬三千弗、宗教上の目的に三百九十九萬六千弗、博物館及び美術館に二百九十二萬七千弗寄附せられたり。斯くの如く米國人民は、カイネギ、ロックフェラーの如き大富豪より貧困なる勞働者に至るまで、皆公共

の爲めに寄附するの風なるを以て、有益なる事業の爲めに、個人より寄附金を募集すること甚だ容易なり。

斯く米國人の富に對する觀念は金錢を所持するにあらずして、金錢を得るにあるが故に、彼等は平氣に金錢を散じ、而も消費せる金錢は、又直ちに補充せらるゝことを確信し、常に樂觀せり。即ち米國人には金錢を儲けることが樂にして、單に金錢を所持することを快しとせざるなり。米國人は全力を盡して、金錢を儲けんと勉むれども、これ恰も庭球の競技に於て球を能く命中せんとすると等しく、米國人の愉快を感ずる處は、競技其物にして、決して賞品にはあらざるなり。數年前、ニューヨークの株式市場に大動亂起り、破産者相次ぎしが、之に就きて佛國巴里の一新聞紙は論じて曰く、若し斯くの如き事佛國に起らば、經濟界は大恐慌を來し、公債は下落し、自殺者、暴動、内閣の瓦解等一時に起るべし。而も米國の社會が之に對する、平然として噪がず、失敗者等も亦泰然として恢復の方法を講じつゝあるは、實に驚嘆の外なし。佛國と米國とは、其文明に於ても、亦其思想の傾向に於ても、全く異なるものなりと云はざるべからずと。

佛國人民は金錢其物を愛し、相續又は結婚等によつて勞力を費さずして金錢を得んと欲す。而して之を得れば喜び、之を失ふ時は恰も自己の手足を斬られたるが如く感じ、又己に生計に充分なるだけの金錢を儲ければ、全く職業を止むるを常とす。されば佛國人の欲する處は、蓄財の利子によりて座食するにあるなり。然るに米國人は全く之に反し、損失に逢ふも平然として忍び、勞力によらざる利益を蔑み、且つ如何なることありても決して金儲けの業を廢することなく、孜孜として之に勵み、學者にても藝術家にても、己になす所をなしたりとて退隱するが如きことなく、健康の許す限り、精力の續く限りは、決して其業を廢せざるなり。故に米國にては利益の配當のみにて坐食するが如き者は一人もなく、如何に富める人と雖自ら働かざるものは社會に於ける地位を得、又保持すること能はざるなり。米國にては生活の爲め金儲けの業に従事せざる富裕の青年と雖、社會公共の爲めに何等かの事業をなすにあらざれば、友人の尊敬を受くること能はざるなり。

されば米國人は單に物質的の快樂を得んが爲めに金錢を求むるにあらざり。勿論

富豪が其妻女の爲めに贅澤の極を盡し、又衣服、寶石、車馬、別荘、快遊船、美術品、圖書室等に莫大の金錢を費すこと、米國の如く甚しきは、未だ他にあらざるなり。歐洲人の眼よりすれば、勞働者すら贅澤なる生活をなしつゝあるが如く見ゆべし。と雖、物質的の快樂に對する米國人の欲望が、歐洲に於けるより却つて少きは、米國の真相を知れる者の皆等しく認むる處にして、米國の社會が勤勉なる割合に快樂を嗜むことの少きは、歐洲人の驚嘆する處なり。米國人はよく金錢を儲くるの道を知れども、之に由つて快樂を求むるの方法を知らずと云ふは眞に事實なり。尙この外に最も注意すべき重要なる點は、即ち米國人は凡ゆる能力をその事業に費し、己が自發の精神を使用するを以て最も愉快なりと感ずること是なり。これ即ち米國人が金錢を消費してよりも、一層大なる愉快を感ずる處なり。故に米國人を以て何の理想もなき唯物論者なりとなすが如きは、大なる誤謬なり。道德上より言へば、唯物論とは人生の目的を以て唯快樂に在りとなすものにして、其動機の快樂なる行爲の結果にあらざりして行爲其物の價值にあるものは、これ一の理想主義たるなり。此意味よりすれば、更に熱誠の心なく、美術を以て唯

快樂を得る手段となし、科學を以て唯名譽を求むる手段となし、政治を以て唯權力を得る手段となし、一言すれば勞働を以て單に一の目的に對する手段となす間は、其人は唯物主義の人たるを免るべからず。然るに理想主義の人は行爲其物の價値を信じて行動するものなるが故、自己のなす所が、物質上の事なるも或は知識上の事なるも、そは敢て問ふ處にあらず。即ち橋梁又は鐵道を建築するも、排水灌溉の方法を講ずるも、演説するも、詩を作るも、畫を描くも、政治を行ふも、そは敢て關する處にあらざるなり。斯くの如き意味より云へば、歐洲の文明は物質主義に傾き、米國の文明は理想主義に傾けるものなりと云ふも、敢て過言にあらざるべし。

これ實に大切なる點にして、米國人には經濟的活動は其物自らの貴重なる努力の實現なり。而して努力の實現は目的に對する手段にあらずして目的其物なり。前に一本の草葉生ぜし處に、今二本の葉生じ、前に單線鐵道なりしもの、今複線となり、生産、交換、通商増加して企業發達すれば、乃ち此に生命生ず。而して此生命其物こそ貴重なるものあり。然るに歐洲大陸の人々は産業的生命を以て、正しさも

のとはなせども、高尚なるものとは思はず。彼等は經濟的活動は自己及び其家族を支ふる爲めに善しとするも、其責任は單に其時の經濟的需要を充たすを以て足れりとせり。

歐洲の商人は自己を以て美術家又は學者の如く、自由なる創造者なりとは思はず。彼は發見者にあらず、又製作者にあらず、而して自己の腦力を費すは下等なる目的を遂ぐる爲めにして、これ唯彼が世に生存するを以て已むを得ずとするなり。貴重の成功にして之が其人自らにとりて有益なりや否やは敢て問ふ處にあらず。抑、經濟的に創造する事は其事自ら國民の經濟的活動を發展することに於て最も偉大なることは、歐洲史中の多くの大商人の信ぜし處にして、今日獨逸商業市同盟の首領等の之を實行せるものならずや。而も歐洲の人民等は尙此理を知らず、却つて米國人民は大に此理を明かにせり。獨逸の詩人フツテン(Fuhsen)が「學問美術の滿開せる世紀に生れたるは實に愉快なり」と云へるに比して、米國人民は「商工業の榮ゆる今の時代に生れたるは實に愉快なり」と云ふならん。米國人民は各自國民的生活の一部分をなすことを感じ、之を以て大に誇とす。

米國の商人が金錢の爲めに働くは、恰も大書工が金錢の爲めに繪畫を描くと全く同様の意味にして、其繪畫の高價なるは書工の美術的技量を表彰するものなり。然るに若し書工にして其美術的理想の爲めに描かずして、單に金錢の爲めに描けるものならんには、其繪畫は決して世人によりて其價值を認められざるべし。米國人民は此新大陸を開拓し、國民の富を増加し、外は天下の經濟界を制し、内は個人の經濟的勢力を高め、協同の力によつて世界的文化の爲めに盡すを以て最高の義務なりと感ずるなり。

されば米國にては兒童と雖是等經濟的進歩の爲めに盡さんと欲せざるはなく、恰も獨逸の兒童が詩を作り、畫を描く事を學ぶが如く、幼きより國民的産業活動に加はり、或は牛乳配達をなし、或は新聞賣子となり、少許の金錢を得て家に歸るを大に誇となすなり。而もその誇とする處は、得たる金錢その物にあらず、自ら努力して金錢を得たるが故にして、畢竟金錢は唯己が努力に由りて米國の經濟的進歩に貢獻したるを證明する方法たるに過ぎざるなり。此思想は其功名心を刺激する大原動力にして、將來新聞賣子が、大鐵道會社の社長となり、或は牛乳配達

夫が大工場の主人となり、斯くして陶朱猗頓の富を累ぬるとも、尙依然として日その勞役を廢せずして、以て國家の經濟的活動に盡し、凡ゆる新企業に着手し、勞働其物を以て勞働の報酬なりと思惟すること終始一の如く、經濟的進歩の事業を以て人生の眞意義となす。

米國の經濟的活動を今日の如く發達せしめたるものは實に如上の思想なり。米國人は政治、法律、美術、科學等の爲めに盡す者を以て、經濟上に貢獻せる者よりも更に勝りて、文明の爲めに力を致せる者なりとは思惟せざるなり。故に米國にては、有爲の青年も、大學卒業の富家の子弟も、皆實業界に入るを常とす。米國人民が産業上の問題に對して趣味を有することは、恰も歐洲人民が政治、美術、科學等に對して趣味を有するが如し。吾人若し米國人と普通の談話を交ふれば、亦如何に彼等が産業的活動の眞價を確信せるかを察知するに足らん。

故に米國の經濟的活動の中心點は貪慾にもあらず、亦金錢の考にもあらずして、實に自發的精神なりと云はざるべからず。而して此精神が今日の如き活氣ある發達を遂げ來れる所以のもの又決して偶然にあらざるなり。抑、米國の政治的活

動の主腦たる自主の精神が、植民地時代の産物なりしと等しく、此自發の精神も亦新世界開拓の發端に於ける冒險的活動の自然の結果として生じたるものなり。初めて新世界に移往し來れるものは、自然と奮闘せざるべからざることを豫期したり。勿論天然の財寶は甚だ豊富なりしも、之を利用せんには或は叢林を伐り、或は沼澤を排水せざるべからざりしなり。ルイジアナ購入百年期祝祭の舉行地たるセント・ルイの如きは、今日八千の工場を有する大都會たりと雖、八九十年以前にありては、一の茫々たる荒原たりしなり。

最初の植民地人民が東海岸地方より漸次内地に向つて入込みし頃より、名に負ふロッキン山脈を横斷して大西洋より太平洋に亘る鐵道の布敷せられたる時迄、約二百年間の米國の歴史は、實に自然界との長き奮闘及び之に依つて得たる勝利の歴史たることを知らざるべからず。而して斯かる數千の奮闘者は、其時を同うして其處を異にし、互に相隔離孤立して單身久しく苦闘に耐へたるなり。勿論長く勞働に堪へ得ざりし者は失敗に終れりと雖、事業の困難は却つて益、奮闘者の精力を刺激し、大に自發の精神を發揮せしめたり。且つ母國を去つて米國に移

住し來れる者は、充分の決心を有せる者のみなるが故に、或る意味よりすれば、斯くの如く茫々たる大洋を横つて米國に來り、其開拓の事業に着手せる人々は、最も精撰せられたる奮闘的の人物なりと云ふべし。

現今米國の状態は、植民地時代に比すれば、大に變遷したりと雖、而も當時の精神は依然として存し、決して消滅したるにあらず。經濟上に自我を實現せんと欲する希望精神は益々盛ならんとせり。元來民主主義の國にありては、政治上に於ても、社會上に於ても、平等を以て主義となし、爵位勳等、家門の如き社會的階級は、全然之を排斥するを常とするが故に、其必然の結果として、富を以て實際上差別の要素となし、貴族主義の國に於けるよりも一層之を貴ぶべきは明かなり。然れども米國人は單に富其物を貴ぶにはあらず、富を以て自發の精神の尺度とし、初めて之を尊重すべきものとなし、幸福と勞働とは必ず並行すべきものと思惟せり。されば米國人は人生の辛酸を嘗め、大業を企て世人の尊敬を博し得たる事實を、富によつて表明し、以て自己の地位を高めんことを欲するものなり。而して此希望は全く經濟上の熱心より起れるものなるが、再び回りて又自發の精神を刺激す

るものなり。

この自發の精神の第一の結果として、米國人は凡ゆる種類の労働を尊重し、如何なる職業をも決して蔑視せざるなり。米國人が一の労働より他の労働に轉じ、絶えず轉業するは歐洲人の理想の標準よりすれば、不名譽のこと、思惟せらるべし。米國人は其収入を増さんが爲めに、常職の外に副業を求めんと欲すること甚しく、往々にして其性質非常に相違せる二個の職業を擇ぶことなしとせず。勿論之にも或る制限ありて、社會の風俗習慣に従はざるべからざる場合あり。例へば牧師が記者又は産業會社の役員とならんが爲めに、教職を去るも、米國人民は之を異とせざれども、若し保險會社の代理人となり、或は賣藥商とならば、大に奇異とせらるべく、而して麥酒商人となるに於ては、非常なる誹謗を被るべし。

内職に於ても亦殆ど之と等しく、例へば大學の學生が他の學生の家庭教師となるは、毫も差支なく、又學資を得んが爲めに、夏期休暇中に旅館の給仕となり、或は開校中と雖工場に働くが如きを見て、米國人は之を氣の毒には思へども、決して之が爲めに彼を輕蔑するが如きことあらず。然れども、若し大學生にして理髮師

又は美術家のモデルとなるが如き事あらば、大に輕蔑せらるゝなり。これモデルは全く受動的にして、自ら何等なす處なきものなればなり。又理髮業は賤業にして、大學生の品位を墜すものと思惟せらるゝが故なり。斯くの如くなるが故に、如何なる種類の労働も、理窟より言へば皆平等なりと雖、社會的感情よりして此原則に多少の例外なき能はず。但し歐洲に比すれば、大に労働の平等主義を認むること勿論なり。且つ米國に於ける階級的區別の原則が、全く自發の精神に基くことは疑ふべからざる處にして、事業の收入如何、或は事業の準備如何の如きは、敢て其人の地位身分を定むるに於て重要なりとせず。唯其生涯が自發の精神に満ち、單に受動的の地位に立つことを甘んぜざるを以て重要なりとす。

斯くの如く産業上の自發心を貴ぶ人民は、勤勉なること明かなり。乃ち米國人民は皆労働に熱中して、甚だ勤勉なり。尤も時に或は快樂安逸を求むるも、それは單に心身を休養して、以て一層労働に奮勵せんが爲めなるのみ。永く勤勉ならんと欲せば、自己の勞力を利用するの道を考へざるべからず。而して此點に於て、米國人民は世界に雙ぶ者なしと云ふを得べし。第一、米國人は謹嚴にして眞面目なり。日

中飲酒するが如き人は到底大事をなすに足らず。故に米國人は富豪も、銀行家も、労働者も、汽車の車掌も、共に等しく日没後労働を終る迄は決して一滴の酒精をも口にせざるなり。次に米國の労働者は健全なる身體を有して初めて大に労働するを得ることを熟知せるを以て、麥酒又はブランドーを節し、牛肉を喰ふの風あり。故に米國人は如何に骨の折るゝ仕事をなすとも過勞するが如きことは殆どなし。例へば工場に於ける労働者が其労働の爲めに汗するが如きは甚だ稀にして、これ米國人が如何にせば能く労働を持続して仕事の量を多くなし得べきかを熟知せる結果に外ならざるなり。

又米國人は時間を最も能く利用する人民にして、皮相の觀察者は往々米國人を以て常に忽率餘裕なき人民なりと思惟すれども、事實は全く之に反せり。元來忽率の人は時間を善用すること能はずして、斯かる人は決して一事を成し得るものにあらず。然るに米國人は決して忽率の舉動なく、綽々として餘裕あり、貴重なる時間を空費せず、秩序正しく事をなすが故に、狼狽するの要なし。政治經濟又は學術等に従事せる有名なる人々が、無數の事務を其身に負ひ乍ら容易に之を遂

行し、綽々として餘裕あるを見れば、如何に彼等が時間を利用するの巧なるかを知らるに足らん。斯く米國人は時間を節用するが故に、非常に多忙なる人には殆ど不要なるが如き事をすらなせり。例へば衣服遊戯に心を用ひ、新聞紙を讀み、以て多くの時間を費す如き是なり。されば歐洲人が米國人は常に始終忽率なるのみならず、職業以外に少しの時間をも有せずと思惟する如きは、これ全く理由なき誤想なり。

米國人は斯くの如く時間を節用して無用の勞力を省き、如何なる事をなすにも事務的方法に由つて之を行ふを常とす。例へば銀行家は自己の住宅は貴重なる美術品を以て裝飾するも、銀行に於ては一切實用的ならざる虚飾をなす事を許さざるなり。米國人が各自其責務に忠實なるは實に此事務室に於ける感情に基くものにして、他國人は之を見て餘りに乾燥無味なりとなすならんも、米國人は苟くも之に反するものは熱心と實行的智慧とを缺ぐものとなすなり。特に米國人が書信に嚴重なることは驚く許りにして、統計の示す處によれば、米國の如く書狀の交換甚しき處は他に其例なく、米國人は其業務に就て書狀を受取る時

は必ず、即日簡明なる返書を出すを常とす。米國人が瑣末の事迄も正確に處理し、殆ど何等の錯誤なく大事業を完成する有様は、恰も精巧なる装置の機械の運轉するが如し。

自發の精神に由つて活動する國民は、各個人の心に自發の精神を鼓吹すること必せり。故に米國經濟界の特色は、人々皆熱心に自己の爲めに思考し、自己の爲めに行動するにあり。他國人は米國に於ては専ら機械力のみを依頼し、労働者は纔に唯工場の仕事の一部分を見るに止まり、終生同一の作業を反覆するが故に、其智識の進歩を阻礙すること甚しとなすものあり。然れどもこれ即ち極少の義務も其實は非常に複雑するものなることを知らざるの言にして、謬見なりと云はざるべからず。専門的技術は労働者に大なる熟練を與へ、併せて又複雑なる機械装置全體の知識を得しめ、尙改良の道を暗示することすらなしとせざるなり。然るに事業の全體に關係し、若くは絶えず一の事より他の事に轉ずるが如き人は、決して其注意を集中して緻密なる知識を得ること能はざるなり。然るに之に反して或る一技に熱中し、専門的に之をなすものにして、初めて緻密なる知識を

收むる事を得べく、且つ之に刺戟を與へて發明の端をも開くべし。科學の研究に於ても亦之と等しく、眞に科學を知らざる人は科學研究者が甲蟲の研究又はア、シリア楔形文字の解釋を以て畢生の業となし、孜孜として研究するを見て、其單調無味なるに驚くべし。然れども研究の範圍狭き時は、其狭き範圍の内に無數の複雑なる關係ありて、思ひも寄らざる美妙を含蓄せることを發見するに至るべし。産業界に於ける専門的技術の習熟も亦全く之と同様の効果を生ずるものにして、機械装置の特殊の一部に注意を集中する時は、其一小部分に於てすらも尙種々の複雑なる作用を含むことを發見し、頓て改良發見の端緒を得るに至るべし。されば斯かる専門的労働者は絶えず機械の改良を促がし、以て産業の發達に貢獻すべし。吾人は一般人民の自主の精神が米國政治の大原動力たることを述べしが、之と等しく一般労働者の自由自發の精神を以て米國産業界の大原動力なりと云はんと欲するなり。

自發の精神ある人は區々たる瑣事に拘泥せず、單に利益の目的を以て經濟界に身を投ずるものは、不正の小利を貪ぼるを以て自ら敏しと思惟すべきも、苟くも

純然たる理想の點より産業を見る人は、經濟界の全般に着目し、資本と勞働との關係を洞察し、假令自己の活動の範圍狭き場合にありても、尙活眼を開いて其全局に注視するなり。故に米國人は米國の産業が今日の偉大を致せる所以の理が、決して米國の天然の富源に存せずして、實に其人民の宏濶自由なる自發の精神に存することを疑はざるなり。歐洲人は小利に迷うて自己の經濟的努力を害ひ、不正の利を見るに敏くして、大事業を始むるの勇氣に乏しと稱せらる。勿論米國人が大規模の事業に着手するに至れるは、其自然界の豊富なるによれることも亦疑ふべからず。植民地の人民等は無限の廣野と鬱蒼たる大森林を見て、其精神を鼓舞せられ、以て大事業を企て、如何なる障礙に逢ふも毫も之が爲めに其勇氣を挫かざりしなり。これ米國人が歐洲人の如く小事に拘泥して大局を看過し、以て不利を蒙り、時間を浪費するの愚を學ばざる所以なり。米國人の度量の大なる事は、例へば昨日まで數十萬弗を値せる機械も、今は之に優れる新式の改良機械發明せらるれば、恰も弊履を棄つるが如く、直ちに之を棄て、新機械を購入するを見ても明かなり。これ米國の如き大産業組織に於ては、最善の機械を使用する

ことは成功の最良の手段たるを以てなり。苟くも收支相償は、敢て吝嗇なる行爲をなすべきにあらず。

各人の他人に對する行爲に於ても亦同様にして、嫉妬心あるものは唯小人なり。而して嫉妬てふ語は米國の辭書にはあることなし。米國人は一般の經濟的進歩を目的とし、自己一身の利害を主とせざるが故に、他人の成功も亦自己の成功と同様に非常に愉快を感じ、他人の成功を見れば益力盡して互に全産業の發達を計らんことを勉むるなり。元來競争場裡に立ちては、人各他に擡んでんことを力むるは當然のことにして、斯かる競争は經濟的進歩の爲めに最良の方法なり。されば米國人と雖自ら成功せんが爲めには全力を盡せども、他人が己れに勝ちたればとて之を妬み不平を鳴すが如きことは決してなく、却つて之に勵まされ、一層の勇氣を奮つて事に當らんとするなり。此精神は遊戯に於ても亦表れ、競技其物を以て愉快とするが故に、假令敗を取りたりとて敢て敵手を嫉むが如きことあらざるなり。

斯くの如く相互に妬まず又嫉まれずとの信念を有することは、競争の内に協同

の精神を涵養し、産業的活動を高尙ならしめ、其結果として相互に信頼する心を生ずべし。此點に於ては到底歐洲大陸諸國人の企て及ばざる處にして、米國經濟界の強大と安固とは實に之に基けりと云ふべし。

自發の精神は又米國人をして樂天的に成功を確信せしむるが故に、彼等は如何に困難に遭遇するも、決して勇氣を阻喪し、失望落膽するが如きことなし。蓋し斯かる樂天主義は大事業を企圖するものに取りては特に必要なり。米國人の大西洋を横斷せるも、東海岸より漸次西部の内地に發展せるも、自然に打勝ち、空漠の地を開いて文明を樹立し、凡ゆる敵を征服せるも、皆この精神に依らざるはなし。而して國土の膨脹と共に、個人も亦其向上心を強うし、更に各種の新事業を起すに至れり。米國人は常に新企業に熱中し、困難に遭遇すれば却つて一層奮勵し、他くまで其目的を遂行せざれば止まざらんとするものなり。

吾人若し米國に於ける鐵道布設の方法を見れば、如何に米國人の冒險的精神の盛なるかを知るに足らん。他國にては從來存在せる都會を連絡して線路布設の設計をなすを常とし、即ち都會の存在が線路を支配する有様なれども、米國にては

全く之に反し、線路が却つて新に都會を作るなり。即ち鐵道の設計者は單に其土地の既に開けたる故を以て線路を布くにあらずして、將來人口の繁殖し得べき見込あれば、如何なる處にも先づ鐵道を布設せり。故に先づ鐵道成りて然る後に人民來り、汽車已に往來して然る後に開墾起り、それより産物増加して貨車を充すに至るなり。米國西部地方に於ける諸部落は殆ど皆停車場を中心として發達せるものにあらざるはなし。各鐵道會社は自己の利益の爲めに鐵道を布設せること勿論なれども、而も其全計畫が直接文明の創建に與つて力ありしこと亦論を俟たざるなり。

米國人は如何なる問題にても必ず解決し得べきものなりと樂觀するが故に、益々智能を啓發し、發明心を喚起すべきは明かなり。米國の如く發明の盛なる處は世界に其比を見ざる處にて、毎年許可せらるゝ專賣特許權數の實に莫大なるを見れば、思ひ半に過ぐるものあらん。米國人は簡單なる器具より複雑なる機械に至るまで改良を加へて、理論上よりも應用上よりも完全ならしめたり。尤も米國の如く人口の未だ稠密ならざる國に於ては、勞力を省かんが爲めに、發明心の發達

を促せること勿論なれども、元來米國人は發明に對して特殊の才力を有し實際問題の解決に對して全く天稟の技能を有すと云ふべし。米國人が電信機、電話機、白熱燈、寫眞機械、裁縫機械、時計製造機械、汽罐車、印刷機、寫字機、採礦機械等を始め、其他諸機械の完成に如何に多大の貢獻をなせるかは、世人の等しく認むる處にして、改良せられし最新式の機械が、即時米全土に普及せらるゝの事實を見れば、發明と企業とが、兩々相竝んで發展するを想像するに難からざるべし。西部僻地の農夫も、最新式の農具を用ひ、労働者も最良の改良農具を使用し、事務所は皆最新式の電信電話機械を据付くるが如く、各人皆自己の成功を競はんに爲めに、最新最良の發明品を採用せざるはなし。勿論斯くの如くにして各改良の商業上に於ける價值は大に増加すべく、而して益、發明者を刺激して發明に力めしむべし。されば米國人が一問題の解決の爲めに、莫大の費用を投じて、毫も惜まざるは、歐洲人の殆ど想像し能はざる程にして、例へば考案者が會社に自己の設計案を提供して、充分の信用を博すれば、會社は其機械の完成するまで、實驗費として數百萬弗の巨費を投ずることすら屢なり。

尤も斯くの如く發明の採用甚だ盛なりと雖、其多くが必ずしもエヂソン (Edison) 若くはベル (Bell) の如き大發明家の發明に係るものゝみなりと云ふにあらずして、又は工場労働者も亦等しく器具の改良をなし、職工も亦常に多少の改良發明を工夫しつゝあり、労働者にして其労働の餘暇、公共圖書館に行き、工學上の書籍を繙き、又は專賣特許品の報告書を參考する者少からず。されば米國の或る製造家が歐洲に於て一の新機械の發見せらるゝを聞くや、未だ之を見るに及ばずして、米國人は必ず之に改良を施すべしと公言したるが如きは、敢て誇張の言と言ふべからず。

尙終りに一言すべきは、自發的精神の結果として米國人は絶對的に自由競争を要求すること是なり。自發的精神を實行せんには、各人必ず絶對的に自由行動の權利を有せざるべからざること、はこれ自然の道理にして、苟くも經濟的發達の眞價を確信するものは、自由競争が産業の發達に必須缺くべからざるものなるを信ぜざるべからず。尤も自由競争と云ふも、國民各自競争の自由を妨げざる限りは、かの高率の關稅を課するが如き、人爲的の處置を以て内國に於ける或る種

類の薄弱なる經濟機關を保護するを妨げざるなり。而して米國人の蛇蝎視する唯一のものは獨占事業なりしが、これ畢竟競争を阻害するを以てなり。世人或は米國人は自由自發の精神を尊重するが故に、自己の好む處に従ひ、産業上の合同をなすの權利あるを主張すべしと想像する者あらん。例へば數州に跨がる長道の平行線が互に激烈なる競争をなせる後遂に妥協して合同し、其貨錢を一定するが如きは、一見鐵道會社の自由權利なるが如く見ゆ。而して斯くの如く合同する時は、従來の如き無用の費用を省き、以て會社も乗客も共に利便を受くるに至るべし。然れども合衆國の法律は此點に於て全く其見る所を異にせり。米國人民は一般に獨占事業と云へば、州若くは市の經營に係るものと雖、之を嫌ひ、自由競争を以て最も優れたる方法なりと思惟し、特に或る産業の範圍を制限して競争者を容れざるが如きは、其最も嫌忌する處なり。トラストが屢、激烈なる抵抗と憤怒を買ふも、亦畢竟其害の獨占事業に近似するものあるが故なり。

自由競争の下に於ける自發の精神は、常に個人にのみ限りて存するにあらず。町市、郡、州の如き集合團體も、亦等しく同様の態度を示せり。且つ樂觀主義、發明心、企

業心の如きも、亦等しく市又は州の集合的意志を刺激するものなり。特に西部諸州に於ける市及び其他の地方團體は、恰も互に野球の競技に於けるが如き態度を以て競争し、而も決して嫉妬するが如き事なし。セントルイス市が世界大博覽會を開催せんことを企つるや、ミゾリ州が其舉を賛し、大に援助を與へたるが如きは、正しくこれ樂觀的企業心の結果にして、斯かる大規模の計畫に對して多額の費用を投じて敢て辭せざるは、此計畫がミッシュピ平野の産業を獎勵して、之を發達するに至るべきを知ればなり。按ふにミゾリ州は將來其その産業大に發達し、遂に西部のペンシルヴェニア州と稱せらるべし。

されど此に注意すべきことあり。即ち自發の精神には何等危険と不利益とを含まずとは云ふべからざることは是なり。自發の精神は餘りに元氣を激勵するが故に、往々にして平和を破り、調和を亂し、自然界に對し、他人に對し、頓ては己れ自身に對してすら無謀の舉動をなすに至ることなきにあらず。

自然界に對する無謀不注意の處置は、實に米國開拓者の特徴なりき。天然の富源殆ど無盡藏なりしが故に、唯最良の物のみを使用し、其他は盡く之を拋棄して顧

みず、農夫の如きは肥沃の地のみを耕し漸次其生産力を消耗せしめて毫も意とせざりき。然るに今や漸く肥沃の地は乏しくなり、又森林濫伐の結果として降雨及び供水に悪影響を及ぼし、大に殖林の必要起り、農作に於ても所謂深耕密培法(intensive method)を採用せざるべからざるに至れり。然るに尙淺慮なる一般人民等が直接自己の利益に迷ひ、子孫後世の爲め計らざるは識者の大に悲む處なり。次に熱心産業界に雄飛せんと欲するものは、勢ひ他人に對して冷淡となり易き傾向あり。吾人は曩に米國人は他人に對して嫉妬の心を有せず、互に快濶恬淡ならんことを欲し、且つ他人の權利を尊重すと云へり。然れども米國人は一度事を行ふに當りては、他くまでも勝利を得んと欲する性質を有し、競技の規則に反せざる限りは毫も假借する所なく、感情の爲めに自己の計畫を制せしむるが如きことをなさざるなり。最大の企業が幾多有爲の人を壓倒して死地に陥れたるが如き例は甚だ尠からず。溫雅寛厚なる米國人も、經濟界の行動に於ては、何等假借する處なし。米國の産業的精神は一種の峻嚴なる軍隊的規律を要す。若し夫れ企業家が、徒に他人の事のみを思ふが如きあらば、これ所謂宋襄の仁を行ふものに

じて、恰も涙脆き軍隊と等しく、到底成功すること能はざるや必せり。然れども米國人は他人に對するよりも自己に對すること嚴なり。已に述べたるが如く、米國人は事をなすに當りては、自己の力を節用すれども、而も其智力に至りては、何等の制限をもなさざるが故に、成功勝利の爲めに精神の疲勞を來し、遂に健康を害ふこと稀ならず。米國産業の發達を致せる眞の原因は、青年が全力を以て産業的活動に加はり、爲めに其能力を消耗し盡したるに在り。これ最強の智的努力は之を青年に求めざるべからざるが故なり。其他自發的精神には、又大なる弱點危険あり。米國人は餘り他人を信任して、其爲め甚しき不注意に陥ること尠からず。何等の惡意なきも唯不注意なる過信の爲めに罪惡を其儘に看過すること敢て其例に乏しからざるなり。又其弊は富を誇示するの風あり。此弊は以前特に甚しかりしものにて、若し富の獲得を以て唯一の功名となし、金錢を以て成功の尺度となす時は、社會の文化尙幼稚なる時代に於て人皆富を以て其成功を誇示せんと欲するは寧ろ當然の事なりと云はざるべからず。即ち大金剛石は恰も爵位勳等と同様の價值を有し、成功を表示する章、

號たるなり。尤も斯かる風習は今や漸く消失しつつあり。特に米國中文化の度進歩し、累代の富豪少からざる地方にありては、人皆財産は其所有者自身に於てよりも銀行に於て有益なるものなるを知れり。

されど米國民は其衣服化粧其他の裝飾車馬邸宅等の爲めに莫大の金錢を消費し、萬事萬端美を盡し善を盡さんことを欲し、若し之を得ざれば社會に於ける自己の地位の之が爲めに墜落せる思あり。劇場其他の觀覽席の如きも、特別上等席は觀客常に充滿し、割引日の如きには却つて入場者少きを例とす。又最も高き旅館は豫め室の注文をなし置かざれば宿泊することを得ず。米國人は到る處に自己の富裕を表示せんことを欲するが故に、所得以上の贅澤なる生活を營まんとする傾向あり。浪費贅澤は米國人の一大特色にして、金錢を使ふと湯水の如し。例へば普通の家庭に於ける厨房の如きも、非常に贅澤を極め、特に政府官吏の厨房を見れば、恰も日々大宴會あるかの如く、數萬の料理人立ち働きつゝあるなり。米國人は節儉する時にてても本來既に贅澤なるなり。米國人の最も好める貯蓄の方法は生命保險に入るにあり。然れども斯かる保險會社が廣告料又は互の競争費

として、數百萬弗を消費し、尙非常なる利潤を收むるを見れば、是等保險會社は、畢竟眞個の節儉を知らざる富者の爲めに供する貯蓄機關たるに過ぎざるなり。

又此に看過すべからざるは、米國人が美的趣味を蔑視するの風是なり。元來美を愛する人は、自己の理想が現在の瞬間に實現せられんことを欲し、現在其物を以て過去の表現となすなり。然るに經濟的活動を以て主とする人は、單に未來のみを注意するが故に、直ちに過去となるべき現在に於て、殆ど何等の價值なしと云ふべし。されば企業者は單に行爲の方針を指示するに止まるが如き現在に對しては、殆ど何等の興趣をも有せざるなり。米國人の如く、常に新企業に向つて突進するものは、現在に於ける統一又は調和を求めずして、常に未來のみに注視するが故に、現在の美醜如何は敢て問ふ處にあらず。若し現在を以て完成の期限となさば、企業心なるものは全く自由を失ひ、創作的活動も亦從つて休止するに至るべし。されば米國人民の理想とする處は、實に現在を以て不完全となし、未來の光榮を得んが爲めに絶えず活動するものと云ふべし。

ニューヨークの壯大美麗なるメトロポリタン博物館の大階段を降り行く時は、吾

人は其前方に種々の飲食物を販賣する一陋屋あるを發見すべく、其汚穢にして障壁破れたる光景は、新世界の最大富都に恰も遠き田舎より綠日店の露臺を持ち來れるが如き觀あり。これ誠に厭ふべし。然れども未來に對して熱心なる希望を有する米國文明の眞の道德的意義を解せざる者の眼にこそ誠に厭ふべしと見ゆるのみ。若し米國人民にして既に過去の汚穢、偏小、醜陋なるを見ざるに至らば、其人生の原動力は此に消滅に歸すと云ふべし。既に完成し盡せるものは最早米國人の興趣を喚起するに足らずと雖、尙之よりなすべき餘地あるものに向つては、彼は全く我を忘れて之に當らんと欲す。米國に於ては何事に依らず表面のみを磨けるものは成功の模造たるに過ぎず。之に反して衝突や美的に不調和なるものも、其道德的價値を有するものこそ、これ即ち米國人民の爲めには人生の意義を供し、且つ其產業界をして無比の進歩發達をなさしむるものなり。

第二章 經濟的勃興

新地の開發、礦山の採掘、工場の建築、鐵道の布設、商業交易の事の如きは、米國人民が任意的創造的勞力を以て、文明の進歩の爲めに企畫せるものにして、單に生計の手段としてなしたるものにあらず。吾人は此點に於て米國の産業的活動の眞意義及び眞勢力が自發の精神にあるを見るなり。されば斯かる精神を有し産業の眞價を確信せる者にして、始めて驚くべき米國の大産業組織を建設するを得べきなり。若し米國人民が單に其生活の爲めに商業に従事し、産業上何等の理想を有せざる人種ならんには、其國の富源如何に豊なりと雖、決して今日の如き繁榮を見ることを望むべからず。

然れども米國の人民のみを見て、其國土の如何を看過すべきにあらず。米國人民を導きて斯くの如く開拓に熱中せしめたるものは、實に國土其物なりき。鋤の觸るゝ處、金、銀、鐵、石炭見はれ、犁の耕す處、穀物山の如く實る。河海、港灣、山岳は地の理に適ひ、交通の便を與へ、石油湧出し、水力殆ど盡くることなし。魚鳥、果實、綿等の産

出は普く世界に供給するに足れり。而して是等は皆植民の未だ此地に來らざる以前より、既業に天然の豊に供せる所なり。

斯くの如く天與の富源、先づ人民の繁榮幸福を效し、人民の繁榮幸福は復た回りに益、富源の開拓に新なる刺激を與へ、新なる企業に對しては資本を供し、需要の非常なる發展を助け、農民及び職工をして次第に榮ゆる産業の最良の保護者たらしめ、經濟上の循環作用をして益、活潑隆盛ならしむるに至れり。

經濟的狀態の外にも、政治行政の方面に於て亦産業界の發展を促すに與つて力あるものあり。元來米國の歴史は長き傳説を有する國に於ては見る事を得ざる自由の天地に於て發達し來れり。勿論自由てふものは絶對の幸福を效すにあらずして、或は弊害の之に伴ふあり。爲めに犠牲を要する事なきにあらずと雖、經濟的自由の爲めに米國の社會が大なる利益を受けたるは決して疑ふべからず。例へば其開發の當時、西部地方に布設せられたる鐵道の如きは、橋梁も線路も共に甚だ粗惡なるのみならず、踏切の注意全く行届かずして、其危險云ふ許りなく、人命を損せること甚だ多かりしも、米國人は敢て之を意となさず、之が爲め無人の

境も忽ち多くの住民を得て、驚くべき經濟上の發展をなすに至れり。若し米國人民にして、完全なる鐵道の布設せらるゝ迄手を空うして待ちたらんには、斯かる事は決して望むを得ざりしなるべし。而も斯かる危險なる拓殖を以て専ら任とせる鐵道が、已に其最初の使命を終るや、漸次安全なる鐵道に改め、再三改良の結果、今日に於ては交通全く安全となれり。是に由つて見れば、企業の爲めには各人皆己が財産は素より言ふに及ばず、其生命をも賭するの自由あるは、これ全く自發の精神の表現なりと云ふべくして、米國政府は到底人民の冒險的事業を妨止すること能はざるなり。

尤も斯くの如き身體生命の危險を醸すが如き絶對的自由は、今や漸次消滅しつつありて、鐵道の踏切には到る處注意書きの標木を立て、工場の装置、市街家屋の建築等に對しては、官吏は種々の注意を與へて益、安全なる方法を取らしめ、特に東部諸州に於ける都會の衛生制度の如きは、獨逸の都會に於けるよりも一層進歩せるものすらあるに至れり。然れども危險の懼れなき事物に就ては、尙民主的自由主義の行はるゝこと決して鮮少にあらず。例へば大平野に於て道路の外

通行すべからずとの制札を建るが如きは決してなし、されば米國人は自國を以て絶對的自由の地となし、歐洲大陸を以て束縛制限堪ふべからざるの國と思惟するなり。官僚政治は冒險的精神の發展を妨げ、企業を萎靡せしむるものなるが故に、産業上の大敵として、米國人の大に敵視する處なり。且つ米國に於ては經濟上の凡ゆる法制は聯邦政府の規定する處にあらずして、各州の管掌する處なり。これ徒に人為的束縛を經濟上加ふるが如き弊を未然に防がんと爲めに、亦産業の自由の爲めに重要なること、云ふべし。

以上の消極的要素の外に尙積極的要素あり。若し近年米國が充分の考量を用ひて適當なる保護税を採用せざりしならんには、其工商業が恐らく今日の如き絶大なる發達をなし能はざりしことは、世人の等しく認むる處なり。尤もデングレイ(Dingley)及びマッキンレーの兩關税法は、直接産業の大發展を效さざりしとも、大に之を扶くるに與つて力ありしは明白なり。米國政府は之によつて多額の收入を得、之を水路港灣の改良の爲めに用ひ、又少からざる金額を農業の爲めに費し、大に不毛地の灌漑水利に力を盡したり。經濟問題は一般に聯邦政府に於ても亦

各州政府に於ても、大に注意するを常とし、普通の政治的活動の外に尙特殊の活動をなす。例へば農務省に於ける科學的研究が、米國の農業上に多大の補益を與ふるが如きは是なり。又世界の各地に散在せる米國領事は、他國民と有利なる商業を開始せんが爲め常に注視を怠らず、且つ領事館の報告書は政府より米國の各地方に無税にて迅速に郵送せらるゝなり。

米國の政治的狀態は、尙其他の方面に於ても、一般人民の繁榮を増進することに於て力あり。米國は全經濟的企業を増進するに便利なる一大統一的機關にして、其國土の面積は獨逸の約十七倍あれども、而も唯一個の法律の下に統一せられ、國內に關稅の障壁なく、各州相互間の交易に對しては、唯共通の聯邦法律其効力を有するのみ。

而も斯かる國民的統一よりも尙一層重要なるものは、思ふに米國人民の民主的平等主義なるべし。八千餘萬の人民は千差萬別なりと雖、而も皆等しく一大購買的團體なり。新流行の商品は恰も猛火の草原を燎くが如く、忽ちにして東はニューヨークより西はサンフランシスコに擴がり、勞働者も、大富豪も、共に其趣味と要

求とを等しくし、爲めに生産者及び分配者は需要せらるゝ商品を製造し販賣すること甚だ容易なり。歐洲に於ては人奇異の物品を需むるが故に、其産業界は之が爲め大に苦しむことありと雖、米國に於ては皆同様の物品を需め、其間唯多少品質の良否あるのみなり。されば生産者は大規模の製造を營み、其生産額を多くし、廣く市場に供給することを得るが故に、又趣味と需要との同一を獎勵し、全國民一般互に摸倣せんとする風習を促すなり。

今吾人は米國産業の發達を助長せしめたる理由如何を論ずるを止め、米國の産業其物に就て述べんとす。而して吾人は茲に米國人が最も得意なる統計によつて之を論ぜんとするに臨み、統計上の變化は成るべく長歲月に涉つて精査するを以て最も安全なりと思惟す。これ一時的變動の爲めに判斷の正鵠を誤るの恐れあるを以てなり。數年前獨逸は産業萎靡し經濟振はず、英國は南阿戰爭の爲めに苦みつゝありし時に當り、米國は非常なる産業組織を計畫し、一躍して世界經濟界の主人となり、以て列國の人を驚かさんとしたり。然るにその後獨逸の産業再び隆盛に赴き、英國も亦漸く其勢力を挽回するや、米國は却つて産業の過大と

經濟の膨脹との結果に苦み、弊害漸く起るに至りしかば、歐洲諸國は之を見て直ちに極端なる謬見に陥り、其前日の成功を以て虚偽となし、其繁榮の時代は既に去れりと信じ、米國の無謀と失敗を笑ひ、大に米國産業界の首領等の無能を輕蔑せり。遂に歐洲人民は鋼鐵トラスト王シワップ(Schwab)を以て産業界のナポレオンなりと仰視すれども、彼の失敗するやその新聞紙は皆筆を揃へて恰もナポレオンの敗北せるが如くに之を喜べり。然れどもこれ單に歐洲人の目に斯く映ぜるのみ。蓋し斯かる瑣々たる事件が往々歐洲人の誤解の種となり、之に依つて大局の判斷を誤ること敢て尠しとせざるなり。

抑、米國經濟界の真正の發展は、神經過敏なる歐洲人の考ふるが如く偶發的のものにあらず。又彼等が仰々しく記述したるが如き經濟界の非運は、決して米國に起らざりしなり。勿論米國は屢、大恐慌に遭遇したれども、米國の經濟組織は確乎として常に健全なる發達をなせることを忘るべからず。米國人は如何に激烈なる恐慌も最早決して恐るゝに足らずと自信せり。米國全體の進歩は嚴然として繼續し、假令株券の暴落することあるも、これ單に健全なる發達の一部分たるに